



アキタのカガクを、つぎのステージへ

NEXT

AKITA PREFECTURAL UNIVERSITY 2020
大学案内2020



Akita Prefectural University

秋田県立大学



小林学長からの
メッセージを動画で
ご覧いただけます。



1948年長野県生まれ。1976年
東北大学大学院工学研究科博士
学位取得。株式会社日立製作所
で主管研究員、ソリューションセンタ
長等を歴任し、2007年システム科
学技術学部教授に就任。機械知
能システム学科長、理事兼副学長
を経て、2017年4月より現職。

学長メッセージ

秋田県立大学は、システム科学技術学部、生物資源科学部の2つの学部からなる理系の大学です。学生諸君には、これらの分野の専門知識を身につけ、卒業後それぞれの分野の専門家として活躍して欲しいと願っていますが、国際的社会的な情勢・経済が大きく変化する現在においては、それらの変化に対応できる能力も強く求められています。これからは、専門的な知識に加えて、変化に気づき、多面的な視野で要因分析、課題抽出を行い、自ら解決策を見出す能力が必要です。秋田県立大学では、独自の教育プログラム「成長のためのメソッド」をさらに充実させ、上記の能力を持ち、「グローバル」に活躍できる人材を育成します。

学長 小林淳一

基本理念

21世紀を担う次代の人材育成

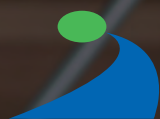
真理探究の精神と、未来を切り拓く幅広い視野・柔軟な発想や豊かな創造力を兼ね備えた、21世紀を担う次代の人材を育成すること。

開かれた大学として、秋田県の持続的発展に貢献

先端的な科学の研究及び技術の開発を行うことにより、地域産業の高度化を通じた本県の産業振興に寄与するとともに、県民に対して生涯にわたる高度な教育機会を提供することにより、本県の持続的発展に大きく貢献すること。

沿革

平成11年4月	秋田県立大学開学
平成14年4月	秋田県立大学大学院 システム科学技術研究科設置
平成15年4月	秋田県立大学大学院 生物資源科学研究科設置
平成18年4月	生物資源科学部 アグリビジネス学科設置 公立大学法人秋田県立大学設立
平成21年6月	開学10周年記念式典開催
平成24年4月	秋田県立大学大学院 共同ライフサイクルデザイン工学専攻設置
平成30年4月	システム科学技術学部 機械工学科・知能メカトロニクス学科・情報工学科設置
令和元年6月	開学20周年記念式典開催



秋田県立大学の欧文の頭文字「A」をデザイン化したもので、目標（グリーン）を設定し、未来に向かって限りなく学んでいく姿を表しています。

NEXT

秋田県立大学 大学案内2020

CONTENTS

特集

- 02 在学生メッセージ
- 04 研究コラム「農業×IoT」
- 06 研究コラム「熊との共存を目指す」
- 08 卒業生メッセージ

教育の特徴

- 12 卓越した教育・研究環境
- 16 学生自主研究
- 18 キャリア支援

システム科学技術学部

- 22 システム科学技術学部
- 24 学びのキーワード
- 26 機械工学科
- 30 知能メカトロニクス学科
- 34 情報工学科
- 38 建築環境システム学科
- 42 経営システム工学科

生物資源科学部

- 46 生物資源科学部
- 48 学びのキーワード
- 50 応用生物科学科
- 54 生物生産科学科
- 58 生物環境科学科
- 62 アグリビジネス学科

大学院・附属機関

- 66 大学院
- 70 総合科学教育研究センター
- 71 木材高度加工研究所

キャンパスライフ

- 72 国際交流
- 74 年間スケジュール
- 76 本荘キャンパス
- 78 秋田キャンパス
- 80 大瀧キャンパス／学生寮
- 82 秋田県立大学生の1日
- 84 サークル活動

インフォメーション

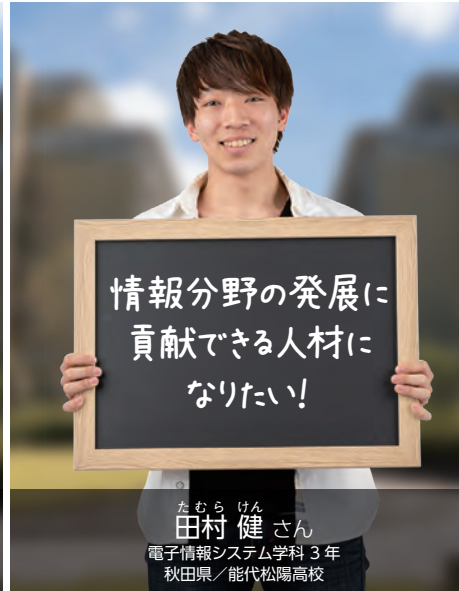
- 86 充実のサポート制度
- 90 入試情報
- 92 在籍者情報
- 94 秋田見聞録
- 95 キャンパスエリア案内&秋田県紹介
- 96 アクセスマップ

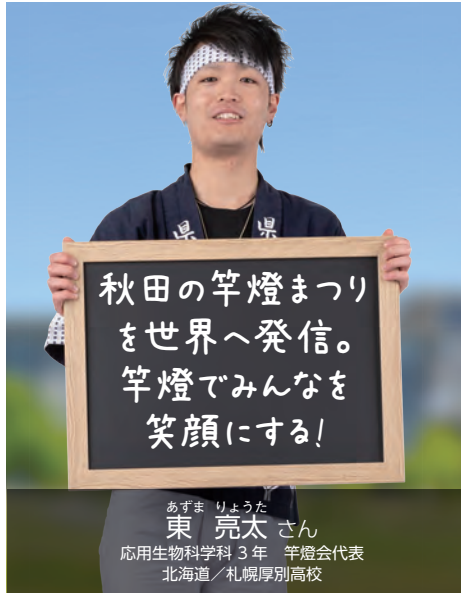


このマークが付いているQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、「360°VRパノラマ写真」など、様々なWebコンテンツをご覧いただけます。

NEXT VISION

もっともっと、みんなのビジョン







NEXT INNOVATION

農業 × IoT

様々な情報を集め、農業のノウハウをデジタル化

私に取り組むのは、【農業×IoT】。経験がものを言う世界で、情報を客観的に分析し、誰にでもわかりやすい農業のノウハウを作成しようというものです。さらに、農作物の収穫時期や量を予測し、消費者が農作物を手に入れやすい未来も目指しています。



システム科学技術学部 情報工学科
飯田 一郎 教授
IIDA Ichiro

PROFILE

1955年京都市生まれ。その後全国を転々としたのち、1983年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。同年より株式会社富士通研究所で33年間勤めた後、2016年秋田県立大学教授に赴任。現在に至る。趣味は野鳥観察で、秋田の自然はとても気に入っている。





INNOVATION

研究のきっかけは、農業従事者の高齢化、さらにその後継者不足について真剣に考えるようになったことからでした。農業の後継者不足を解決するにあたり、一番の課題は『農業をやりたい』と言って都会から戻ってくる若者がいても、そのノウハウを明確に伝えられないことだと思うのです。熟練の技や経験、知恵に頼りすぎて、明確なノウハウがないばかりか、追い討ちをかけるように農家の高齢化がどんどん進んでいるという現実。それが、後継者の獲得を阻んでいるのではないかと危惧しています。

細かい情報を集めて、それを分析してまとめて…。農業の教育プログラムのようなものを作りたくて考えています。例えば、りんごに虫が付いたら、農作物にいつもとは違う変化が現れたら…。今までは一度家に帰って解決策を仰がなければいけなかったかもしれませんが、でもそれをシステム化できれば、現地で画像を撮って送信して、すぐに解決方法が返ってくるようなことも可能になるでしょう。

そしてさらに、ヒトと機械がもっと融合する未来を目指しています。今は、農作業していたら携帯は開けませんよね。それを、何かをしていても勝手に情報を受け取って送れる、そんな

未来を現実になりたいと考えています。

IoT・AI・SNSの技術を農業に受け継がれる・盛り上がる未来を創る

情報のプラットフォームを構築することで、消費者と生産者の距離をもっと縮めたいとも思っています。『明日、こんな野菜が欲しい』となったらすぐに予約できて、生産側に連絡が入って、即日発送、翌日にはお届け…というシステムがあれば便利ですよね。それを実現するためには、もっと情報が必要。どの作物がいつ収穫できて量はどのくらいなのか、といったことを調べる必要があります。

そこでまずは、トマトの生育について調査を進めています。トマトの生産量って実はどんぶり勘定で、収穫までの数値的な情報が分かっていないそうなんです。だから、トマトを苗から育てて、その成長過程を調べているんですね。トマトの他にはいちごの調査を予定しています。

並行してネットワークの構築にも挑戦中です。具体的には、大潟キャンパスと本荘キャンパスをネットワークで繋ごうというもの。docomoとかauなどの大手キャリアを使わずに繋がられるLPWAという方法があって、今の段階ではスピードは遅く画像も送れないので

すが、平地なら意外と遠いところまで通信できることがわかっています。今は本荘キャンパス周辺を調査中ですが、これからもっと調査を進めていき、大潟から本荘までネットワークを繋げることが目標です。

選りすぐりの先鋭技術を集結 専門家たちが創る新しい未来

この取り組みの総称は、「ICTを活用したスマート農業に関する研究」。県立大学の7～8人の先生方が参加してくれています。私が担当する、ネットワーク関連の研究の他に、熟練技術の抽出や果実の収穫適期、農作業を軽減するためのアシスト技術などについても研究が進められています。各工エキスパートの力を融合させた、新しい農業のカたち。その未来に、ワクワクが止まりません！





NEXT INN

PICK UP RESEARCH
NEXT
INNOVATION

自然界データの分析力を活かして 熊との共存を目指す

全国でも比類なきクマの数を有する、秋田県。最近では心を痛める事故も多く、人間と熊がお互いに住みやすい環境を作っていくことが課題視されています。ヒトと熊が共存していくには、まずは熊のことについて知ることが必要。そこで私が県と共同事業で進めているのが、生息数調査です。

WEB

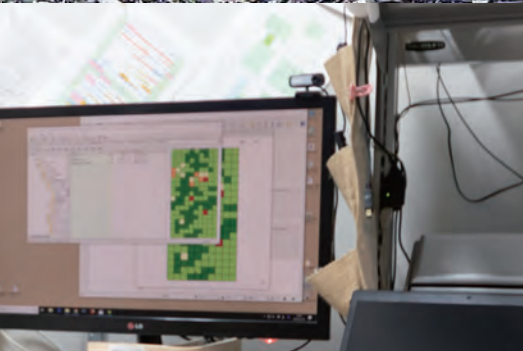


生物資源科学部 生物環境科学科
星崎 和彦 教授
HOSHIZAKI Kazuhiko

PROFILE

滋賀県大津市育ち。東京大学農学部卒業、京都大学理学研究科生物科学専攻修了。博士(理学)。国立環境研究所、秋田県立大学助手、助教、准教授を経て現職。趣味は40年近いキャリアのバードウォッチングと下手の横好きの将棋、最近ハマっているのは日曜大工。





OVATION

これまで森林生態学の研究に30年近く取り組んできたことを活かし、4年前からセンサーカメラを使った熊の生息数調査をスタートしました。現在では県内の半分ほどのエリアを調査し、5年目となる来年で、ほぼ県内全域を網羅できそうです。

きっかけは、毎年公表される熊の処分数や生息数などの数字を新聞で見ている、アンバランスさを感じたことからでした。そこで学生と一緒に新聞に出る数字を追って、マップに入力していったんです。きちんと調べてみると、毎年相当な数が処分されていて尚、まだ多くの熊が生息していることが分かり、正確な数字を出す必要性を改めて感じています。

集積したデータを解析 だんだんと真実に近づいていく喜び

調査には赤外線で反応する特殊カメラを使用。熊に限らず動物は良く動くので、写真ではなく動画で撮影しています。設置したカメラの上部に熊が好きな木の防腐剤を塗り込んだ棒を仕掛けておくと、熊が寄ってきてそれにじゃれつき、腕を伸ばしたときに胸の模様を見せてくれるんです。胸の模様は個体によって違うので、それで個数を判別しています。各調査地

から集められた膨大なデータを分析するのが、私がメインに担当するところ。研究室のパソコンを使って方程式に当てはめながら、四六時中計算しています。

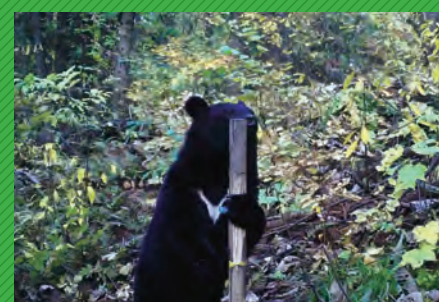
30年以上かけて培った 自然界でのノウハウを活かして

私が専門とする「森林生態学」では、森林の構造と群生する樹木の変化について研究しています。調査エリアは岩手県奥州市・胆沢という地域で、広さになると5ヘクタールくらい。シードトラップという網を仕掛けて、落ちてきた木の実や葉っぱを採取し個数を調査しています。もともと自然が好きで、学生の頃からこのテーマに興味を持ち、かれこれ30年近く。30年というと、とても長い期間のように感じますが、実がなるのも落ちるのも一年に一回のことですから、実はまだまだ調査途中。最近になって、自然界の豊凶のリズムが少しずつ分かってきて、やっと手応えを感じ始めているところです。これからも地道に調査を続けていき、ゆくゆくは自然界のビッグデータのようなものを作れたら良いな、と思っています。

森林生態学の調査のために通いつけている胆沢には熊もいます。ですが、20～30年が寿

命と言われている熊にとってみたら、30年近く通いつけている私の方が先住者。子熊が私を見て怯えていると、母熊が「この人は大丈夫よ」ってゴソゴソ囁くんです(笑)。そうすると子熊は安心して動き出す。そんな姿を見ていると思わず愛着が湧いてしまうんですね。

世界的に見ると、熊は絶滅が危惧されている部類。すでに西ヨーロッパではほぼ絶滅していますし、人が住んでいる場所の近くに熊がこれほど多く生息していることは極めて珍しいんです。危険もはらんでいるけれど、それだけ自然が残されているということでもあり、ある意味財産でもあると思います。カメラを使った調査で修正された生息数が少しでも、ヒトと熊とが共存できる未来への一助になれば幸いです。



FROM NEXT STAGE

自分のステージで活躍する卒業生からのメッセージ

FROM NEXT STAGE

細やかなサポートを受け、 問題を共有することの大切さを学びました

進藤 諒 さん SHINDOH Ryo

TDK株式会社 生産技術本部 生産技術センター FAソリューション部
システム科学技術学部 機械知能システム学科 2014年度卒業
大学院・システム科学技術研究科 機械知能システム学専攻 2016年度修了
秋田県/秋田北高校出身

元々、人々の生活に身近なところで活躍するものづくりに携わりたいと考えていて、幅広い事業領域に電子部品を提供しているTDK株式会社に入社しました。現在は生産に必要な装置の設計を行う部署で、主に社外へ販売する装置を担当しています。顧客の要望に沿って設計を行い、自分の思い描いた動き・機能を実現したときに大きなやりがいを感じます。

大学生活では、大学院までの6年間すべてで、少人数教育が一番の魅力だと感じました。教員へ相談しやすい環境が整っていて、細やかな指導を受けることができます。大学院生は実験方法一つにしても意味や理由を自分で考え実行するため、責任も大きくなりますが、先生方もより親身になって教えてくださいます。指導教員だけでなく、他の研究室の教員からもアドバイスをもらい、何度も難局を打破することが出来ました。様々な教員からサポートしていただいた経験から、問題に対して一人で悩むことなく、多くの人々と共有し解決にあたるようになりました。



FROM NEXT STAGE

興味のあること、やりたいことを やらせてもらえる大学です

三田 明里 さん SANDA Akari

デンソーテクノ株式会社 電子11部
システム科学技術学部 機械知能システム学科 2016年度卒業
愛知県/豊田南高校出身

現在私は、自動車エンジン制御のソフトウェア開発に携わっています。人命に関わる責任の重い仕事の為、私の会社では常に品質を意識しています。また、多くの関係者とやりとりをしながら、日々業務を進めています。そのような環境の中で知識を増やし、ユーザーに安心して使ってもらえる安全な自動車を提供できる技術者になることが、私の目標です。

大学時代、学生自主研究制度に取り組んだことが最も心に残っています。学生自主研究制度は、やりたいこと、興味のあることを研究できる制度です。この制度を利用し、私はドローンの研究に取り組みました。周囲とコミュニケーションを取りながら研究を進めることができる環境が整っている為、先生や先輩がしっかりサポートをしてくれます。当時私は、今後ドローンに触る機会はないと思い挑戦しました。今思い返しても、貴重な経験ができたと感じています。

秋田県立大学は、やりたいことができる・やらせてもらえる場所です。積極的に色々なことにチャレンジしてください。大学で得た知識と行動力が、社会に出たときに必ず役に立ちます。





FROM NEXT STAGE

自由にもものづくりする経験を通じて、センスや技術力を学べました

牧原 将 さん MAKIHARA Masashi

株式会社インターネットイニシアティブ
サービス統括本部 サービスデリバリー部 サービスプロビジョニング課
システム科学技術学部 電子情報システム学科 2014年度卒業
大学院・システム科学技術研究科 電子情報システム学専攻 2016年度修了
岩手県/宮古高校出身

インターネットやセキュリティサービスを提供するための顧客提供機器(ルーターやファイアウォール)の出荷や在庫管理の業務をしています。就職先として選んだきっかけは、社会基盤であるインターネットを牽引する仕事をしたい、常に技術者として新しい技術に触れていたと考えたからです。

学生のころは、サークル「S.E.I.M.」に所属していました。ロボコンへの参加を通じて、他学科のメンバーの授業内容をシェアしてロボットの設計や製作に活かしたり、授業では学べない技術に触れたり、充実した生活を送ることができました。また、本荘キャンパスには、創造工房という工作装置・部品などを自由に利用できる施設があり、興味のある分野や技術に触れる機会となりました。この施設を利用して、学内コンテストなどにエントリーし、様々なものづくりに挑戦できたことは、アイデア・技術力・トレンドなどを刺激するとても良い経験になったと感じています。今後も、コンテンツでも技術でもいいので後世に残せる開発・ものづくりをしていきたいと思っています。



FROM NEXT STAGE

親身になって相談に乗ってもらい、地元で貢献できる道を選びました

三浦 徹弥 さん MIURA Tetsuya

由利本荘市役所 由利総合支所産業課 主任
システム科学技術学部 経営システム工学科 2013年度卒業
秋田県/由利高校出身

秋田県立大学の魅力は先生との距離が近いことです。研究室の先生には、卒業研究や就職活動に、親身になって相談に乗ってもらいました。授業や研究以外では、弓道部に所属していましたが、名古屋で開催されるインカレへ自分達で車を運転して泊まりがけで行ったことが心に残っています。

現在は、農業に関わる業務を中心に仕事をしています。出身地である由利本荘市で頑張りたいと思ったのが、就職先として選んだ理由の一つです。時には農家さんからの連絡を受けて、外出して現場の様子を確認することもあり、由利本荘市の地域に根差した業務を行っていると感じます。今後は地元地域に貢献できるようにスキルアップして頼りにしていただける職員を目指したいと思っています。

秋田県立大学に入学するみなさんには、勉学、趣味を問わず、挑戦してみようと思ったことはやってみてほしいと思います。挑戦することで失敗することもあります。それも良い経験になります。自分の可能性を信じて頑張ってみてください。



FROM NEXT STAGE

たくさんのイベントで様々な人と知り合い、とてもいい経験ができました

小林 由佳里 さん KOBAYASHI Yukari

清水建設株式会社 東北支店 建築部
システム科学技術学部 建築環境システム学科 2015年度卒業
秋田県/大曲高校出身

私は今、東北地域の各現場で施工管理をしています。インターンシップで実際に現場の雰囲気を感じ、誠実で真面目な仕事をしながらも、楽しくやりがいを感じて働く社員を目の当たりにし、この会社を選びました。毎日の主な業務は、職人さんと工事の工程を打合せし事前に段取りをすること、施工中・施工後に各工事の検査を行うこと等です。

建築環境システム学科は教授や先輩方と会話しやすい環境が整っていて、何かあればすぐに相談できたことで、より多くの知識を身に付けられたと感じています。また、建築の設計課題でグループみんなで何度も話し合いをし、時には喧嘩もしながら、一つの建物を設計したことも良い経験になりました。学内の設備もとても充実していて、実験の授業がとても楽しかったです。建築サークルで各県の建物を見に行ったり、毎年学科の先輩後輩達とバレーボール大会を開催したことなども心に残っています。たくさんのイベントの中で様々な人と知り合えることも大学の魅力だと思うので、ぜひ県立大で充実した学生生活を送ってください。

FROM NEXT STAGE

自分のステージで活躍する卒業生からのメッセージ

FROM NEXT STAGE

化粧品を通じて すべての人を幸せにする

森谷 歩香 さん MORIYA Ayuka
株式会社アイビー化粧品 開発生産本部
生物資源科学部 応用生物科学科 2015年度卒業
大学院・生物資源科学研究科 生物資源科学専攻 2017年度修了
山形県／寒河江高校出身

化粧品や健康食品の開発業務に携わっています。製品のコンセプト提案から処方開発や品質確認試験など幅広い業務を担当しています。アイビー化粧品は、製品の企画・研究開発・製造を自社で一貫して行い、販売会社を通じて製品をお客様に届けています。そのため、お客様の生の声をお聞きして、よりお客様が求めている製品を開発できていると感じています。

学生時代は、グアム大学語学研修に参加しました。現地の方々の失敗を恐れず挑戦する姿、自信をもって夢を語る姿を見て、“自分自身も変わりたい”と強く感じました。自分の英語が通じたときには感動したことも強く印象に残っています。その時の経験が、現在の化粧品の研究者として、何事にも果敢に挑戦する積極性と前向きな姿勢に繋がっています。

「化粧品を通じてすべての人を幸せにする」という高校時代からの夢を実現するためにも、化粧品の処方開発に関する知識・経験はもちろん、化粧品による心理的作用やマーケティングなど幅広い知識を身に付け、柔軟な発想ができる研究者を目指したいと思います。



FROM NEXT STAGE

最新の情報と技術を駆使し 秋田の農業“職人”を目指す

神田 大樹 さん KANDA Daiki
株式会社 池田 グリーン&アグリ事業部
生物資源科学部 生物生産科学科 2008年度卒業
秋田県／新屋高校出身

農産物の栽培に必要な農業・肥料の販売、栽培施設の設計・施工のほか、産業用無人ヘリコプター・マルチコプターなどの販売からメンテナンスなど、農業関連の様々な商品やサービスの提供を行っています。現在は営業活動を基本に、繁忙期には無人ヘリやドローンを操縦し散布作業も行っています。大学で学んだ生物学全般の知識や圃場実習などの経験を活かせることと、「営業マン」への憧れや「職人」にも魅力を感じていたこともあり、現在の勤務先を志望しました。

学生時代は、講義や実習・実験に研鑽しながら、仲間とサッカー・フットサルで汗を流すなど、勉強にサークルに精一杯取り組み、青春を謳歌しました！学生のやる気を尊重し個性を伸ばす秋田県立大学だからこそ、充実感と達成感に満ちたフルパワーの学生生活となりました。

1つの技術導入で数ヵ月後には全く別の形に変わるなど、目まぐるしく変化する農業環境に対して、農業の「職人」として常に最新の情報・技術を駆使して秋田県の農業にしっかり貢献したいと思います。





FROM NEXT STAGE

肥料技術者のスペシャリストとして 秋田県の農業に貢献

田村 美樹 さん TAMURA Miki
 全国農業協同組合連合会秋田県本部 生産資材部肥料農業推進課
 生物資源科学部 生物環境科学科 2015年度卒業
 秋田県／能代北高校(現 能代松陽高校)出身

JAや組合員に向けて肥料技術の指導に関わる講習会の開催や秋田県種苗交換会などの展示会業務を行っています。稲作農家である祖父の影響を受けて、出身地である秋田県の農業や組合員を支えていきたいと思い、現在の勤務先を志望しました。

学生時代は、卒業論文で「土壌中に存在しているアーバスキュラー菌根菌の有効活用のための研究」を行い、大潟村の研究圃場で汗を流しながら生育調査を行ったことが心に残っています。日本一の広大な研究圃場で、より現場に近い環境で研究できた経験が、現在の私の仕事の土台と自信に繋がっています。また、いつも先生に親身に寄り添ってアドバイスいただいたのが本当に心強かったです。卒業後の今でも、土壌肥料などについてご指導いただいております。

まだまだ土壌肥料の先輩方にお力添えをいただければかりですが、今後も秋田県や日本の農業をしっかりと支え、JAや組合員に新しい情報を提供できる「肥料技術者のスペシャリスト」として活躍できるように頑張ります。



FROM NEXT STAGE

農家のみなさんに信頼される 普及指導員を目指す

新井 理沙 さん ARAI Risa
 群馬県中部農業事務所 伊勢崎地区農業指導センター
 生物資源科学部 アグリビジネス学科 2013年度卒業
 群馬県／前橋南高校出身

普及指導員として、主に、農家への栽培講習会や病害虫に関する相談対応などの栽培技術指導、作況調査や新品種・新技術が開発されたときに現場への適応が可能か調査する実証試験などを行っています。もともと実家の祖父母が農業を営んでいたのですが、祖母が体調不良で離農したことがきっかけで「農家を助ける仕事がしたい!」と思い、現在の仕事に進む決心をしました。

秋田県立大学の学びは、作物の生理生態から栽培技術・農業機械・農業政策・農業簿記・現地実習など、あらゆる分野を広く学ぶことが大きな魅力です。普及指導員の仕事では正にそれらを網羅し、広い視野をもって農家の経営支援にあたるので、秋田県立大学の学びが日々の業務に大変役立っています。

まだまだ勉強不足ですが、地域の農業をしっかりと支えるため、さらに経験を積んで、農家のみなさんに信頼される普及指導員になれるよう、日々の業務に励みたいと思います。

EDUCATIONAL RESEARCH STRUCTURE

卓越した教育・研究環境



教員と学生の距離の近さが魅力!

少人数教育

教員一人あたり学生数が約8人。教員と学生、学生相互のコミュニケーションを重視し、教養科目から専門科目まで総勢214人の教員が、入学から卒業までをしっかりサポートします。

教員一人あたり学生8人



教員との交流がより学生生活を豊かにします

オフィスアワー

より多くの教員と学生が接する機会が得られるよう、教員はそれぞれ決まった時間に研究室に在室し、授業・進路・学生生活など様々な質問や相談に応じています。“教員と学生の距離が近い”、それが本学の大きな特色の一つです。



1年生から専門的な授業も!

クサビ型カリキュラム

「1年生から専門科目を勉強したい」「3～4年生になって、幅広い教養を学びたい」という学生のために、早くから専門の基礎を学び、高学年になっても文学や哲学などが学修できる、4年間を通じた一貫教育のクサビ型カリキュラムを採用しています。

年次	セメスター	教育科目
4年次	8 7	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;">教養教育科目</div> <div style="background-color: black; color: white; padding: 10px; text-align: center; width: 50px;">専門科目</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-left: 5px;">基礎科目・共通基礎科目システム 専門基礎科目(生物資源)</div> </div>
3年次	6 5	
2年次	4 3	
1年次	2 1	

学生生活も頼れる先生がいるから心強い

学年担当教員／指導教員

学年・学科ごとに学年担当教員が置かれています。入学後、各学期の始まりに個別面談を行い、勉強・研究の相談はもちろん、学生生活全般についての相談に応じます。また、研究室配属後は、研究室の教員が指導教員として多面的にサポートします。

教員の約3割は企業等の実務経験者

実践的な教育指導

教員の約3割が企業等で実務経験を有し、多分野にわたる多彩な経験を活かした実践的な教育指導を行っています。現場で培った感性やノウハウは、論理だけではなし得ない問題解決の糸口となるはず。是非、発想のヒントを修得してください。

国際感覚を備えた人材を育成

海外留学プログラム(P72)

海外協定校等での短期研修や学生交流を目的とした「国際交流プログラム」、世界各国から集まる留学生とともに英語を学びながら異文化理解を深める「短期英語・異文化体験プログラム」を実施しています。研修前オリエンテーションの実施、国際航空運賃やプログラム費用の支援など、様々な面で海外留学をサポートしています。



能力のある学生をもっと応援!

特待生制度(P86)

[認定要件]

★入学生特待生(秋田県内高校出身者のみ)

大学入試センター試験で本学指定科目を受験し一定の基準を満たした場合、年間授業料相当額(535,800円)を4年間、奨学金として給付します。

★在学生特待生

成績優秀者には年間授業料相当額の半額を給付します。

特待生に認定されたことで、学びのモチベーションと選択肢が広がりました。特待生に認定されたことが後押しになり、大学の海外留学プログラムに申請し、昨年、カナダ/ビクトリア大学への語学研修を経験しました。秋田県立大学はやる気のある学生には多くのことが学べる大学です。今後も自分の夢に向かって様々なことにチャレンジしていきたいです。



生物資源科学部 生物生産科学科 3年
鈴木 直人 さん SUZUKI Naoto
福島県 / 郡山東高校出身

苦手な教科は入学前から強化

入学前準備プログラム

推薦・AO入試で合格した学生には、大学生活スタートまでの時間を有効活用するため、月2〜3回の添削指導やスクーリングなどを行います。入学前に基礎から学び、入学後の授業に備えることができるので安心です。



頼りになる先輩が学修をサポートします

ピアチューター制度

本荘キャンパスでは、先輩ピアチューターが数学・物理の質問に応じる「数学・物理駆けこみ寺」を開設しています。秋田キャンパスでは、「あきた地域学」などの授業を教員の補佐として先輩がしっかりサポートします。



学生の努力の成果を称え表彰します

表彰制度

秋田県立大学の学生たちは、勉強に研究にサークルに社会活動に、様々な分野で才能を開花させています。



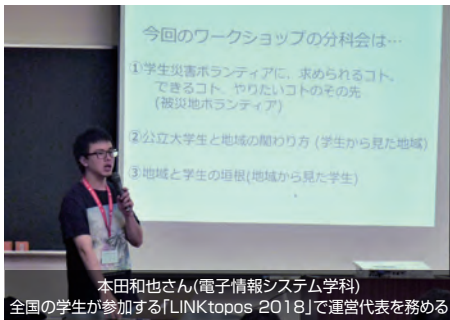
秋田県立大学箏楯会
箏燈まつり競技会「大若囃子方」優勝



ものづくりサークルS.E.I.M.
「電気自動車エコラン競技大会inSUGO」優勝



佐々木円香さん(生物生産科学科)
サイエンス・イノカレ「Future賞」を受賞



本田和也さん(電子情報システム学科)
全国の学生が参加する「LINKtopos 2018」で運営代表を務める



ツリーハウス同好会
「木を活かす学生活動大賞」を受賞



成績優秀者は卒業式で表彰

大学院進学もバックアップ!

大学院優秀学生奨学金 (P87)



システム科学技術研究科 機械知能システム学専攻 2年
中村 聖 さん NAKAMURA Hijiri
秋田県 / 横手清陵学院高校出身

【受給要件】

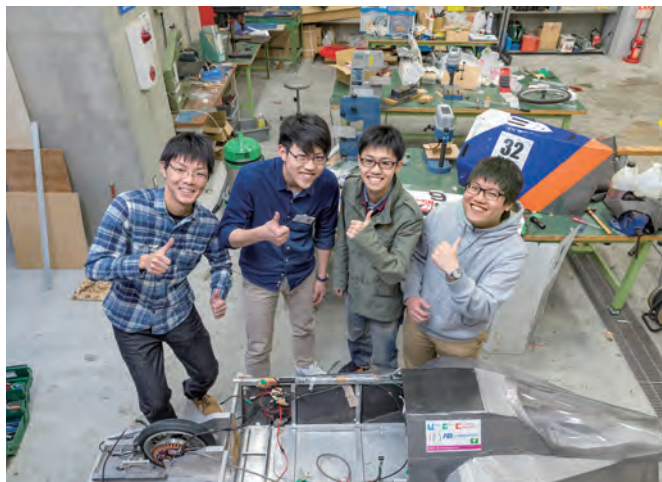
大学院博士前期課程に入学する本学学部生を対象とした奨学金です。学部3年次までの成績が、所属学科の上位10%以内の場合は年間授業料相当額の全額、10%を超え25%以内の場合は半額を奨学金として2年間支給します。

大学からの手厚い支援のおかげで、学びに対する意欲を高く保ちながら学生生活を送っています。ティーチングアシスタントとして講義の補助を行うなど、大学院ならではの貴重な経験を通して、大きく成長できました。秋田県立大学は自分自身の行動次第で大きく成長できる場所です。皆さんと共に、更に成長できることを楽しみにしています。

創造力を生む“ものづくり”の活動拠点

創造工房

システム科学技術学部／本荘キャンパス



学生の自主的・創造的な“ものづくり”の活動拠点です。施設内部には工作道具や測定器、コンピュータなどプロも驚くような多様な機器がずらりと並んでいます。学内向けのものづくりコンテストや、子供たちにもものづくりの楽しさを伝える夏休み科学教室などを開催しています。

WEB



“木材”を冠する国内唯一の研究所

木材高度加工研究所

附置研究所／能代市



国内の大学機関に属する研究機関として、「木材」を冠する唯一の研究所。木質資源の理想的な循環系の確立を目指して、木材の基礎物性・加工・利用に関する研究と技術開発を行うとともに、高い技術力を備えた人材を育成するため、大学院教育にも取り組んでいます。

WEB



最先端のバイオテクノロジーを駆使して生命現象を解明

バイオテクノロジーセンター

生物資源科学部附属／秋田キャンパス



次世代シーケンサーをはじめ最先端機器が整備され、DNA塩基配列の解析や遺伝子組み換え植物の作製、デンブ構造解析などの受託解析を行っています。熊が人間を襲う事故が相次ぐなか、人間を襲った熊を特定するDNA鑑定・分析を県からの委託で行うなど、学内外のユーザーに広くサービスを提供しています。

WEB



全国一の広さを誇る大規模農場

フィールド教育研究センター

生物資源科学部附属／大潟キャンパス



総面積190ha、東京ドームの建築面積の約40個分。そのうち耕地(水田)面積が164haあり、大学附属農場の中で全国一の広さ。水稻に加え、大豆や小麦などの畑作物、果樹や野菜、花きなどの園芸作物、牧草やトウモロコシなどの飼料作物が栽培されるとともに、約50頭の肉用牛も飼養されています。このような農業生産のフィールドで、学生の演習や実習、卒業研究などが行われています。

WEB



夢をカタチに！ 学生主体の教育プログラム

学生自主研究制度

入学したら直ぐに研究に取り組んでみたい！ 専門分野に触れたい！ という積極的な学生の期待に応える本学独自の教育プログラムです。学生自らが研究責任者となり、指導教員や先輩のアドバイスのもと、計画的に研究を進めます。開学当初から導入している本制度には、多くの県大生が参加しており、充実したキャンパスライフを送る上で欠かせない制度です。

★応募資格 1・2年次の学生

★研究資金 1件あたり15万円を限度に交付します

★学生自主研究を行った先輩の声

- ・卒業研究に役立つ知識・技能が身につきました
- ・学生自主研究で研究テーマと出会い大学院にまで進学しました
- ・1年次から指導教員や研究室の先輩と仲良くなれました
- ・研究室配属前に学会発表やサイエンスインカレ出場などの貴重な経験ができました



先輩たちの研究テーマをチェック



ゆるキャラ研究グループ

『新しいゆるキャラ考案のためのマーケティング』

★研究目的と内容は？

秋田県の観光入込客数は減少傾向にあることを知り、課題を解決する手段を考えました。近年はゆるキャラの活躍により、観光客数・県の経済効果が飛躍的に伸びている地域も見受けられることから、地域の活性化につながるゆるキャラの分析を試みました。



ゆるキャラ案 ぼっけんくん

★研究の成果と感想を一言

秋田の若者がゆるキャラに求める要素についてアンケート調査を行い、調査結果を踏まえ、ゆるキャラ案「ぼっけんくん」を作成しました。研究成果は由利本荘市と仙台の学会で発表し、様々な方と意見交換し、新たな課題を発見するとともに、視野を広げる良い機会となりました。



ぼっけんくん ポロシャツ



システム科学技術学部 経営システム工学科 3年 左から
 中川亜希美 NAKAGAWA Akemi (兵庫県/川西緑台高校出身)
 佐藤 千夏 SATOH Chinatsu (秋田県/仁賀保高校出身)
 鈴木 奏恵 SUZUKI Kanae (秋田県/秋田北高校出身)
 伊藤 海玖 ITOH Miku (宮城県/泉高校出身)



ポリネーター

『林床植物の繁殖を助ける昆虫と妨げる昆虫 —秋田県に特有な植物の繁殖生態の追求—』

★研究目的と内容は？

虫と植物との関係に興味があり、虫媒花の植物について、どのような虫が送粉を行っているのか、どのような繁殖生態を持っているのかを明らかにするために研究しました。秋田に咲く特徴的で希少な植物について調べてみたいという理由から、日本海側の多雪な地域で、6月でも雪が残るような溪流沿いに生育するシラネアオイとトガクシショウマの2種類を対象としました。

★研究の成果と感想を一言

野外調査の中で、2種類の花における繁殖生態の違いやトガクシショウマの特徴的な花の構造など新しい発見を得ることができました。その他捕虫網のようなフィールドで用いられる実験器具や蛍光顕微鏡の操作方法に加えて、エタノールや酢酸といった試薬の取り扱いについても習熟することができました。研究室配属後の研究室実験や卒論にも活かせる貴重な経験となりました。



生物資源科学部 生物環境科学科 4年 左から
 佐々木佳音 SASAKI Kana (秋田県/能代高校出身)
 大河 将寛 OHKAWA Masahiro (秋田県/大曲高校出身)
 石崎 惇 ISHIZAKI Jun (秋田県/由利高校出身)



学生自主研究の学びを大学院へ!

『土壌伝染性のダイズ病害を減らすことは可能か?』(学部2年次 学生自主研究)

★学生自主研究の魅力は?

入学して直ぐ自分の興味を持ったテーマを先生や先輩のサポートのもとで研究できることが魅力です。学生自主研究では、最先端の様々な実験機器を使って実験をすることができ、その経験が卒業研究や大学院の研究に役立っています。

★学生自主研究の経験はその後の研究に役立ちましたか?

大学院では、学生自主研究で分離した微生物を利用し、大学の圃場(現場)でダイズの病気の発生を抑えることができないか研究しています。学生自主研究で研究したテーマの面白さと出会い、そのテーマを正に大学院でも深く追求しています。

★県立大の良いところは?

現場(フィールド)がすぐ近くにあることに加え、実験機器が充実しており、最高の研究環境です。先生との距離も近いので親身になって自分たちの研究のサポートをしてくれます。秋田県立大学は、自分の興味ある分野やテーマに没頭して研究できる大学です。

★将来の夢は?

ダイズの病気の発生を抑える技術を開発し、その技術を生産者が利用できるようにすることです!ただ成果を出すだけではなく、研究成果をもとに実用化され現場で効果が発揮されることが重要です。夢に向かって一生懸命努力します!



生物資源科学研究科 生物資源科学専攻
鶴見 拓哉 TSURUMI Takuya
(栃木県/石橋高校出身)



環境微生物学会優秀ポスター賞を受賞

学生自主研究の学びを社会へ!

『コンクリートの耐久性に関する研究』 (学部1・2年次 学生自主研究)

★近況を教えてください

私は現在、熊本大学の助教として、建物の長寿命化を図るため、耐震補強技術や新素材・高機能性材料の応用技術について、様々な実験や解析に取り組んでいます。熊本に引越した当初は、東北と九州の気候・慣習の違いに驚嘆する毎日でしたが、今では熊本の歴史ある街と豊かな自然に囲まれて充実した日々を過ごしています。

★学生自主研究の思い出を教えてください

学部1・2年次、友人3人とコンクリート中の骨材(砂)が膨張して自らを破壊する現象について研究したのが大学時代の一番の思い出です。一見強そうなコンクリートも内部からの圧力には非常に弱く、その改善法を考察しました。この時のコンクリートの研究が、卒業研究、大学院研究、そして現在の研究テーマとの“運命の出会い”となりました。学生自主研究を通じて、知ることの魅力、未解決のことを解き明かしていく高揚感を知ることができました。この情熱が今でも研究への原動力となっています。

★今後の目標を教えてください

平成28年4月に発生した熊本地震によって、大学施設が大きな被害を受けました。自らの被災経験を通じて、改めて建築技術の重要性を認識しています。今後は、東日本大震災、熊本地震などの復興に関して教育者・研究者の立場で貢献したいと考えています。



熊本大学 工学部土木建築学科 建築材料・施工研究室 助教
佐藤 あゆみ さん SATOH Ayumi
(岩手県/千厩高校出身)

[PROFILE]

- 2007.3 システム科学技術学部 建築環境システム学科 卒業
 - 2009.3 大学院・システム科学技術研究科 建築環境システム学専攻博士前期課程修了
 - 2012.3 大学院・システム科学技術研究科 総合システム科学専攻博士後期課程修了
- 現在に至る

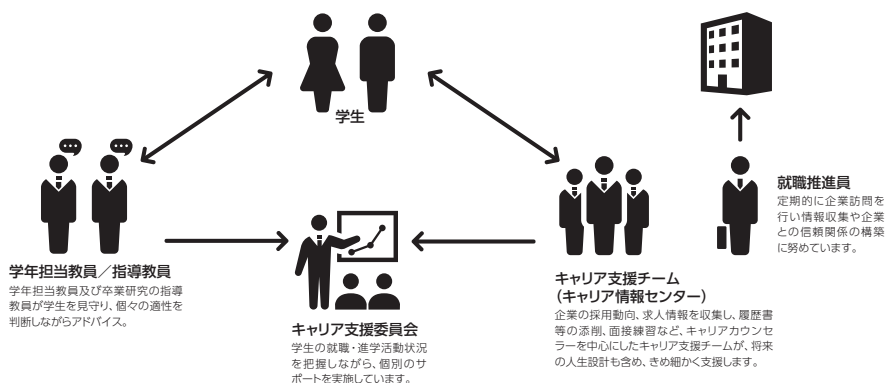


県大生時代の佐藤あゆみさん

SUPPORT SYSTEM

万全のキャリア支援体制

キャリアカウンセラーを中心としたキャリア支援チーム、指導教員、学年担当教員、キャリア支援委員会、さらには就職推進員が連携・協力する多角的な支援体制が確立されています。教職員一丸となって、学生へのきめ細かな支援を実現しています。



Career Calendar 初年次からキャリア関連講座やジョブシャドウイングなどを実施し、キャリアに対する「気づき」を促します。

	1年次	2年次
両学部共通	<p>キャリア教育は入学後からスタート。自らの仕事観について考えることや、大学生活においても社会に出てからも自らを磨く基礎となるコミュニケーションの基本的知識・スキルを身に付けます。</p> <p>現代の働く環境・コミュニケーション入門</p> <p>①ジョブシャドウイング</p>	<p>②インターンシップ</p> <p>職業意識の向上や就職活動に備えた基礎知識を養成します。</p>
	<p>ものづくりの楽しさを実際に体験。これから学ぶ学問分野への動機づけを行います。</p> <p>創造科学の基礎</p> <p>低学年向けキャリアガイダンス</p>	<p>一人ひとりが自分の持っている能力や資質を的確に把握して、将来への展望を拓くためのキャリア設計を考える導入講座です。就職観を育み、職業選択の動機づけを図ります。</p>
システム科学技術学部	<p>レポート・論文の作成指導、学修の動機づけ、大学生活への適応など、高校から大学への円滑な移行を図ります。</p> <p>フレッシュャーズ・セミナー</p> <p>生物資源科学への招待</p>	<p>就職活動を円滑に進めるために、心のコントロールの仕方や、自己の再発見について学びます。</p> <p>キャリア開発講座</p>
生物資源科学部		

ジョブシャドウイング

学生が事業所で働く大人に「影」のように寄り添い、仕事内容などを観察する実習プログラムです。1・2年生を対象とした県内企業における観察型の一泊二日インターンシップです。



インターンシップ

実社会の場で就業体験を積むことで職業意識を高めます。2・3年生を中心に、夏季休業期間中インターンシップを実施し、所定の条件を満たした場合は単位として認定しています。後援会には、インターンシップの参加に要した交通費及び宿泊費を一部助成する制度があります (P89参照)。



就職対策講座

職業適性検査やSPI能力模擬試験、履歴書・エントリーシート対策講座など、様々な就職対策講座を実施しています。後援会には、就職対策講座の受験料を一部助成する制度があります (P89参照)。

就活マナー講座

就職活動に備えて、ビジネスマナー、面接マナー、スーツの着こなし、メイクなどについて学びます。



内定者体験発表会

内定が決定した先輩による就活体験発表会を開催し、実体験に基づく様々なアドバイスを受けることができます。





その後、学年進行に応じて、インターンシップやキャリアガイダンスなど、より具体的なキャリアサポートメニューを提供します。

3年次

4年次

キャリアガイダンス

キャリアガイダンス

4月下旬から翌年1月まで、毎週1回、3年生を対象にガイダンスを実施しています。

(主なプログラム)

インターンシップガイダンス／職業適性検査の受検／SPI能力模擬試験／模擬面接／Webテスト対策講座／履歴書対策講座／内定者体験発表会／リクルートスーツ・メイク講座／就活マナー講座／面接試験対策／グループディスカッション練習／OB・OG懇談会／仕事・業界研究 など

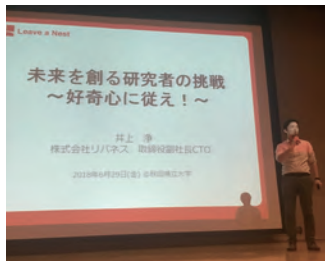
企業説明会

企業の採用担当者を招き、企業説明会を開催しています。希望する企業の情報をいち早くキャッチし、採用担当者と自由に面談することができます。



企業講演会

「企業が求める人材とは」などをテーマに、企業で活躍する社会人を講師に招き講演会を開催しています。自身の就職意識を見つめ直す絶好のチャンスです。



OB・OG懇談会

様々な分野で活躍する卒業生との懇談会を開催しています。就業の実態や仕事のやりがいなど、先輩たちの仕事に関するリアルな経験談を聞くことができます。



セカンドキャンパス

首都圏で就職活動を行う学生を支援するため、東京都新宿区にセカンドキャンパスを開放しています。活動時の休憩スペースや情報収集の場として、各種サービスを無料で利用できます。



オリジナル就職ガイドブック

本学の様々なキャリア支援制度の活用方法、企業研究や自己分析の方法、応募書類の書き方、面接試験対策などを紹介しています。

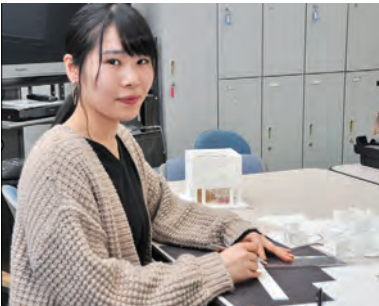


FOR THE NEXT

自分が輝けるステージへ向けて取り組んだ、平成30年度内定獲得者からのメッセージ

システム科学技術学部

内定先
積水ハウス株式会社



先生の豊富な情報量とアドバイスで内定を獲得

建築環境システム学科

三澤 彩乃 さん
MISAWA Ayano

秋田県/秋田北鷹高校出身

担当教員との進路相談では自分がやりたいこと、大事にしたいことをお話しする中で、自分に合う企業やOB・OGを紹介いただきました。先生の豊富な情報量と丁寧なアドバイスがあったからこそ内定を獲得できました。

■将来の目標

お客様、職人さんとの会話から多くのことを読み取り、考え、期待以上の家づくりを提供します！

内定先
東日本旅客鉄道株式会社

様々な就職対策講座と親身なサポート

経営システム工学科

岩淵 達也 さん
IWABUCHI Tatsuya

岩手県/盛岡第三高校出身

就職活動中はSPI能力模擬テスト、履歴書添削講座、エントリーシート講座、ESの添削、面接練習など様々な就職対策講座を実施していただきました。また、キャリア情報センターの皆さんに親身になって悩みを聞いていただきました。

■将来の目標

鉄道サービスの現場第一線で働くことで、東日本大震災で被災した地元岩手県を活性化したいです。様々な人が安心して利用できる世界一安全な駅を作ります！



内定先
株式会社小糸製作所



キャリアガイダンスで苦手な面接を克服

共同ライフサイクルデザイン工学専攻

小山 早苗 さん
OYAMA Sanae

茨城県/下妻第一高校出身

月に1度のキャリアガイダンスでは、大学院生向けの重要な情報をいただきました。特に、面接練習では質問への回答方法など、苦手な面接への心構えができました。練習後には講師から総評を頂け、自分自身を見直すきっかけにもなりました。

■将来の目標

幅広い知識を持つ技術者を目指します。交通事故を減らし歩行者の安全を守るため、時代に適した自動車のライトを開発します！

生物資源科学部

内定先
秋田清酒株式会社

キャリア情報センターの手厚い支援

応用生物科学科

工藤 彩 さん
KUDOH Aya

秋田県/金足農業高校出身

キャリア情報センターの方々にはとてもお世話になりました。履歴書の添削や面接練習では、志望する企業情報や自己PRについて丁寧にアドバイスいただくなど、最後まで手厚くサポートをしていただき、本当に心強かったです。

■将来の目標

大学で学んだ醸造の知識を活かし、秋田の発酵文化をしっかりと受け継ぎます！



内定先
株式会社ブルボン



OB・OGとの交流で夢が膨らみ大きく前進

生物生産科学科

小田 将輝 さん
ODA Masaki

新潟県/高田北城高校出身

大学全体のキャリア形成へのサポート体制が充実しています。また、大学から紹介いただいた志望企業のOB・OGからの体験談でイメージと夢が膨らみ、「君なら絶対大丈夫」と激励をいただいて前進できました。

■将来の目標

たくさんの方々の幸せに繋がるお菓子をはじめとした食品の新商品を開発します！

内定先
全国農業協同組合連合会秋田県本部

一人ひとりの個性にあったキャリアサポート

アグリビジネス学科

糸井 菜乃佳 さん
ITOI Nanoka

秋田県/秋田北高校出身

キャリアガイダンスでは、業種や自己分析といった基本から就活の実践まで丁寧に指導いただきました。面接練習や履歴書添削は、いつでも応じていただき、一人ひとりの個性にあったキャリアサポートが大変心強かったです。これまでの卒業生がエントリーした企業の面接資料も充実していて、とても参考になりました。

■将来の目標

農畜産物の販売や購買といった流通及び農業振興のリーダーになることが目標です！



本年度も就職内定率100%を達成!

平成30年度卒業生382名のうち就職希望者は285名(74.6%)、
大学院進学希望者は90名(23.6%)、専門学校進学等は7名(1.8%)です。



主な就職・進学先

就職先企業実績(平成30年度卒業生)

【県内就職】 ■建設業: 長田建設(株)/(株)サンコーホーム ■製造業: 秋田エプソン(株)/エイブリック(株)/小林工業(株)/(株)五洋電子/(株)チバ・テクノ/TDK(株)/(株)東北芝浦電子/(株)東北フジクラ/(株)日立超LSIシステムズ ■情報通信業: (株)フィデア情報システムズ/リコーITソリューションズ(株) ■運輸・郵便業: 東日本旅客鉄道(株) ■卸・小売業: (株)アキタシステムマネジメント/(株)秋田スズキ ■金融・保険業: (株)秋田銀行 ■その他: 能代山本医師会病院/(医)明和会

【県外就職】 ■建設業: (株)一条工務店/伊米ヶ崎建設(株)/(株)大林組/(株)協和エクシオ/(株)熊谷組/佐藤工業(株)/JFEコンフォーム(株)/(株)CSコーポレーション/(株)島津アクセス/清水建設(株)/住友林業ホームテック(株)/セキスイハイム東北(株)/積水ハウス(株)/(株)大気社/(株)竹中工務店/東急建設(株)/飛鳥建設(株)/西松建設(株)/日本電設工業(株)/(株)フジタ/前田建設工業(株)/三菱電機ビルテクノサービス(株)/(株)ユアテック/(株)ワタザイ ■製造業: 池上通信機(株)ー正蒲鉾(株)/伊藤ハムデリー(株)/岩崎通信機(株)/(株)エイチアンドエフ/越後製菓(株)/NECネットワーク・センサ(株)/NOK(株)/(株)荏原製作所/大橋鉄工(株)/(株)オティックス/オリエンタルモーター(株)/オリジン電気(株)/河西工業(株)/教育開発出版(株)/コマツNTC(株)/シーケー金属(株)/(株)ジェイテクト/(株)ジェイデバイス/(株)JVCケンウッド/昭和コンクリート工業(株)/セーレン(株)/(株)総合車両製作所/大同プラント工業(株)/竹内精工(株)/THK(株)/(株)ティラド/デルタ工業(株)/東亜ディーケーケー(株)/東芝テック(株)/(株)TOP/トヨタ車体精

工(株)/豊田鉄工(株)/(株)ニガタマシンテクノ/日本製紙(株)/富士化工(株)/(株)富士通ゼネラル/三菱日立ツール(株)/(株)武蔵野/村田機械(株)/(株)メイコー/ヤマザキマザック(株)/(株)やまびこ/(株)ヨロズ ■情報通信業: (株)NID東北/(株)OSK/(株)gumi/ジェイアール東海情報システム(株)/(株)JR東日本情報システム/JCCソフト(株)/(株)システムフロンティア/(株)スタイル・フリー/(株)総合システムプロダクツ/(株)TKC/(株)テクノモバイル/(株)データシステム米沢/デンソーテクノ(株)/東邦ガス情報システム(株)/トランス・コスモス(株)/日本インフォメーション(株)/パーソナルR&D(株)/(株)ビッツ/(株)ビット・エイ/福島コンピューターシステム(株)/(株)MAP経営/(株)リプゲート ■運輸・郵便業: 東日本旅客鉄道(株) ■卸・小売業: エクナ(株)/シーイーシー新潟情報サービス(株)/(株)たかだ/(株)富士薬品 ■金融・保険業: (株)青森銀行/(株)岩手銀行/(株)静岡銀行 ■その他: (株)アルテサロンホールディングス/(株)アルトナー/(株)ヴィス/(株)エステム/(株)グリムス/JR東日本メカトロニクス(株)/JKホールディングス(株)/(株)シノケンハーモニー/(株)じよぶれい/ゼネラルエンジニアリング(株)/(株)タカカツホールディングス/(株)タマディック/(株)テクノプロ/テラテクノロジ(株)/日本工営(株)/(株)日立パワーソリューションズ/(株)ヒップ/(株)ホンダテクノフォート/(株)メイテック/リコーテクノロジーズ(株)/(株)ワールドインテック

【公務員】 秋田市役所【機械】/東北管区警察局【機械】/青森県教員【講師】

大学院修了生の就職先一覧

(平成30年度修了生)

システム科学技術研究科

【県内就職】 ■製造業: TDK(株)

【県外就職】 ■建設業: (株)NTTファシリティーズ/(株)熊谷組/(株)スペース/飛鳥建設(株)/(株)フジタ ■製造業: アルプス電気(株)/いすゞ自動車(株)/(株)茨城製作所/(株)在原製作所/カルソニックカンセイ(株)/(株)北村製作所/KYB(株)/(株)小糸製作所/(株)コガネイ/(株)ジェイテクト/スズキ(株)/スタンレー電気(株)/Spiber(株)/(株)ツムラ/東洋製罐(株)/豊田合成(株)/日本電産エリクス(株)/能美防災(株)/バイオニア(株)/日立オートモティブシステムズ(株)/(株)日立国際電気/(株)日立超LSIシステムズ/(株)不二越/三ツ星ベルト(株) ■情報通信業: (株)グローバルワイズ/(株)ソルクシーズ/(株)日立ハイシステム21 ■運輸・郵便業: 東日本高速道路(株) ■卸・小売業: 大建工業(株)/ナイス(株)/(株)ジマ ■その他: 一建設(株)/(株)協和コンサルティング/(一財)計量計画研究所/パナソニックITS(株)/(株)日立パワーソリューションズ/三菱電機エンジニアリング(株)/(株)エスユーエス

【公務員】 千葉県教員【講師】

大学院進学実績(過去3か年)

秋田県立大学大学院/東北大学大学院/秋田大学大学院/筑波大学大学院/千葉大学大学院/東京大学大学院/東京工業大学大学院/電気通信大学大学院/新潟大学大学院/広島大学大学院 ほか

主な就職・進学先

就職先企業実績(平成30年度卒業生)

【県内就職】 ■建設業: むつみ造園土木(株) ■製造業: 秋田ブライウッド(株)/秋田プリマ食品(株)/湘南香料(株)/ニプロ(株) ■運輸・郵便業: 東日本旅客鉄道(株) ■卸・小売業: 秋田共栄物産(株)/秋田清酒(株)/(株)伊徳/(株)NHC/(株)マルダイ ■金融・保険業: (株)秋田銀行/農林中央金庫/野村證券(株) ■複合サービス業: 秋田しんせい農業協同組合/秋田ふるさと農業協同組合/生活協同組合コープあきた/大潟村農業協同組合/全国農業協同組合連合会 ■その他: (大) 秋田県立大学/池田ライフサポート&システム(株)/大潟土地改良区/(株)向学舎グループ/(株)自然科学調査事務所

【県外就職】 ■農業・林業: (株)アーク/東京牧場(株)/(株)野沢園/(株)パブコック・スウィン・ジャパン/(株)東松島ファーム/(有)瑞穂農場/(株)雪国まいたけ/(株)ユニバーサル園芸社/(有)渡邊牧場 ■建設業: (株)フレスコ/三菱マテリアルテクノ(株) ■製造業: 伊藤ハムデリー(株)/(株)エスピーサンキョーフーズ/カネ美食品(株)/キーコーヒー(株)/ソントン食品工業(株)/太子食品工業(株)/戸田フーズ(株)/日研フード(株)/日東ベスト(株)/日本ハム惣菜(株)/日本フードパッカー(株)/階上キューピー(株)/八戸缶詰(株)/(株)美十/(株)ブルボン/(株)宮野食品工業所/(株)ヤガイ/(株)アルピオン/エムシー・ファータコム(株)/積水メディカル(株)/日新製菓(株)/ニプロ(株)/ニプロファーマ(株)/マルホ(株)/(株)アサカ理研 ■情報通信業: 東京システムズ(株)/プライマル(株) ■運

輸・郵便業: 佐川急便(株)/東武ステーションサービス(株) ■卸・小売業: アンリツインフィピス(株)/H.P.A.(株)/(株)高速/(株)コハタ/(株)誠和/(株)ダルトン/東京豊島青果(株)/トヨタネ(株)/(株)牧家/みちのくココ・コーラボトリング(株)/渡辺パイプ(株)/イオンリテール(株)/(株)ケイイシイ/ゲンキー(株)/(株)フローラ企画/(株)紫野和久傳/ヤンマーアグリジャパン(株) ■金融・保険業: (株)荘内銀行 ■複合サービス業: 越後中央農業協同組合/全国農業協同組合連合会/とちぎコープ生活協同組合/花巻農業協同組合 ■その他: (株)エラン/WDBアイシーオー(株)/内外エンジニアリング(株)/日本インフラマネジメント(株)/賃貸スマイル(株)/(株)ティクアンドギヴ・ニーズ/(株)永田屋/(株)タネトネ/(福)喜寿福祉会/日本原燃(株)/(株)ワールドインテック

【公務員】 秋田県庁【農学(一般)】/秋田県庁【農業農村工学】/北海道庁【総合土木】/岩手県庁【農学】/長野県庁【総合土木】/秋田市役所【化学】/須賀川市役所【一般行政】/大阪狭山市役所【事務職】/東北農政局【農業農村工学】/静岡県教員【講師】

大学院修了生の就職先一覧

(平成30年度修了生)

生物資源科学部

【県内就職】 ■製造業: アルフレッサファインケミカル(株)/(株)UMNファーマ

【県外就職】 ■農業・林業: (株)oh庭ya ■製造業: 味の素食品北海道(株)/(株)キノックス/宝醤油(株)/千葉製粉(株)/フィード・ワン(株)/プリマハム(株)/焼津水産化学工業(株)/アステラスファーマテック(株)/ジェイカムアグリ(株)/仙台小林製菓(株)/日本コルマー(株)/日本ジェネリック(株)/フォスター電機(株) ■複合サービス業: あいち中央農業協同組合 ■その他: オリジナル設計(株)/(株)野生動物保護管理事務所/(株)Grow-S/(株)アソウ・アルファ/(株)タケエ/ (株)テクノプロ

【公務員】 埼玉県教員

大学院進学実績(過去3か年)

秋田県立大学大学院/岩手大学大学院/東北大学大学院/筑波大学大学院/総合研究大学院大学/東京工業大学大学院/京都府立大学大学院/奈良先端科学技術大学院大学/琉球大学大学院



FACULTY OF SYSTEMS SCIENCE AND TECHNOLOGY

システム科学技術学部

本荘
キャンパス

「システム思考」による幅広い視野を持ち、
独創性に富むエンジニアを育てる。

国連の提唱するSDGs、あるいは我が国が進めるSociety 5.0などの将来像を見据えれば、「ものづくり」・「ものづかい」の大局的な目的は、よりよい社会の持続的発展に寄与することと言えます。このとき、限られた分野の専門的知識だけでなく、新材料の開発から、ものの使われ方としての構造的安全性、制御性、経済性、さらには生命・環境影響の評価など、広い範囲の科学・技術に対する知識を基礎として、それらを総合化することが必要です。

専門的工学領域の「微視的」な立場と、社会性を含めた「巨視的」な「ものづかい」の立場。これらの両面からの総合的な「ものづくり」を志向すべきで、それを支える学術概念が「システム思考」です。本学部は「システム思考」の教育と研究に重点を置いています。

高度専門技術者と研究者の育成のための教育・研究を行う、大学院システム科学技術研究科も着々と充実してきました。大学院では、工業分野のみならず、農業や林業などの地域産業との緊密な連携を展開しつつ、新しい研究成果を世界に発信していくことを目指します。



システム科学技術学部長
松本 真一 教授



機械工学科

入学定員 60名

知能 メカトロニクス 学科

入学定員 60名

情報工学科

入学定員 40名

建築環境 システム学科

入学定員 40名

経営 システム 工学科

入学定員 40名



私の目指すステージ!!
鉄道車両の
設計をする
エンジニアになりたい!

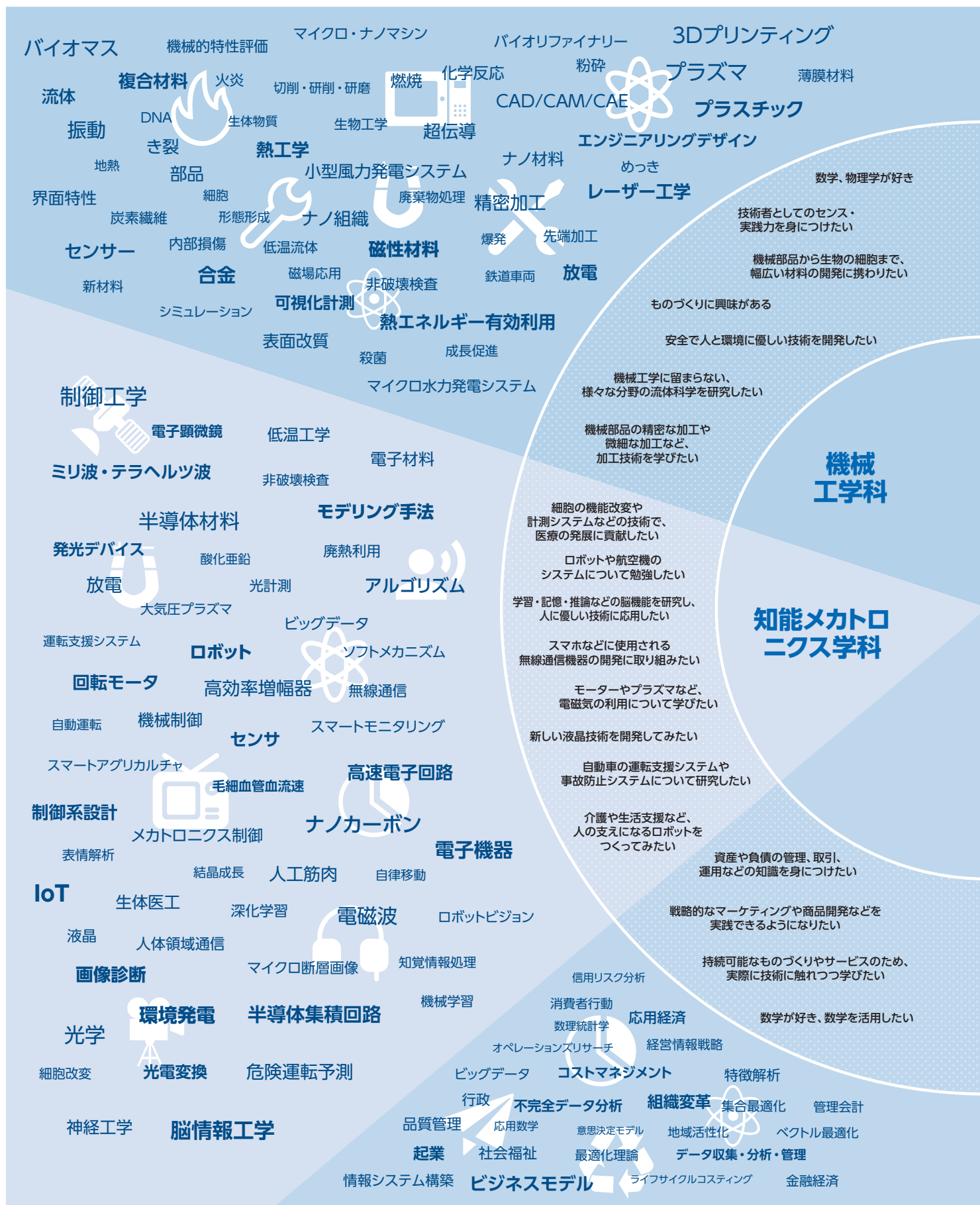
私の目指すステージ!!
環境発電の
開発に携わりたい!

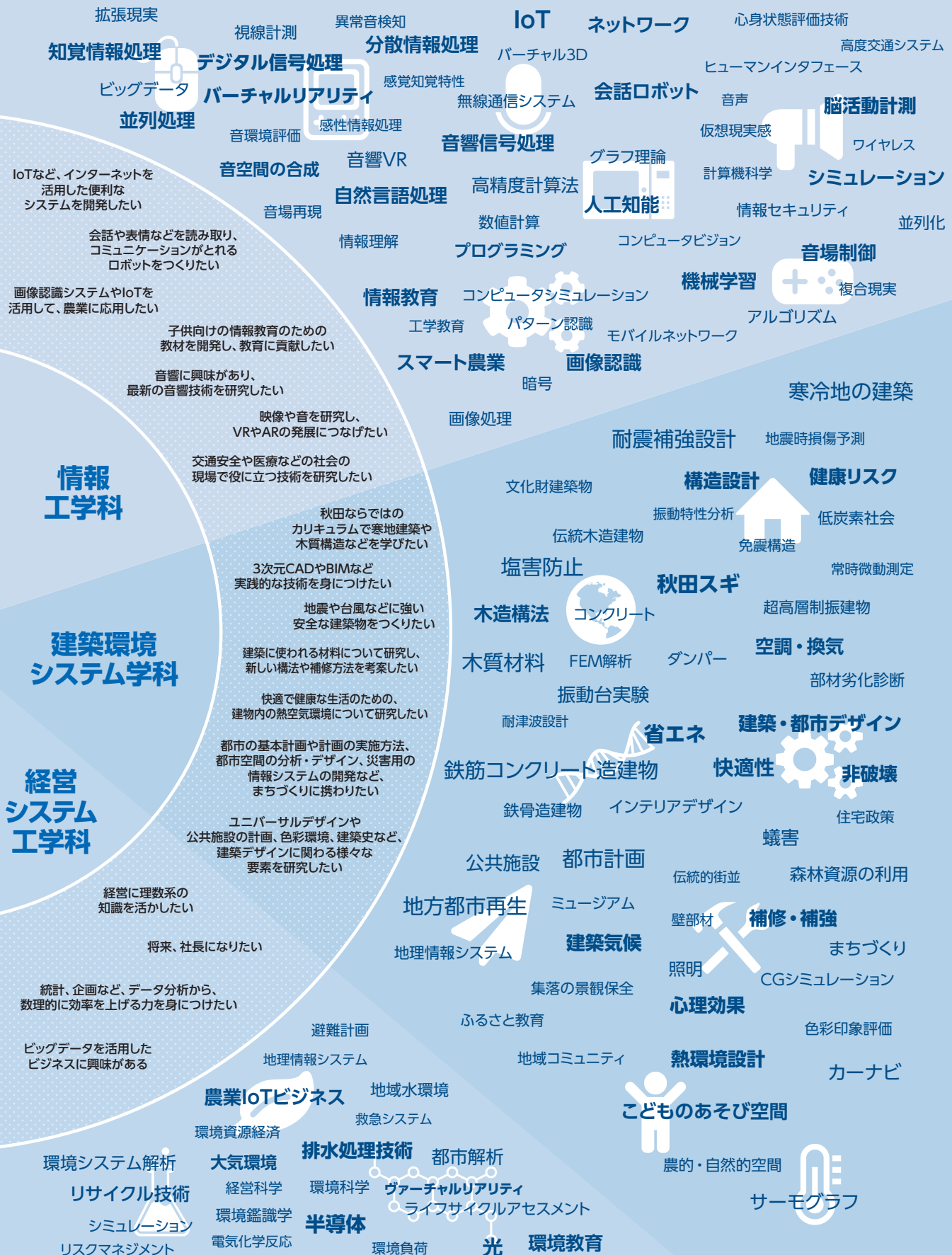
私の目指すステージ!!
人間味のある
ロボットの開発を
目指します!

私の目指すステージ!!
快適で安心できる
住宅づくりを
したいです!

私の目指すステージ!!
環境保全の
役に立ちたい!

学びのキーワード





機械工学科

地球資源・エネルギーの有効利用による、人と環境に優しい高度機械システム

地球資源・エネルギーの有効活用による、人と環境に優しい高度機械システムに関する教育と研究を行います。教育では、機械工学の基礎をなす材料力学、熱力学、流体力学、機械力学を重視し、ものづくりに必要な知識と技術を修得するための授業を行います。また、プロジェクト型授業などを導入し、“機械屋”としてのセンス・実践力を養います。エネルギーシステム、輸送機械、生産システムを対象に社会での機械と人間の役割・責任分担を理解し、システム思考によって個々の専門分野の有機的結合を行います。そして、問題発見・解決型実践的学習を通して、地域の社会基盤を支える実践的技術者を育成します。

カリキュラムの特長

- 4つの力学、製図・実習をはじめとした専門基礎科目の重視
- 実社会で用いられている機械システムを学ぶことによるシステム思考の涵養
- 少人数教育、グループディスカッションによるコミュニケーション能力の涵養
- プロジェクト型授業を通じた実践力と問題発見・解決能力の涵養

PICKUP 授業

機械工学特別講義

毎週各分野で活躍されている専門家の方々から最先端の話題を直接聴くことができ、研究者やエンジニアとして研究開発に取り組む姿勢や考え方を学ぶことができます。機械工学を学ぶ学生として、卒業研究や就職後のキャリアプランに役立ちます。



MY NEXT VISION

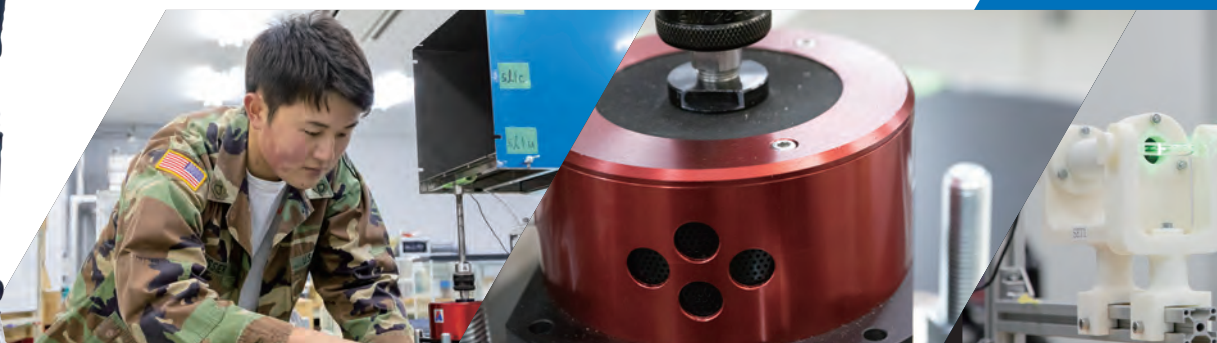
小さいころから乗り物が好きで、 現在鉄道車両の振動の研究をしています

父が車好きなこともあり、小さい頃から新幹線や飛行機などの乗り物が好きで、将来は自動車の設計や研究といったものづくりに深く携われる仕事に就きたいと思っていました。そこで、先生との距離が近い少人数教育や1年生の内から専門科目を学ぶことができる秋田県立大学が魅力的に思い、この大学を選びました。「設計製図Ⅰ」の授業では、設計する際に基礎となる機械製図の基本を学びました。ドラフターを使い手書きで図面を描くことは大変ではありますが、作図するルールや必要な知識を習得でき、機械設計と機械図面の関係性を理解することができました。現在は、鉄道車両を1/10スケールで模擬した角筒状構造体の弾性振動に対する端部拘束と質量分布の影響が、どのように構造体の振動に影響するか研究しています。今後は、鉄道車両の設計に携われるエンジニアを目指しており、また、自分が行ってきた振動の研究を生かした新しい車両を開発することが将来の目標です。

大学院・システム科学技術研究科 機械知能システム学専攻[1年]
平成30年度 機械知能システム学科卒業*

佐々木 諒 さん SASAKI Makoto 秋田県/湯沢高校出身

*学科再編後の機械工学科に該当する研究室に所属した学生です





研究グループと研究内容

材料構造工学講座

応用材料力学研究グループ

- バイオマスを利用した高分子複合材料の高機能化
- 高分子材料の高度利用 -異種材料接合および塑性加工技術-
- 振動現象を用いた機械材料や岩体にあるき裂の評価に関する研究

先端材料研究グループ

- 複合材料と機能性材料の変形・内部損傷過程の解明と予測
- 超急冷技術による材料の組織制御と新しい構造・機能材料の開発
- ナノ粒子による新機能性材料の創製とその応用に関する研究

熱・流体工学講座

熱科学研究グループ

- 熱エネルギーの利用および制御の研究
- 燃焼技術の利用および制御の研究
- 植物由来エネルギーの高度利用の研究

流体科学フロンティア研究グループ

- 新規機能性サスペンションや機能性流体開発のための基礎研究
- 超伝導体と磁性流体を用いた高効率アクチュエータの開発
- 生物・バイオ材料に関する流体科学的及び医工学的な基礎研究

設計生産工学講座

応用機械設計研究グループ

- 熱流体を利用したエネルギーシステムの効率向上に関する研究
- 放電やプラズマの特性を利用する環境負荷の低い新技術の研究
- 機械的微粒砕を利用した木質バイオマスの利用に関する研究

先端加工研究グループ

- 超音波を援用・利用した精密加工技術の高度化開発
- MCF (磁気混合流体) スラリーを用いたナノ精度研磨技術の開発
- 微細切削加工における微小径工具の加工プロセス最適化



活躍が期待される分野

輸送用機器の開発、設計 / 電気機器の開発、設計 / 熱機器・流体機械の開発、設計 / 生産技術、品質管理 / インフラ設備の運転、保守 / セールスエンジニア

取得可能資格

- ◎ 高等学校教諭一種免許状(工業)

取得可能受験資格

- ◎ 一級技術検定(指導監督の実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験)
- ◎ 二級技術検定(実務経験1年以上)



研究グループ

応用材料力学研究グループ



複合材料・表界面工学
邱建輝 教授

使用後に水と二酸化炭素に分解される生分解性プラスチックの複合材料を開発し、地球環境問題を解決したいです。

振動工学
伊藤伸 准教授

振動現象を用いて、機械材料にあるき裂の検査や地熱を取り出すためのき裂の評価について研究しています。



複合材料・表界面工学
境英一 助教

ネジや接着剤などを使わずにプラスチックと金属などの異種材料をくっつけます。

生体工学
伊藤一志 准教授

細胞の構造と機能を調べる技術の研究を行っています。



先端材料研究グループ



材料強度学
水野衛 教授

飛行機や自動車に使われる炭素繊維強化プラスチックの壊れ方を調べ、強度変化の検査方法を開発しています。



物性物理学
奥村肇 助教

人工的にしか作れない結晶構造を持つ金属を作り、新しい材料の開発に繋がります。

材料工学
尾藤輝夫 教授

豊かな生活を続けられるように、未来の私たちの生活を支える新しい材料を創り出すことを目指しています。



複合材料工学
施建 助教

炭素繊維は軽くて強く、樹脂と複合して使われています。繊維と樹脂の相性をよくするための研究を行っています。



流体科学フロンティア研究グループ



マイクロ流体工学
佐藤明 教授

磁性微粒子を機械工学や医用工学さらには環境資源工学などの分野への応用を計るための研究を行っています。



ソフトマター流体工学
石本志高 教授

「からだの中のかたちの原理」を解き明かす！動植物の染色体・組織・器官、トンボなどを研究しています。



磁気工学
二村宗男 助教

超伝導磁気浮上や液体窒素中の遊泳マシンなど、「磁場と低温」に関して研究しています。



生物流体力学
ニックス・ステファニー 助教

流体力学の観点から生命に関わる現象の解明を目指しています。



応用機械設計研究グループ



プラズマ工学

杉本 尚哉 教授

太陽やカミナリと同じ状態の物質を電気ので生み出し、私たちの暮らしや産業に利用する研究をしています。

設計工学

高橋 武彦 准教授

バイオマス(主に木)を μm サイズに細かくして全く別の用途に応用する新しい粉碎の設計や研究をしています。



レーザー工学

合谷 賢治 助教

材料加工・分子検出等のレーザー技術で、物を作る、物の特徴を知る研究をしています。



流体工学

須知 成光 准教授

身近な場所で無駄になっている小さなエネルギーをうまく利用する方法を研究しています。



機械振動学

富岡 隆弘 教授

振動や騒音を減らして、鉄道車両、飛行機、自動車をより快適に! いろいろな機械をより高性能にします!

大上 泰寛 准教授

特殊環境下での燃焼メカニズム解明に取り組んでいます。航空機エンジンの低環境負荷につながる研究にも挑戦中です!

熱科学研究グループ



燃焼学

鶴田 俊 教授

熱科学は、エンジンやエアコンを理解する基礎となります。エンジンの燃焼、火災・爆発を研究しています。



伝熱工学

大徳 忠史 助教

エネルギーは生活・経済活動を支える不可欠なものです。「熱」を制御し世に役立つ提案を発信しています。

先端加工研究グループ

材料工学

鈴木 庸久 教授

新しいものづくりプロセスの開発! コーティングやナノ複合材料で、高性能な加工ツールを開発します!



加工学

野村 光由 准教授

人間の髪の毛より細かい切削工具(ドリル)を使用して難削材料といわれる金属への微細な穴あけに挑戦します!!



材料力学

藤井 達也 助教

マイクロ・ナノマシン(MEMS/NEMS)を形作る薄膜材料を引っ張ったり、曲げたり、ねじったりして強さを測ります!

知能メカトロニクス学科

機械工学と電子工学の融合による応用制御システム

産業を支える技術者の実践的教育や制御を基幹技術とする機械・電子・通信などの分野を融合した応用システムに関する教育と研究を行います。機械工学と電気電子工学及び制御工学を中心とした専門科目や、システム思考に基づいてこれらの技術を組み合わせたメカトロニクスに関する科目について、プロジェクト型実習を中心として少人数教育を実施し、産業分野で応用できる問題発見・解決力を備えた人材を育てることを目標にしています。さらに、メカトロニクスに関する技術を体系的に修得できる学習を履修モデルとして提示し、国際化に対応できるコミュニケーション能力を育成します。

カリキュラムの特長

- 人間・機械・環境を融合し、他分野も見据えたシステム思考の習得
- プロジェクト型実習を中心とした少人数教育による実践的技術者の育成
- 最新の研究機器を活用した学生実験や、理解を深めるための演習の実施
- プレゼンテーション・コミュニケーション能力訓練の機会を多数設定

PICKUP 授業

知能メカトロニクス通論I

「雪下ろしロボット」をテーマとし、1年生で数人ずつチームを組んでロボット製作に取り組みました。講義の最後には雪下ろしのタイムトライアルを行いました。ロボットの動きや除雪の流れはチームによって全く異なり、自分たち独自の解決方法を考えることが出来ました。



WEB



雪下ろしのタイム
トライアルの様子

MY NEXT VISION

1・2年のうちから専門的な学習ができ、卒業研究にもつながりました

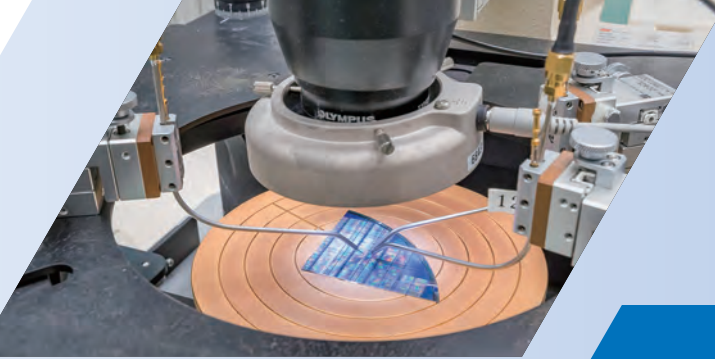
私が秋田県立大学を選んだ理由は、学生自主研究制度で、1・2年生のうちから先生や先輩のサポートを受けて研究できることや、先生と生徒の距離が近いので、質の高い教育を受けることが可能であることでした。クサビ型カリキュラムにより、1年生の頃から専門科目を受講することができ、入学した時からどの分野に進めるか考えられることも魅力だと思います。現在私は太陽光発電に使用する太陽電池材料の研究をしています。もともと半導体の分野に興味があり、「電子デバイス講座I」の講義で環境発電材料に使われる半導体の基礎が学べたことも、今の研究に役立っていると感じます。研究している材料は秋田県でも産出されていた黄鉄鉱という材料で、地域活性化にもつながると考えています。将来は環境発電の開発、または運営に関わる仕事がしたいと考えていて、環境発電に関する専門知識や、英語など勉強しているところです。

大学院・システム科学技術研究科 電子情報システム学専攻[1年]
平成30年度 電子情報システム学専攻卒業*

金子 駿也 さん KANEKO Shunya 秋田県/能代工業高校出身

*学科再編後の知能メカトロニクス学科に該当する研究室に所属した学生です





研究グループと研究内容

知能化機械システム講座

ロボット・メカノシステム研究グループ

- 国際貢献に関連するロボットとメカニカルシステムの開発
- 安全・安心の社会を構築するための簡易計測システムに関する研究

生体知能研究グループ

- 次世代自動車・運転支援システム、交通事故を減らす予防安全研究
- 細胞機能改変による先端医療応用、高度移動型生活支援ロボットの開発
- 人に優しい知能化技術、機械学習の応用化研究とロボットビジョン

制御システム講座

制御システム基盤研究グループ

- ロボットや航空機などの複雑なシステムのモデリングと制御の研究
- 量子制御技術による新型生物電子顕微鏡の開発

応用制御システム研究グループ

- スマートフォンなどに用いられるアンテナ、増幅器などに関する研究
- メカトロニクス知能制御手法の開発と生体力学柔軟デバイス開発

電気電子システム講座

知能デバイス研究グループ

- 温度差や電磁波、室内光など微小な環境エネルギーを活用する環境発電技術をはじめとする環境エレクトロニクス分野に関する材料・プロセス・デバイス・回路の研究
- 偏光発光液晶、可変回折格子、光計測応用、ミリ波・テラヘルツ波応用など液晶デバイスの新しい応用開拓の研究

電気エネルギー変換研究グループ

- ロボットを動かす低速回転で大きな回転力を発生するモータの開発
- 大気中で安定したプラズマを作りだす研究



活躍が期待される分野

制御・計測、メカトロ設計／生産技術、品質管理／デバイス開発、設計／電子、制御システム設計／情報、通信システム設計／システムエンジニア／セールスエンジニア

取得可能資格

- ◎高等学校教諭一種免許状(工業)

取得可能受験資格

- ◎一級技術検定(指導監督の実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験)
- ◎二級技術検定(実務経験1年以上)

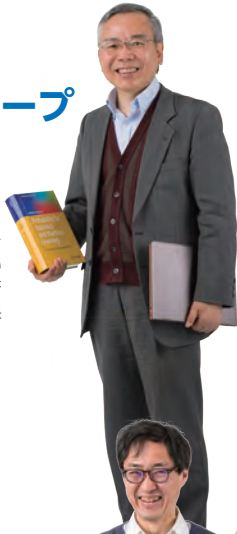


研究グループ

制御システム 基盤研究グループ

制御工学
徐 粒 教授

システム不確かさのモデリングや変動に強いロバスト制御などの研究を展開し、多くの成果を挙げています。



数理工学
松下 慎也 准教授

数学を応用して、制御工学や画像処理等の問題を持つ構造をシンプルにし、効率的に解くための研究を行っています。



制御工学
岡本 洋 准教授

生物の細胞の中で、分子たちがどのように働いているか直接見えるような電子顕微鏡を作っています。

応用制御システム研究グループ

環境電磁工学
戸花 照雄 准教授

周囲で発生した不要電磁波の影響により誤動作しない電子機器の設計方法を確立するための研究をしています。



マイクロ波工学
磯田 陽次 教授

携帯電話のバッテリーを長持ちさせ、熱くならない、効率の良い増幅器の研究をしています。



制御工学
佐藤 俊之 准教授

計算機能力を活用した、動的モデルに基づく高度な機械制御手法の開発とメカトロ応用を行っています。



通信工学
秋元 浩平 助教

生体データや音楽、映像をヒット1人分の空間でワイヤレスでやりとりする人体領域通信を研究しています!

生体知能研究グループ

細胞工学
齋藤 敬 准教授

「いのちだいに」をモットーに、細胞治療ロボや雪下ろしロボ、さらにはクマ対策ロボを作ったりしています。

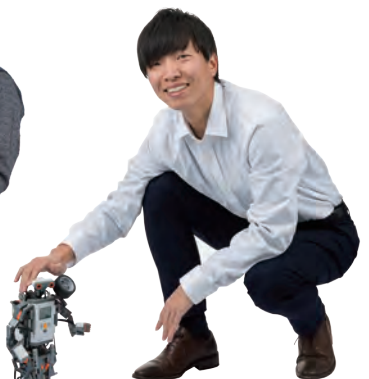


脳情報工学
佐藤 和人 教授

表情や視線の変化から分かることは何か? 「感じること」と「理解すること」の違いを知能で探求しています!

脳情報工学
間所 洋和 准教授

環境内を移動して様々な情報を収集し、周辺状況の様子や意味を自主的に学習する機械の研究を行っています。



ロボット工学
ウ ハンウル 助教

人と機械が共存する社会の実現を目指して、人とのインタラクションを考慮した制御システムを開発します。



知能デバイス研究グループ



光・電子デバイス工学
能勢 敏明 教授

ミリ波制御、光計測などへ液晶材料の新しい応用について研究をしています。

半導体集積回路工学
小谷 光司 教授

半導体集積回路の技術を用いて、環境中の電波や光からエネルギーを取り出したり、ワイヤレスで送る研究をしています。



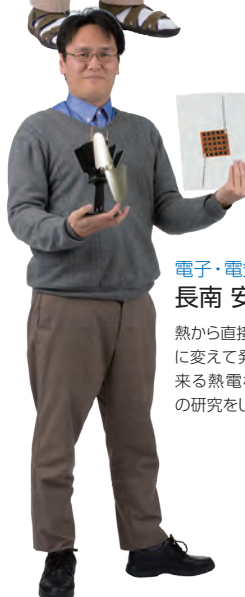
電子材料工学
山口 博之 准教授

ナノカーボン材料や光・熱・においを電気に変換する材料について、その特性を向上させる合成プロセスを研究しています。



液晶工学
本間 道則 准教授

液晶をはじめとした有機光・電子デバイスとその光センサおよび光計測応用に関する研究を行っています。



電子・電気材料工学
長南 安紀 助教

熱から直接電気エネルギーに変えて発電することが出来る熱電材料の高性能化の研究をしています。



電子工学
伊東 良太 助教

これまで使われてこなかった特殊な電磁波「テラヘルツ波」を利用し、世の中をより便利にしていきます！



電子材料工学
小宮山 崇夫 助教

電子材料の組織や構造を制御することによってより良い機能をもつデバイスを実現することを目指しています。

電気エネルギー変換研究グループ



物理学
高山 正和 准教授

プラズマアクチュエータは大気圧プラズマを用いて空気などの流れを制御する装置で、その性能について研究を行っています。



電気工学
片岡 康浩 助教

システム電動化で世の中をもっと便利で快適に。モータ構造や制御法を研究し、高性能モータの開発を目指します！

ロボット・メカシステム研究グループ



ロボット工学
下井 信浩 教授

少子高齢化社会を支えるための見守りに関する技術について研究しています。人工知能を含めた人からロボットへの展開を目指します。



ロボット工学
齋藤 直樹 准教授

空気の力を使った、人に寄り添う柔らかい機械、人を快適に手助けするアシスト機械を考えます。

生体医工学
古川 大介 助教

お肌のシワ・タルミなどの老化現象と血流速との関連を解明するため、毛細血管のネットワーク構造および流速を非接触・非破壊にマイクロレベルで断層計測します。



情報工学科

多種多様で膨大な情報を活用して、知的な人間支援を実現

現在、私たちの身の回りにはスマートフォン、家電製品、自動車などには多くのコンピュータや情報機器が組み込まれ、高度な情報技術が活用されています。本学科では、情報工学を基盤とし、現実世界の多種多様で大量な情報を活用して、人を援ける賢い情報システムを創出できることを目的とした教育と研究を行います。標準的な情報工学を基礎に、メディア情報処理、知能情報処理、情報ネットワークシステムに重点を置いたカリキュラムを組んでいます。また、農業・生活支援・健康・交通・エネルギー等の分野において、社会の幅広いニーズを満たす情報システムを設計・開発・運用できる実践的な人材の育成に力を入れます。

カリキュラムの特長

- 日常生活と生産の場に欠かせない情報技術の基礎と応用をバランス良く学修
- 知的な人間支援を実現するために必要となる、メディア情報処理、知能情報処理、情報ネットワークシステムに関する専門知識・技術を重点的に修得
- 社会の幅広いニーズを満たす情報システムを設計・開発・運用できる能力の修得
- プロジェクト型実習を通じた、様々な産業分野で活躍できる情報技術者が備えるべき実践力の醸成

PICKUP 授業

システム科学演習

学生数人でグループを作り、システムの提案を行いました。既存のシステムにはどういったシステムがあり、今後どういったシステムがあればより便利になるのかをグループで考えることができました。内容を変えながら今も講義を行っていて、2019年は、「レポート提出システムの改善」というテーマにグループごと様々な改善提案を考えました。



MY NEXT VISION

何が原因でどうすれば解決できるのか、論理的に考える力がつきました

大学を選ぶ際、当時の担任の先生から秋田県立大学は先生方の面倒見がよく、就職率がいいことを聞き、この大学を志望しました。また、それ以外にも、研究設備が充実していて、研究に専念できる環境であることも進学先を決定する上で決め手となりました。情報工学科の魅力は、今後の社会において重要となる画像処理やAIについて深く学ぶことができ、また研究や就職後の場面において重要となるシステム思考を養うことができることです。なにか問題が起きたときに、何が原因でどうすれば解決できるのかを論理的に考える力をつけることができます。講義で役に立つと感じたのは科学英語です。英語だけで聞き、考え、伝えることを要求されるため、高校までの授業とは異なる英語の力を身に付けることができました。私は人間とロボットが会話をする会話ロボットの研究をしています。将来的には人間の日常生活において、人間を支え、家族の一員として認識されるような人間味のあるロボットの開発を目指しています。

大学院・システム科学技術研究科 電子情報システム学専攻[1年]
平成30年度 電子情報システム学科卒業*

赤堀 立樹 さん AKAHORI Tatsuki 静岡県/掛川西高校出身

*学科再編後の情報工学科に該当する研究室に所属した学生です





研究グループと研究内容

基礎情報工学講座

情報システム研究グループ

情報ネットワーク研究室

- 実世界を取り込んだ分散情報ネットワークの研究
- 安心安全なデータ管理とデータ分析技術の研究
- モバイルアドホックネットワークの運用管理技術の研究

知能情報処理研究室

- 言葉や身振りを使って人間と会話する会話ロボット
- 外界を認識・理解するコンピュータビジョン
- 人間の感情を理解するヒューマンマシンインターフェイス
- 生活支援・農業支援などの応用研究

ソフトウェア基盤研究室

- コンピュータの性能を最大限に引き出すための技術の研究
- 自然現象の解析のためのコンピュータシミュレーション
- 新しいアーキテクチャの計算デバイスでの高速計算

人間支援情報工学講座

メディア情報処理研究グループ

知覚情報処理研究室

- 聴覚のしくみを他の感覚との関連性を含めて解明する「聞こえを探る」研究
- さまざまな音環境を仮想的に合成する「聞こえを創る」研究
- 「音環境を収録・伝送・再生」するための信号処理技術の研究

メディア信号処理研究室

- 映像中の人・物体などに対する認識・解析とその応用システムの実現
- 画像中の欠損領域を修復する画像処理技術
- 仮想現実感の技術を使った人の視聴覚の知覚についての解明



活躍が期待される分野

ITソリューション、ITインフラ設計／映像音響システム設計／情報、通信システム設計／組み込みシステム設計／ソフトウェア開発／システムエンジニア／技術コンサルティング

取得可能資格

- ◎ 高等学校教諭一種免許状(情報)

取得可能受験資格

- ◎ 一級技術検定(指導監督の実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験)
- ◎ 二級技術検定(実務経験1年以上)
- ◎ 工事担任者(ネットワーク接続技術者)
受験科目の一部免除



研究グループ

情報システム 研究グループ



情報通信学
飯田 一朗 教授
実世界に分散している様々な情報を収集し、人の行動を支援する技術を研究しています。主に農業への応用を志向しています。



知能情報学
堂坂 浩二 教授
言葉を理解し、生活や仕事の様々な場面で私たちを援けてくれる賢いコンピュータを創ることを目指します。



計算幾何学
草苅 良至 准教授
IoT技術によりセンサーデータを収集し、学習アルゴリズムにより知識の発見を目指します。



情報通信学
橋浦 康一郎 助教
安心・安全な社会を築くための無線通信技術・システムについて研究しています。



応用数学
廣田 千明 准教授
情報技術のすごさを理解してもらえようなプログラミング教育の教材を開発しています。



情報工学
石井 雅樹 准教授
画像処理・機械学習を用いて人間の生活を知的に支援するスマートなロボット・コンピュータをつくります!



応用数理学
中村 真輔 助教
より速く、より正確に計算できるプログラムの開発を目指しています。



神経工学
伊東 嗣功 助教
ブレイン・マシン・インタフェース技術を用いて、人間の状態を理解し支援するシステムの研究をしています。



情報通信工学
陳国躍 教授

人工知能を用いて画像の修復・認識・解析などの研究を行っています。



メディア情報学
渡边 貫治 准教授

高い臨場感の音響VRを実現するために空間的な情報を含んだ取音の研究を行っています。



メディア情報処理 研究グループ

音声・音響工学
西口 正之 教授

“あたかもその場に居る様な”非常に高い臨場感の通信・再生を実現するための、効率的な3次元音響伝送再生技術の研究を行っています。



音響情報学
高根 昭一 准教授

どんな場の音でも創り出せる音を通じたバーチャルリアリティを実現する方法を考えています。



情報処理学
斎田 和樹 准教授

画像認識や視線計測技術を応用し、交通事故予防などの安全な生活の実現につながる研究をしています。



情報ネットワーク工学
安倍 幸治 助教

人間の感覚情報処理を明らかにし、それと良く対応した人が使いやすいシステムの開発を目指しています。



生体工学
寺田 裕樹 助教

先端技術を使って自由自在に現実感を操作して、新しい能力を獲得できるようなシステムを開発しています。

建築環境システム学科

住宅から都市環境まで「人間生活の場」の総合デザインを追求

「建築学」は、多方面の知識・経験・感性などを総動員して「あらゆる分野を統合する工学芸術」である点が際立った特長となっています。ひとつの住宅設計でも、統合すべき対象は、地域・都市としての空間・環境、あるいは地球環境のスケールまで及ぶ場合もあります。優れた建築空間を実現するためには、建築をシステムとして捉え、幅広い視点で総合的に学び、研究しなければなりません。本学科では、木質構造など、地域特性に富んだカリキュラムや、即戦力が求められる社会のニーズに応えるための3次元CAD・BIN教育などに加え、新しい時代に対応した総合的な建築教育と研究開発に取り組んでいます。

カリキュラムの特長

- 総合的かつ実践的な学科目構成
 - 地域特性を反映した学科目の設置
 - 設計教育の重視
 - ・ 系統的、実践的な設計科目・卒業制作と卒業論文の選択制
 - ・ 充実したCADシステムによる教育
 - 研究者、デザイナー、エンジニアとして、実践的に活躍している教員陣による指導
- 【建築学の特徴】**
- あらゆる分野を統合する工学芸術
 - モノづくりの対象は「人間生活の場(空間)」
 - ・ 工学系のみならず、人文系の学問も大切(レオナルド・ダ・ヴィンチ的な博識さ)
 - ・ モノづくりの対象がミクロからマクロに及ぶ(衣服から地球環境まで)
 - 分野間の強い連携と幅広い知識の総合化

PICKUP 授業

建築設計Ⅳ

各自で建物などの設計を行います。建築設計Ⅰ～Ⅲまでは、与えられたテーマや条件に対して、建物を設計し、設計の基礎を学びましたが、建築設計Ⅳでは、設計したいテーマやコンペに挑戦することができます。最後まで自分たちでやり遂げたときの達成感は今でも鮮明に覚えており、自信にもつながりました。



MY NEXT VISION

芸術的な要素から工学的な要素まで、幅広い分野を学ぶことができます

少人数教育により、学生ひとりひとりが丁寧に指導してもらえるとところが魅力的だと思いつこの大学を志望しました。また、学生自主研究制度もあり、積極的に学べる環境が整っていることから自分自身成長することができ、充実した学生生活を送ることができると思いました。建築は意匠等の芸術的な要素や、構造等の工学的な要素など、本当に様々な要素によって成り立つため、建築に携わる上では、幅広い知識が必要になります。建築環境システム学科では構造・材料・環境・計画と幅広い分野を学ぶことができ、これらの基礎的な知識を修得してから、自分が興味のある分野を専門的に研究できるところが魅力だと思います。私は環境計画学グループに配属され、住宅に関する研究を行いました。大学院進学も決定し、これからは住宅の温湿度調整に関する研究を行う予定です。将来は学部、大学院での研究を活かして、住む人が健康に安心して住み続けることのできる住宅づくりに携わりたいと考えています。そのために、現在は研究を進めるとともに、資格取得を目指して勉強に励んでいます。

大学院・システム科学技術研究科 建築環境システム学専攻[1年]
平成30年度 建築環境システム学科卒業

増田 早也花 さん MASUDA Sayaka 山形県/山形西高校出身





研究グループと研究内容

構造学講座

建築構造学研究グループ

- 最高水準の実験装置を用いた地震などの災害に強い建築構造の研究
- 耐震補強工法の開発と、公共施設などの耐震化促進活動への参画
- 寺社建築などの歴史的建築物の耐震性に関する調査研究

材料学講座

建築材料学研究グループ

- 環境負荷を低減する手法や、材料を有効活用する新しい構法の研究
- 繊維補強などを用いた粘り強くひび割れの少ないコンクリートの開発
- 開放的かつ長寿命な住宅設計を可能にする耐震木造住宅構法の開発

環境学講座

環境計画学研究グループ

- 寒冷地での快適な建築空間実現のための断熱構法などの設計手法開発
- 地中熱のような自然エネルギー利用や暖冷房関連省エネ技術の開発
- 結露やカビの発生による健康被害やシックハウス問題に関する研究

計画学講座

都市・建築計画学研究グループ

- 都市・建築計画関連のデザインや、関連する街づくりなどの地域支援
- 建築都市空間分析、建築史、伝統民家、人間工学などの設計関連研究
- 災害危機に対応した行政運営や地域計画のための情報システム開発

活躍が期待される分野

建築設計(意匠、構造、設備)／建築施工管理／建築製品開発、製造／建築行政(公務員)

取得可能資格

- ◎ 高等学校教諭一種免許状(工業)

取得可能受験資格

- ◎ 一級建築士試験
- ◎ 二級建築士試験
- ◎ 木造建築士試験
- ◎ 一級技術検定(指導監督の実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験)
- ◎ 二級技術検定(実務経験1年以上)



研究グループ

建築構造学研究グループ



建築構造学
西田 哲也 教授

より安全な建物をつくるため、様々な地震で建物がどのくらい揺れるかを予測する簡便な方法を探しています。

構造力学
クアドラ・カルロス 准教授

常時微動観測と有限要素法と連合して既存建築物の振動特性評価を行います。文化財の建築物への適用の妥当性について検討しています。

建築耐震工学
櫻井 真人 助教

実験・解析の両面からRC建物の複雑な挙動解明に取り組んでいます。大規模な模型破壊実験が体感できます！

建築構造学
菅野 秀人 准教授

地震による建築物の揺れ方や壊れ方を調べて、被害を最小限に抑える最新技術について研究しています。

建築構造学
小幡 昭彦 助教

津波のような自然現象が建物にもたらす影響を調べます。数値流体解析でシミュレーションなども行います！

建築材料学研究グループ



建築材料学
大塚 亜希子 助教

建築の長寿命化のための、建築部材を極力傷つけない非・微破壊による部材劣化診断方法および補修方法を提案します。

木質材料学
板垣 直行 教授

秋田の主要林産物であるスギ材を活用し、耐震性・耐火性能に優れた木造建築構法の開発に取り組んでいます。

建築材料学
石山 智 准教授

コンクリート材料の高性能化と新しいセメント材料の研究開発に取り組んでいます。



環境計画学 研究グループ



建築環境学

長谷川 兼一 教授

建築環境と健康というキーワードをもとにして、人にとって望ましい建築デザインを追求しています。



建築環境工学

松本 真一 教授

持続可能な建築の環境デザインの手法について研究しています。秋田の風土と気候に適ったデザインを!



建築環境工学

竹内 仁哉 助教

健康で快適に暮らすための建築空間の実現に向けた設計・評価に関する研究をしています。

都市計画学

山口 邦雄 教授

「たんころりん」を使った歴史的町並みの演出から、現代に相応しい地域空間の創造までを研究し実践します。



環境心理学

込山 敦司 准教授

心を理解して、快適な空間をソウゾウ(想像&創造)してみましょ!



建築環境学

浅野 耕一 准教授

環境に配慮した建築デザインや、安全・安心で快適な都市づくり等を支援できるシステムを開発しています。



建築学

苅谷 哲朗 教授

デザイン(建築から都市・情報システム環境まで)を通じて、喫緊の課題を解決すると共に、新たな価値創造を指し示す道筋を描きます。



農村計画学

石山 真季 助教

住みやすい地域づくりを目指して、みんなが集まる空間と仕組みについて、建物と自然からアプローチします。



建築計画学

李 雪 助教

風土的な建築や集落などに積み重ねた「知恵」を発見・活かすことが私の仕事です!

経営システム工学科

鳥瞰的視野と数理的かつ工学的な経営で地域発のイノベーションを実現

社会の持続的発展につながるイノベーションには、個人や企業と、それを取り巻く自然環境および社会経済環境との間の相互作用についての理解、すなわち鳥瞰的視野からの外部環境の理解が必要不可欠です。本学科は、このような理解の上に立ち、数理的な手法を用いた経営工学を基礎とするイノベーションを目指し、それを実行できる人材の養成を目的とした教育を行います。このような人材は、モノやサービスすなわち有形無形の価値を創造するさまざまな集団における意思決定とその実行において、中心的な役割を担うことが期待されます。

カリキュラムの特長

- 企業経営における、情報、生産、販売、財務、組織の管理に関する経営工学手法の修得
- 経営管理や課題発見と問題解決を工学的に行うための数理的解析手法を修得し、社会へ応用する力の養成
- 鳥瞰的視野で人間社会を取り巻く環境・資源や社会・経済を理解し、多角的視点を融合して課題の本質や重要度を明らかにする力の養成
- イノベーションの実現に必要なコミュニケーション力、実行力の養成

PICKUP 授業

経営工学実験

環境系研究グループの先生の講義で、環境保全のための経営学的な分析などに関し、実際現場で使われる技術を実験で体験します。私の研究にも関連した実験を行うことができ、多様な分析機器に触れられるところが面白く、論理的に考察する事が卒業研究で役に立ちました。



MY NEXT VISION

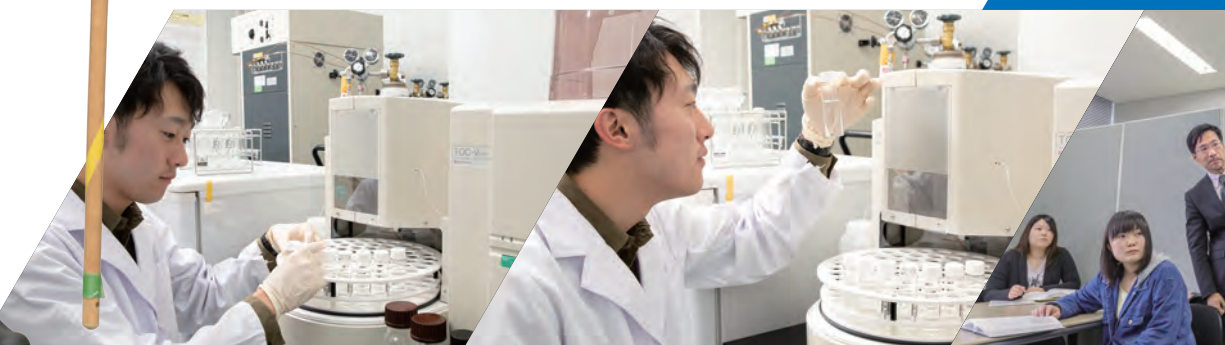
工学的な観点から、経営の問題解決にアプローチする方法を学べます

高校のころ、経営工学という分野と少人数制教育という特徴に魅力を感じ、秋田県立大学に興味を持ちました。また、秋田という大自然に囲まれた土地で暮らすことが成長に繋がると思ったため、この大学を選びました。地元の名古屋で受験できる事も決め手でした。経営システム工学科は、システム工学をはじめ、会計学や金融工学、数理統計学、環境工学等から問題解決にアプローチでき、豊富な演習型講義を通して学際的に経営工学が学べる環境が整っているところが魅力的です。また少人数制であるため講義や卒業研究では手厚い専門的な指導を受けられます。

私の研究内容は、地域の水環境の研究です。自然水の水質の特徴を誰にでも理解できるように可視化し、地域内外に発信することで、地域の活性化の一助になると考えています。将来は環境保全をする技術者やその大切さを伝える職業に就きたいと考えていて、現在は環境教育の講師をしたり、海外留学をしたりして経験を多く積み、知見を深めています。

大学院・システム科学技術研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻[1年]
平成30年度 経営システム工学科卒業

宮崎 智也 さん MIYAZAKI Tomoya 愛知県/横須賀高校出身





研究グループと研究内容



戦略プランニング講座 経営企画研究グループ

- コストマネジメントに関する研究
- 商品企画に関する研究
- 情報システムに関する研究

先端ビジネスマネジメント研究グループ

- オープンソースビジネスモデリングに関する研究
- 品質保証・知識ベースマネジメントに関する研究
- 製品開発マネジメントに関する研究

数理アナリシス講座 計画数理研究グループ

- 計画数学に関する研究
- 応用統計に関する研究
- 応用数学に関する研究

経営データ分析研究グループ

- 経営学に関する研究
- 統計分析に関する研究
- 経済学・応用計量経済に関する研究

持続可能マネジメント講座 社会環境シミュレーション研究グループ

- 社会環境モデリングに関する研究
- 経済時系列・市場分析に関する研究
- オペレーションズ・リサーチに関する研究

環境マネジメント研究グループ

- 環境プロセス・生産マネジメントに関する研究
- 資源循環工学に関する研究
- 環境分析学に関する研究



活躍が期待される分野

経営コンサルティング、プロジェクトマネジメント、テクニカルエバンジェリスト、CSR/データサイエンティスト、ファイナンシャルプランニング、銀行、証券/生産管理、品質管理、工程管理、環境管理、ロジスティクス/マーケティング、商品開発、販売企画、販売データアナリシス

取得可能資格

- ◎高等学校教諭一種免許状(工業)

取得可能受験資格

- ◎甲種危険物取扱者試験



研究グループ

経営企画研究グループ



管理会計学
朴元熙 教授

サステナビリティのため
のあるべき戦略と良い意思
決定を支援するコストマネ
ジメントを研究しています。

社会システム工学
嶋崎 真仁 准教授

地域活性化のために大学は
何ができるか。経営工学と情
報技術を駆使して、制度と技
術の研究をしています。



管理会計学
徐智銘 助手

PDCA(Plan-Do-Check-
Action)サイクルで戦略を
実現させる組織デザインの
探求をしています。

先端ビジネスマネジメント 研究グループ



人文社会情報学
上原 宏 教授

大量のデータをプログラム
を書いて自動収集し、人工
知能をはじめとする技術を使
って、未知の知識を発見
する研究をしています。



通信・ネットワーク工学
鈴木 一哉 准教授

無線やセンサー、クラウド等
の組み合わせによる、社会
課題の解決に役立つIoTシ
ステムを研究しています。

計画数理研究グループ



応用数学
木村 寛 教授

「数学」や「統計学」を使っ
て、経営を考えてみませ
んか。焦らず、じっくりと学
び、一緒に研究しましょう。

統計数学
星野 満博 准教授

多様な対象に向けた数
理モデル及びベースと
なる統計学や解析学を
用いた数学理論の構築
が研究の対象です。



応用数学
荒谷 洋輔 助教

Allに操られる人でなく操る
人になるための数学を学ん
でみませんか。





経営データ分析研究グループ



財政学
宮本 道子 教授

みなさんが興味を持った分野の「データ」から何が読み取れるか探りながら、同時にデータ分析手法や統計学を学びましょう。

社会環境シミュレーション研究グループ



応用経済学
嶋崎 善章 准教授

人や組織の行動原理をベースに合理的な問題解決方法を提案します!



社会システム工学
稲川 敬介 助教

経営科学(OR)を使って、救急車の最適配置や避難計画の自動作成など運用効率化の研究をしています。

環境マネジメント研究グループ



半導体電気化学
菊地 英治 准教授

主に、酸化チタンという半導体を利用して、鉛工業廃水などを浄化する研究を行っています。



資源リサイクル工学
梁 瑞録 准教授

循環型社会の構築を目指した環境に優しいリサイクル技術の開発を行っています。



環境工学
金澤 伸浩 准教授

地域の素晴らしい資源を知って活かしませんか。リスクで物事を考えると社会はきっとより良くなります。

環境同位体学
川島 洋人 准教授

食品偽装、産地偽装を見破ろう!最先端のホンモノとニセモノを見分ける研究をしています。





FACULTY OF BIORESOURCE SCIENCES

生物資源科学部

秋田&大湯
キャンパス

最新テクノロジーで追求する、 人と生物資源との「共生」の新たな可能性。

食料・エネルギー・環境の問題は、21世紀の人類が地球で生きつづけていくのにクリアしなければならない大きな課題です。この3つは世界全体で考え、グローバルに解決を図っていくべきものですが、地域や国から具体的な解決策を提示し、発信していくテーマでもあります。

生物資源科学部では、これらの課題に対して、バイオテクノロジーなど先端技術を駆使してアプローチしていきます。そのため、グローバルな視点から人間と生物環境の関わりを捉え、各分野の専門的知識や技術を統合して課題を解決していく能力を養っていきます。さらに、地域にあってこれらの問題解決に役立つ、新しいアグリビジネスを創造していく能力も育成していきます。

カリキュラムは、学科ごとの“垣根”を低くして他学科の専門科目も履修できるようにし、興味と知識の範囲を自由に広げていけるよう配慮しています。また、科学することの基本となる実験科目を1年次から取り入れ、実際の観察や実験に基づいた科学の手法や知識を習得できるようにしています。



生物資源科学部長
金田 吉弘 教授



応用生物 科学科

入学定員 40名

生物生産 科学科

入学定員 40名

生物環境 科学科

入学定員 30名

アグリ ビジネス 学科

入学定員 40名



私の目指すステージ!!

人々の生活を
より豊かにする
商品を開発する!

私の目指すステージ!!

私の研究で
誰も知らない
新発見をする!

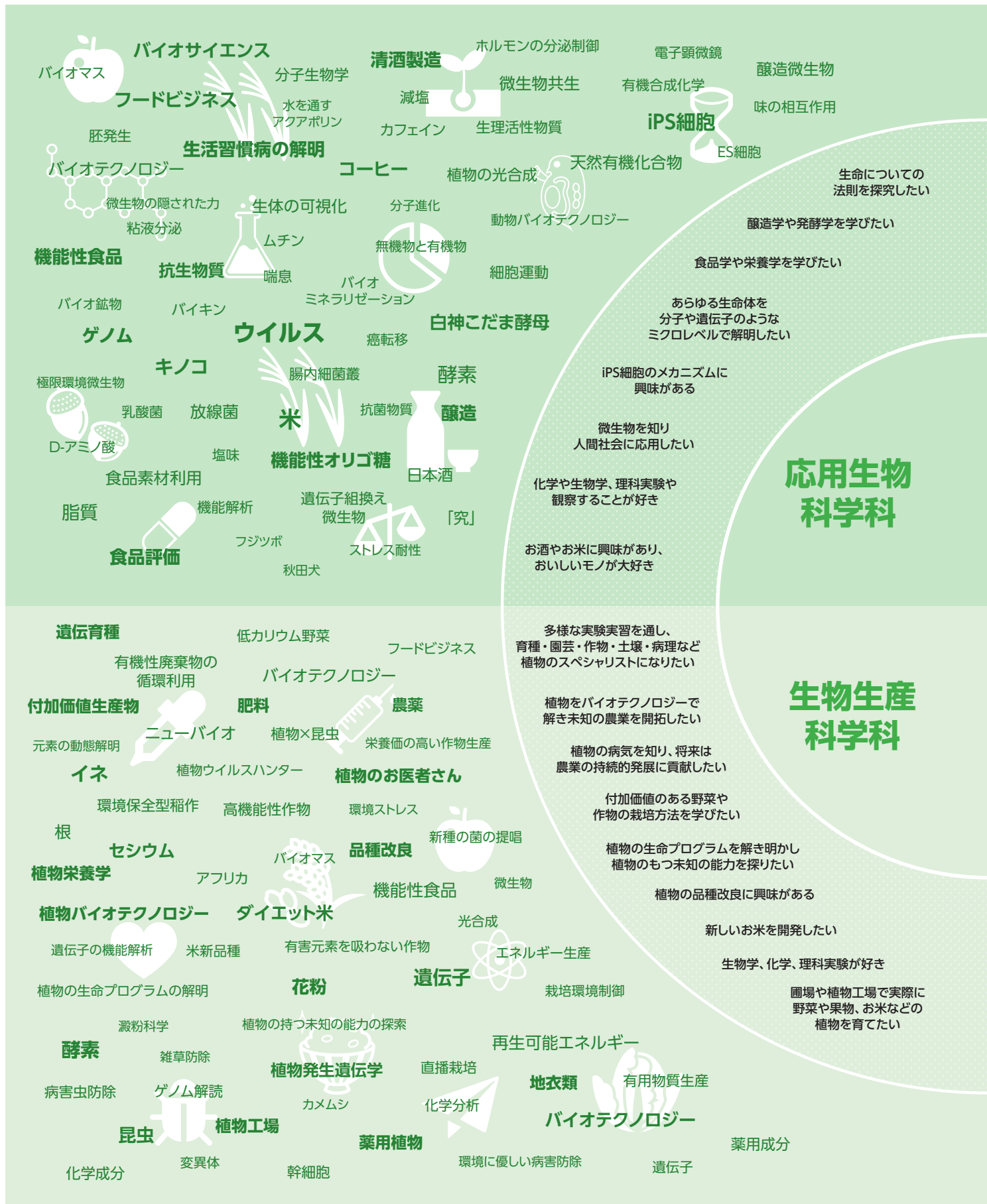
私の目指すステージ!!

人と自然の
共生を支えたい!

私の目指すステージ!!

安全でおいしい
肉牛生産技術の
開発を目指します!

学びのキーワード



生物環境 科学科

アグリ ビジネス 学科

探素的データ解析

水質浄化

生物情報学

水環境・森林・土壌・気象など、
幅広く自然のメカニズムを学びたい

自然環境と人間活動との
相互作用を考え
持続的発展に寄与したい

森林や野生動物に興味がある

生態系レベルから身近な生活レベルまで
環境問題の解決に取り組みたい

農業が直面する
課題を探り、救いたい

作物の生産性を高めながら
持続可能な農業を実現したい

農業農村を盛り上げ
地方創生に貢献したい

地学、生物学、化学が好き

フィールドワークが好き

広い農場で農作業を
実学的に学びたい

画期的な生産技術を
開発したい

牛など家畜が大好き

農業農村が直面する
課題を解決したい

グリーンツーリズムで
地方創生をしたい

農家が儲かるしくみ
(農業経営)を学びたい

農作業から加工や
流通システムまでを学びたい

6次産業化に興味がある

農業×IoTの
可能性を探りたい

地理、生物学、
農作業が好き

農業経営学

火山灰土壌

食害

アルミニウムの
ダイナミクス

循環型社会

物質循環

微生物
アオコ

ゲノム解析

持続可能な
農業農村・地域社会

生物地球化学

温暖化

環境修復

流域管理

微生物生態

昆虫

食糧問題

植物機能利用

植物

生態系機能

食物連鎖

土づくり

土壌

環境保全・環境問題

気象

酸性雨

高品質作物

性分化

土壌の浄化

山と海のつながり

生態学

作物生育診断

温室効果ガス

地域資源

レアメタル

森林生態系

メガカ

地域の経済循環

水環境保全

人と自然の関係性

内分泌かく乱

土壌微生物

医薬品

植物の一生

地域農業の担い手

八郎湖の再生

窒素固定

農耕地土壌

ドローン

地産地消

クマ

低環境負荷農業

作物生産

水田農業

気象観測

法人

有機農業

アニマルサイエンス

農業のIoT化

クローン×家畜

新規就農

雑草

流通システム

田園回帰

ニューバイオ

花

花き栽培

体外培養

生産技術開発

イネ

促成栽培・抑制栽培

ルーラルエンジニアリング

組織培養

筋線維

穂の形態形成

成長モデル

品種改良

農地水利用

水資源

未利用資源

遺伝的プログラム

省力栽培

プログラミング

ドローン

ウシ

牛の成長と肉質

植物三次元モデル

資源循環

農業ロボット

プロジェクト教育

スマート農業

飼料作物

防災・保全

リモート農業

田植機

マーケティング

堰・ため池

農業機械

農村の暮らし

農村社会構造

グリーン・ツーリズム

農村女性

6次産業化

イチゴ

果物

除草

水田雑草

青果物流通

フードビジネス

農業法人問題

ロボット農業

コンピュータシミュレーション

農産物貿易

西欧の農業・農村形成

持続的農業・農村

自動操舵

卸売市場

農業経営者

フィールドワーク

地域システム

イノベーション

アグリテクノロジー

応用生物科学科

『生命』と『食』分野の課題を科学の力で解決する知的エキスパートの育成を目指します

本学科では動物・微生物・植物と幅広い生物の生命現象の解明と、秋田県に特有な素材の有効利用に関する研究によって得られた成果を、産業や医療に役立てることを目指しています。本学科における教育の目標は、ライフサイエンス・食品・醸造産業における研究者や技術者を育成することです。動物・微生物・植物の遺伝子や遺伝子操作技術、清酒造りや食品開発に興味がある、研究者や技術者になりたいとあこがれる皆さん、応用生物科学科で私たちと一緒に学びませんか。

カリキュラムの特長

- 生物資源の高度利用に関わる基礎の確立と応用分野への展開を学修
- バイオテクノロジーの各分野を学修
- 植物、動物、微生物と広範な生物を対象とした実験実習
- 高度な分析機器の取り扱いを学修
- 食品衛生管理者資格を取得可能な科目群の設定

PICKUP 授業

応用生物科学実験

2年次からは、細胞生物学、微生物学、醸造学の酒類生産技術、分子生物学に関する幅広い分野の実験・実習を行ないます。医療・製薬・食品産業で働く上で重要な実験技術と知識を身に付けることができます。



MY NEXT VISION

植物・食品醸造・細胞生物・微生物など幅広い分野を学ぶことが魅力です

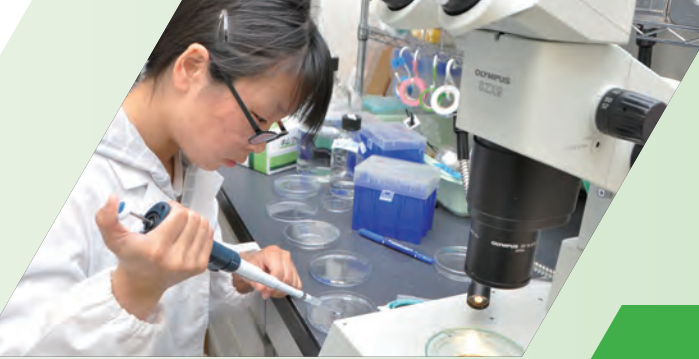
入学して直ぐに研究できる学生自主研究制度や就職支援が手厚いことを知り秋田県立大学を志望しました。応用生物科学科は、植物・食品醸造・細胞生物・微生物など幅広い分野を学ぶことが魅力です。授業では2年次に学生一人ひとりが清酒を仕込み、3年次に分析し官能評価を行った「応用生物科学実験」が特に印象に残っています。また、お酒に更に興味を持ち、県大オリジナル日本酒「究(きわむ)」を造るサークル代表も務めました。酒米の収穫、酒質設計、ボトルデザイン決定、酒蔵での仕込みなど一連の作業を経験しました。

現在、様々なカフェイン含量を示す原種コーヒーを研究することで、*Coffea*属がどのようにしてカフェインを合成する能力を獲得し発展させてきたのか、その分子進化を探っています。近年、カフェインレスコーヒーの需要は高まっていますが、コストが高いうえ、製造段階で味・香りの品質が低下する欠点があります。将来は、研究職に就いて、美味しいカフェインレスコーヒーの開発など、生活に役立ち、生活を豊かにする製品を開発し、世の中に新しい知見をどんどん発信していきたいと思います。

大学院：生物資源科学研究科 生物資源科学専攻[1年]
平成30年度 応用生物科学科卒業

國久 葉月 さん KUNIHISA Hazuki 宮城県/聖ウルスラ学院英智高校出身





研究グループと研究内容



微生物機能グループ

- 微生物が他の微生物や動物・植物・環境に及ぼす影響に関する研究
- 微生物が作り出す有用物質とその生産および有効利用に関する研究
- 微生物の代謝・成長・形態形成の分子機構とその制御に関する研究



植物機能科学グループ

- 植物の生理活性物質の構造を決定し化学合成により利用を図る
- 植物の生理活性物質の生合成を遺伝子や物質レベルで解明する
- 植物の細胞装置やバイオミネラルの形成過程と機能を探求する

分子細胞機能グループ

- 海洋生物の付着セメントと殻形成の分子細胞生物学的研究
- 癌細胞の運動抑制と動物の初期発生の分子細胞生物学的研究
- ホルモン分泌の研究と新規がん検査薬の開発研究
- 哺乳動物の発生学をバイオテクノロジーに応用する研究

活躍が期待される分野

食品／醸造、医薬品／化学品、
医療・福祉、検査・分析、公務員・
公的機関

食品醸造グループ

- 県産素材の理化学的な解析や加工・醸造技術の研究
- 製品の成分分析法と評価技術の開発
- 優良な醸造微生物の育種などの研究



取得可能資格

- ◎高等学校教諭一種免許状(理科・農業)
- ◎食品衛生管理者資格(任用資格)
- ◎食品衛生監視員資格(任用資格)
- ◎毒物劇物取扱責任者(任用資格)
- ◎食の6次産業化プロデューサー・レベル1、レベル2 (認定資格)

取得可能受験資格

- ◎甲種危険物取扱者試験



研究グループ

微生物機能グループ



菌類遺伝学
村口 元 准教授

キノコの子実体が作られるとき、どんな遺伝子やタンパク質が動いて細胞が分化していくのかを解明します。



微生物学
福島 淳 教授

環境のウイルスなどの微生物はほとんど理解されていません。これらをゲノム解析技術で研究しています。



応用微生物学
春日 和 准教授

放線菌という土にいる微生物を使って、木材やセルロースから薬(抗生物質)を作らせる研究をしています。



応用微生物学
牟田口 祐太 助教

乳酸菌や好熱菌といった微生物たちの特性を明らかにし、人間社会に応用する。



微生物学
志村 洋一郎 助教

微生物のもつ物質変換機能を応用した有用物質の創生や生産に挑戦。



進化生物学
竹下 和貴 助教

昆虫-微生物間の必須共生関係を遺伝子レベルで理解し、害虫防除技術への応用を目指す。

植物機能科学グループ



生体鉱物学
尾崎 紀昭 准教授

生物が造る鉱物(バイオミネラル)をミクロな視点から眺め、その謎を解くことで、革新的素材を作る。



植物生理学
岩崎 郁子 准教授

動けない植物が生きていくには光合成に加え微生物との共生も重要であると考え研究を行っています。



天然物化学
常盤野 哲生 准教授

植物や微生物由来の生理活性物質の探索や有機合成研究を通して、医薬品や農業に役立つ有機分子を作る。



植物代謝化学
水野 幸一 准教授

カフェインを含む植物が、その合成能をどのようにして獲得し進化させてきたのかを探る。



植物分子生理学
王 敬銘 准教授

たんばく質と結合する有機化合物の合成研究を行っています。



分子細胞機能グループ

海洋生物学

岡野 桂樹 教授

海洋生物の持つ素晴らしい能力を、分子細胞生物学を使って研究し、応用に活かす研究をしています。



分子腫瘍学

村田 純 教授

癌で死に至る最大の要因は転移です。その分子メカニズムを解析して癌治療のヒントを探しています。



幹細胞生物学

小林 正之 教授

iPS細胞が形成されるメカニズムの解明に挑戦しています。



分子生物学

岩下 淳 助教

喘息やCOPDの方は、気道で粘液ムチンが過剰に分泌され、気道を狭めています。この粘液ムチンの分泌を抑えて、喘息などの症状改善に繋げることを目指しています。

生化学

穂坂 正博 教授

情報伝達機構であるホルモン分泌系、神経系について研究を行い、生活習慣病の解明を目指しています。

食品醸造グループ

分子育種学

中沢 伸重 教授

パン酵母として市販されている白神こだま酵母が持つ、高いストレス耐性のメカニズムを解析しています。



食品科学

陳 介余 教授

食品のおいしさ、栄養成分および安全性等の品質の可視化技術の開発を目指しています。



醸造学

橋爪 克己 教授

美味しく魅力的なお酒をつくるために、お米とお酒の味わい成分や黄麹菌の働きについて研究しています。



醸造学

伊藤 俊彦 助教

日本の伝統的なアルコール飲料である清酒製造に関わる微生物や酵素を研究しています。

食品科学

張 函 准教授

脂肪酸劣化のメカニズムを解明して、脂質を含む食品の品質評価指標の確立に挑戦しています。



食品科学

石川 匡子 准教授

嗜好性に優れた減塩食品を作るために、塩と他の味成分との相互作用や食感との関係性について研究しています。



生物生産科学科

植物バイオテクノロジーで新バイオ産業の振興と地球の持続的発展を

植物は進化の過程で太陽エネルギーを利用し環境に適応した独自の育成システムを完成させ、地球上の生物を支えています。人類は食料・食品のほか建築資材や衣類など生活上必要な素材の多くを植物に依存しています。石油に代わる資源として改めて植物が合成する化合物が注目され、植物からアルコールやプラスチックなどが生産されています。これは環境保全を意識した資源のリサイクル化という現代社会ニーズとも一致しています。本学科では、植物の能力を科学的に理解し、バイオテクノロジーにより優れた機能を引出すことにより、植物生産に関する新しい産業の振興・発展に寄与できる人材を育成します。

カリキュラムの特長

- 植物特有の生命の営みを理解するために必要な総合的な基礎学習
- 圃場実習や研究室専門実験・演習などの実践的な教育
- 植物バイオテクノロジーを利用するための先端的な教育

カリキュラムは、植物の生物学的特徴に関する科目に始まり、植物生理、植物栽培、植物と環境の関わり、そして植物の病気に関する科目など、基礎から応用分野まで、植物生産に関する研究を行う上で必要な全ての知識を得られる構成となっています。

PICKUP 授業

生物生産科学実習

2年次から生物生産科学実習(圃場実習)が始まります。実験圃場を使って様々な作物の栽培方法を学びます。実習の最後には収穫した野菜を調理して振る舞う「収穫祭」が行われます。



生物生産科学実習
Facebook

MY NEXT VISION

学長や教職員と距離が近くやりたいことを全力でやることができる大学

少人数教育による質の高い教育体制が整っていることに魅力を感じ秋田県立大学を志望しました。学長や教職員と距離が近く学生一人一人の個性を尊重しやりたいことを全力でやることができる大学なので、のびのびと学ぶことができます。生物生産科学科は、演習やイベントが多いことが魅力です。2年次の「生物生産科学実習」では、圃場で多種類の野菜を育て、実習の最後に収穫した野菜を調理して振る舞う「収穫祭」を開いたり、学園祭で出店したり、みんなで協力しながら作業を進め成し遂げることが新鮮で面白いです。生産から消費まで食の一連を体験できたことや、植物を育てるために一番基礎となる栄養について学び、卒業研究に向けて大変良い刺激となりました。

私は現在、学部時代の研究を深め、「籾殻のバイオマス燃料としての利用」について研究しています。籾殻の熱利用や燃焼灰の農業利用の実用化に貢献できるよう、日々研究に励みたいと思います。

大学院:生物資源科学研究科 生物資源科学専攻[1年]
平成30年度 生物生産科学科卒業

河端 美玖 さん KAWABATA Miku 青森県/八戸西高校出身





研究グループと研究内容

植物生産基礎グループ

- 植物の生態的特性、植物ホルモンなど分子レベルにまで踏み込んだ生理的特性の解明
- 環境負荷を少なくし物質循環を考慮した生産体系の確立のための教育・研究
- 各種の植物病原ならびに共生微生物や雑草などの生物間相互作用の解明やその管理技術の構築

植物遺伝・育種グループ

- 植物特有のさまざまな機能成分はどのようにして作られるのかの解明
- 植物は環境に対してどのように適応しているのかなど植物生産に関わる植物の機能の解明

植物生理グループ

- 植物の光合成に関連した物質生産や植物の細胞分化・形態形成の仕組みを遺伝子やタンパク質レベルで明らかにするとともに、それらを制御・利用するバイオ技術の確立を目指した教育・研究

分子シグナル制御グループ

- 植物の生長や昆虫の行動を制御する活性物質の単離・構造決定、合成および分子レベルでの活性発現機構の解析と、その制御メカニズムに関する教育・研究

植物資源創成システムグループ

- 「共生」をキーワードに、共生生物を利用した生物活性物質生産と、人工共生生態系による省資源型生物生産システムに関する教育・研究

活躍が期待される分野

農業／園芸／緑地、農薬／肥料／種苗、農業ビジネス／公務員、化学／医薬品、食料品製造

取得可能資格

- ◎高等学校教諭一種免許状(理科・農業)
- ◎毒物劇物取扱責任者(任用資格)
- ◎樹木医補
- ◎食の6次産業化プロデューサー・レベル1、レベル2(認定資格)

取得可能受験資格

- ◎甲種危険物取扱者試験



研究グループ

植物生産基礎グループ

土壌肥料学
服部 浩之 教授

土壌中一植物系での元素の動態を解明し、安全で栄養価の高い作物を持続的に生産することを目指しています。



植物病理学
藤 晋一 教授

植物に発生する病害の生態を明らかにして、環境の優しい防除技術を確立、農業の持続的発展に貢献します。



作物生理学
小川 敦史 教授

普通の条件と違う環境で栽培したリストレスを与えたりして付加価値のある野菜や作物の栽培方法の確立を目指しています。



植物病理学
戸田 武 助教

植物の病気を素早く診断し、病気の起きにくい環境作りを目指します。新種の菌を見つける研究もしています。



作物学
渡邊 肇 教授

田んぼに直接種子をまく直播栽培の確立を目的に、幼植物の生育促進に関する技術開発を行っています。



植物栄養学
増田 寛志 助教

鉄分や亜鉛などミネラル栄養豊富な健康に良いお米を開発し、秋田県の新ブランド米を目指しています。



土壌学
頼 泰樹 准教授

有害元素、今は福島で問題になっているセシウムを吸わない作物を開発することを目指しています。



作物生理学
曾根 千晴 助教

世界の食糧保障に貢献するために、異常気象や不良環境下でも稲作が可能になることを目指しています。



植物遺伝・育種グループ

植物分子遺伝学
渡辺 明夫 准教授

ゲノムに書き込まれた生命プログラムを解き明かし、植物のもつ未知の能力を掘り起こします!



植物分子生物学
上田 健治 准教授

花粉ができる時に必要な遺伝子の働きを明らかにして、植物の品種改良や花粉症対策に役立てます。



遺伝学
赤木 宏守 教授

イネが低温でも成長できる仕組みを解明し、秋田で直播栽培ができるイネの育種を目指しています。



園芸育種学
櫻井 健二 准教授

リンゴの新品種育成を目指しています! 先人達が残した伝統野菜に付加価値をつける取組みもしています。





分子シグナル制御グループ



昆虫学
阿部 誠 准教授

植物を食べる昆虫は好き嫌いが激しく、決まった植物しか食べません。この理由を様々な手法で調べています。



発生遺伝学
佐藤 奈美子 准教授

秋田産の変異体で植物の形づくりの秘密を解明し、世界に向けて発信します。



生物活性物質
田母神 繁 教授

新しい農薬をつくります。



天然物有機化学
野下 浩二 助教

害虫の行動や植物の生長・代謝を制御する物質を見つけ、有害生物の防除や作物の高付加価値化につなげたい。

植物生理グループ

植物生理学
鈴木 英治 教授

光合成微生物の代謝機構を解明し、新規エネルギー、バイオマス生産の開発を目指しています。



植物生理学
藤田 直子 教授

米の澱粉研究の成果から、これまでにない新しい米を開発し、秋田の農業を元気にします。



酵素学
鈴木 龍一郎 助教

糖質を代謝する酵素の性質を調べて、性能を強化して、利用して、新しい糖質素材を作り出します。

植物資源創成システムグループ

分子生物学
原 光二郎 准教授

「地衣類」は新しい薬・コスメの元になる可能性があるんです！新種の地衣、役に立つ地衣を探しています。



環境調節工学
小峰 正史 准教授

薬用植物を植物工場などで効率良く栽培するため、最適環境の解明と栽培技術の開発を行っています。



植物工学
川上 寛子 助教

薬用植物や地衣類から見出した新しい有用物質の大量生産を目指しています。



生物環境科学科

ふるさとの自然環境から地球環境までを見つめるフィールドに密着した科学

本学科では、私たちの生活に身近な地域から地球規模まで広がる自然環境や生物資源に関わる問題をフィールドに密着しながら発見し、人間生活への生物資源の活用と保全、自然環境の修復と再生などに関する教育・研究を行っています。生物学・化学・環境科学などの基礎を学んだ学生は、4つの研究グループ（陸域生物圏、環境管理修復、地域計画、基礎生命科学）のいずれかに進み、秋田の山から海までさまざまな生態系を教材としながら、学科内外の異なる専門分野の研究者や地域の人々と手を携えて、人間と生物資源をとりまく環境問題の解決や環境と調和した生物資源の効果的利用に貢献します。

カリキュラムの特長

- 自然環境と共生できる技術や社会システムとは何かを問いかける
- 化学、生物学、社会科学の3つを柱とした基礎学力の向上
- 「自然や社会に学ぶ」を合言葉としたさまざまなフィールドワークの実践
- 自然の仕組みや多面的な環境保全機能の学修
- 資源循環型の環境修復技術などの学修
- 農業・農村における地域計画手法の習得

PICKUP 授業

生物環境科学実習

2年次から本格的に生物環境科学実習（フィールドワーク）が始まります。秋田県の多様な自然環境や生物資源を教材にしなが、実験室での作業とフィールドワークの手法をバランスよく修得することができます。



昨年行った世界遺産
白神山でのフィールド
ワークの様子

MY NEXT VISION

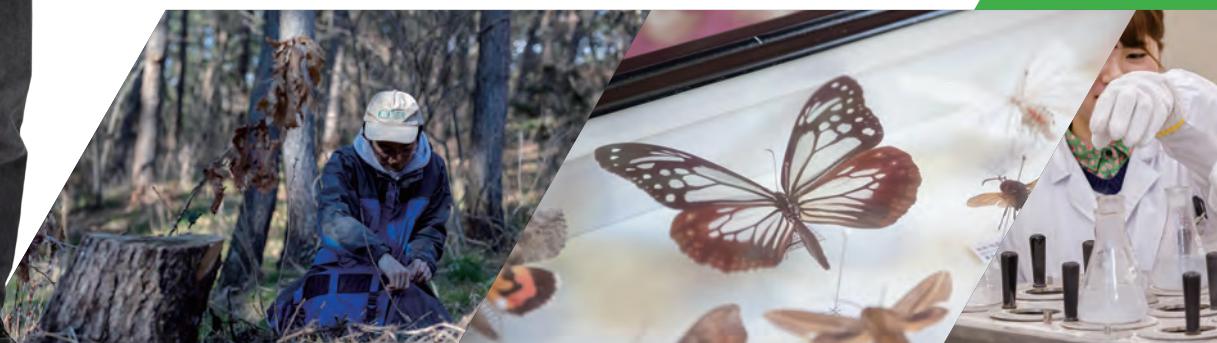
フィールドワークが充実していて大気・川・海・湖・土壌・森林と幅広い分野について学べます

自然豊かな秋田県で生物について学ぶため秋田県立大学を志望しました。松林に囲まれたこのキャンパスはとても魅力的です。生物環境科学科は、フィールドワークが充実していて、大気・川・海・湖・土壌・森林と幅広い分野について学べます。「生物環境科学実習」の授業などで実際にフィールドに足を運び、調査対象を間近で観察することで、研究課題の発見にもつながります。また、2年次に行った「学生自主研究」では、秋田県の「昆虫食」の実体と普及の可能性を探り、東京のイベントに参加したり企業にヒアリング調査を行ったり研究の面白さを実感しました。また、資料のまとめ方や論文の書き方といった、卒業研究につながる重要な基礎も学ぶことができました。

私は現在、生物による採食を回避するため、トゲをつけたり毒となる化学物質を含んで防衛している植物種と増えすぎて問題になっているニホンジカの被害対策に繋がる研究に取り組んでいます。将来は、大学での研究やフィールドワーク、環境調査の経験を活かし、環境コンサルタントの仕事に就き環境保全などに貢献したいと思います。

生物資源科学部 生物環境科学科 [4年]

鈴木 虎太郎 さん SUZUKI Kotaro 岩手県／大船渡高校出身





研究グループと研究内容

陸域生物圏グループ

- 陸域の生物集団を支える大気・水・土壌・森林資源の成り立ちと持続的な利用と管理についての教育と研究

環境管理修復グループ

- 生態系の環境保全機能を調査・解析するとともに質的に悪化した土壌や水環境の修復技術とその適正管理技術の開発
- 地域資源の循環利用など自然と人間の共生を目指した教育と研究



地域計画グループ

- 「環境問題の解決は地域から」という視点から地域の生物資源や循環の利用管理実態を調査・解析
- それら进行评估し、適正な利用管理の技術と社会システムの実現に向けた参加型の手法の開発・適用など自然と人間の共生を目指した教育と研究

活躍が期待される分野

農・林業ビジネス／流通／造園、
環境修復／土壌修復／水質浄化／
環境アセスメント／環境計量・環境プランナー、
廃棄物再生利用／食品／品質管理

基礎生命科学グループ

- 生物学、化学などの基礎教育を担当する他、生命と環境との相互作用を分子生物学や物理化学といった基礎的なレベルで解明し、さらにその知見を応用するための教育と研究

取得可能資格

- ◎高等学校教諭一種免許状(理科・農業)
- ◎毒物劇物取扱責任者(任用資格)
- ◎樹木医補
- ◎食の6次産業化プロデューサー・レベル1、レベル2(認定資格)

取得可能受験資格

- ◎甲種危険物取扱者試験



研究グループ

陸域生物圏グループ



生態学
蒔田 明史 教授

百数十年に一度、一斉に開花して枯れるという特異的なササの生き方の不思議を探求しています。



森林科学
星崎 和彦 教授

樹木の成長や開花結実、動物の個体数など「森の営み」の長期観測を通して気候変動の影響を探っています。



分析化学
木口 倫 准教授

生活排水を通じて河川に流れ出した医薬品のゆくえを探り、ヒト感染症の流行予測や予防に役立てる研究に挑戦しています。

気象学

井上 誠 准教授

ドローンを用いた大気中の温室効果ガス観測と秋田県の農作物収量に関わる干ばつ・冷夏の予測を目指しています。



土壌学
高階 史章 助教

作物の生産性を高めながら環境は汚さない、そんな持続可能な農業を実現します。

生態毒性学

堀江 好文 助教

化学物質が水生生物に与える生態影響について研究を行っています。



土壌学

佐藤 孝 准教授

微生物の力を利用して肥料や農薬の使用量を減らしつつ、農産物がたくさん採れる農業を目指しています。



生態学

坂田 ゆず 助教

外来植物が昆虫を介して在来植物に与える影響について研究を行っています。



環境生物工学
宮田 直幸 教授

全国各地の鉱山の坑道で金属を代謝する未知の微生物を探索し、新しい廃水処理技術の開発に挑戦しています。



土壌生成分類学
高橋 正 教授

火山灰土の分布とその起源火山の特定、土壌や地殻のアルミニウムの生物地球化学的動態を調べています。



環境管理修復グループ

環境土壌学
石川 祐一 准教授

環境に拡散した重金属や有機化学物質を植物に吸収・蓄積させることによって浄化することに挑戦しています。

生物地球化学
早川 敦 准教授

河川水質の形成メカニズムや自然のもつ浄化機能を理解し、流域の物質循環の適正化を目指しています。



生態工学
藤林 恵 助教

八郎湖や日本海で水生動物の餌を調べ、食物網を利用したアオコ対策の考案や海域の生態系保全を目指しています。



微生物生態学
岡野 邦宏 助教

最新のDNA解析装置を駆使してアオコを取り巻く微生物を解析し、八郎湖のアオコ問題解決を目指しています。

地域計画グループ

環境社会学
谷口 吉光 教授

持続可能な社会の中心は農村・農業にある。そう信じて持続可能な社会のモデルを秋田でつくる。



農業経済学
長濱 健一郎 教授

農地や水などの地域資源を活用した経済活動を育て、グローバルな時代に環境と調和した豊かな地域をつくります。



農業経営学
中村 勝則 准教授

地域の自然や社会と調和し、若者にとって魅力的な農業法人(会社)のあり方を現地調査から解明したい。



農業経済学
渡部 岳陽 准教授

農業・農村を長期的に持続させるために、どんな仕組みが必要かについて研究しています。

基礎生命科学グループ

植物分子生理学
小西 智一 准教授

データに隠されている事実を探しています。数学・物理学・化学・生物学の知識を総動員する知力戦です。



アグリビジネス学科

イノベーションの推進と次世代型アグリビジネスの創成を目指して

本学科が目指すアグリビジネスとは、農業生産を基幹としつつ、流通・消費までを見通し、時代の新たなニーズを読み取って実現する農業・農村に関わる多様な社会的・経済的活動を意味します。こうした活動は、農業と関連産業が連携して、農産物やその他の地域資源を活用し、新商品提案や地域ブランド化を進めて、持続可能な地域の経済力を創り上げていくことに繋がります。本学科は3研究グループの研究体制と、専門性の高い6プロジェクトの教育体制とし、農業技術分野と農業経済分野の専門性を深めるとともに、それらを総合的に把握・分析できるような教育・研究に取り組んでいます。

カリキュラムの特長

- 複数の指導教員とのグループワークによる「プロジェクト教育」と課題解決型の学修
- 農畜産物の生産から流通・消費までを学び、マネジメント能力を育成
- フィールド教育研究センターや地域を舞台にした実践的な教育
- 1・2年次は秋田キャンパスで学生実験や専門基礎科目を学び、3・4年次は大潟キャンパスで「プロジェクト」に所属して専門的知識や技術を修得、それらを活用する力を養成

PICKUP 授業

農業技術実習

2年次から農業技術実習が始まります。フィールド教育研究センターで農作物と園芸作物の栽培技術や家畜の飼養技術、トラクタの基本的な操作を学びます。



MY NEXT VISION

日本一広大な面積を有するフィールド教育研究センターで 実習ができ、研究設備が充実しています

日本一広大な面積を有するフィールド教育研究センターで実習ができることや研究設備が充実していること、加えて就職率が100%と極めて高いことから秋田県立大学を志望しました。アグリビジネス学科は、学年が上がるにつれて作物生産や畜産、農業経営など一つの学問に特化した講義が選択できるので、興味を持った分野を突き詰めて学ぶことができます。3年次からは大潟キャンパスに移動するのですが、フィールド教育研究センターは学生寮やキャンパスの近くにあるので、実習を行うには最高の環境です。「農業技術実習」では、稲作・畑作・果樹・畜産など、多くの農業技術や機械・施設について学ぶことができます。特に、畜産分野の実習で行ったウシの“直腸検査”はとても印象的でした。家畜生産という食に関しても非常に重要な部分の知識を得ることができ、普通高校出身で農業の知識はゼロからのスタートでしたが、農業や畜産について楽しく学ぶことができました。ウシの可愛らしさに魅せられて、将来は、畜産関係の仕事に就き、地域の農畜産の発展に貢献したいと思います。

大学院・生物資源科学研究科 生物資源科学専攻[1年]
平成30年度 アグリビジネス学科卒業

西山 佳南恵 さん NISHIYAMA Kanae 秋田県/聖霊女子短期大学付属高校出身





アグリビジネス学科 運営ページへ
<https://www.akita-pu.ac.jp/bioresource/AGRI/>



研究グループと研究内容

アグリテクノロジー(農業生産技術系)

先進作物生産技術開発プロジェクト

- 土地利用型作物(イネ、ダイズなど)の安定・多収を目指した作物生産技術および農業機械・情報利用技術の研究

先進園芸技術開発プロジェクト

- 園芸作物(果樹、野菜、花き)の生産動向を見極めた先進的な生産技術または高度化した実用技術の開発に取り組む
- 栽培管理技術の習得と生産現場の抱える課題を認識する活動および技術開発に向けて作物の生理・生態的特性を視覚化、数値化し、解析する研究活動を行う

家畜資源利用推進プロジェクト

- 資源循環型肉牛生産を柱とする飼育管理(繁殖・育成・肥育)と飼料生産に関する知識と技術の修得
- 食肉の生産性と品質を向上させるための家畜生理機能の解明と技術開発

ルーラルエンジニアリング(農業農村環境保全系)

次世代農業基盤創成プロジェクト

- 農業の生産性向上や農村地域の防災・減災のための農地・水・水利施設等の整備・保全に関わる専門知識と技術の修得
- 農業・農村の有する多面的機能の向上のための農村環境の評価・保全技術の研究

アグリビジネスマネジメント(農業経済・農村社会系)

地域ビジネス革新プロジェクト

- 6次産業化などの新たな経営展開の現状や将来展望、農産物等流通システムの革新やブランディングの分析
- 農村地域の諸資源を活用した各種アグリビジネスや農村活性化のあり方提案

政策・経営マネジメントプロジェクト

- 農業・農村振興のための実態分析および課題の抽出
- 多角的アプローチによる課題解決のための提案能力の育成



活躍が期待される分野

農業起業／食品・農業経営マネジメント・商品提案／農産物・食品流通、行政、地域振興・農業振興／栽培技術／飼育技術、技術営業／地域資源管理／農村環境評価・設計、農業農村整備

取得可能資格

- ◎ 高等学校教諭一種免許状(農業)
- ◎ 毒物劇物取扱責任者(任用資格)
- ◎ 食の6次産業化プロデューサー・レベル1、レベル2(認定資格)

取得可能受験資格

- ◎ 甲種危険物取扱者試験



研究グループ

アグリテクノロジー

畑作物学 露崎 浩 教授

ダイズやムギ類の安定・多収を目指す栽培技術、および雑草の生態解明・防除技術開発に挑戦しています。



野菜園芸学 吉田 康徳 教授

野菜の特性(生理生態的特徴)を活用して、寒冷地でこそ有利な画期的な生産技術の開発を目指しています。



花き園芸学 神田 啓臣 准教授

組織培養を使って花を大量につくる方法や、お正月やお盆などに花を咲かせる方法を研究しています。



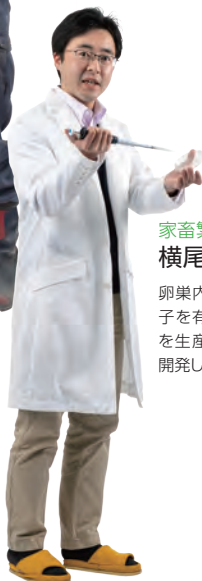
家畜飼養学 伊藤 謙 助教

未利用資源の飼料化や畜産動物の品種の違いと腸管機能の違いの解明に挑戦しています。



発生遺伝学 永澤 信洋 准教授

いろいろな遺伝子がどのように働いて穂をつくっていくのか明らかにします。



家畜繁殖学 横尾 正樹 准教授

卵巣内に眠る大量の卵子を有効活用して子牛を生産する技術を研究開発しています。

植物育種学 北本 尚子 准教授

機械や遺伝子情報を使って、いかに手間をかけずに美味しいリンゴを作ることができるか挑戦しています。



動物生理科学 佐藤 勝祥 助教

日本短角種牛を対象に、赤身肉の生産性と肉質の向上を目指して研究を行っています。

ルーラルエンジニアリング

農業水文学 近藤 正 准教授

農業の持続性向上を追求！水田負荷の抑制、水田生態系の回復と水質浄化機能の向上で農業水域の水質を保全します。



農業水文学 永吉 武志 准教授

ドローンを活用し、堰やため池などの水を利用するための施設を、安全かつ長持ちさせるための技術開発に挑戦しています。



農業機械学 山本 聡史 准教授

農業ロボットの開発や植物の三次元モデルの構築手法の研究を行っています。



農業水文学 増本 隆夫 教授

田んぼの大きさから流域(河川に流れ込む降水の降り集まる地域)スケールで水の流れをモデル化しています。



アグリビジネスマネジメント

農村社会学 荒樋 豊 教授

衰退傾向にある農村社会を立て直すために、地域づくり・農村活性化手法を追究しています。

農業経営学 鵜川 洋樹 教授

農業生産の最前線で何が起きているのか。営農現場のデータから農業経営の仕組みと発展方向を考えます。

農業経済学 岡田 直樹 教授

サイレント革命といわれる世界の新しい状況に対応した、持続的農業・農村のあり方を探求しています。

農業経済学 酒井 徹 准教授

有機農業などの持続的農業が地域でどの様に広がるか、経営が成り立つ流通のあり方について研究しています。

農業経営学 上田 賢悦 准教授

将来の日本農業をリードする農業経営者を育てるための人材育成プログラムの開発に取り組んでいます。

流通・マーケティング学 林 芙俊 助教

新しい野菜流通システムの形成条件を明らかにします。

農業経営学 高津 英俊 助教

日本農業における新規就農者の確保や就業支援、育成方策について研究しています。

農業経済学 赤堀 弘和 助教

コンピュータモデルを使ったシミュレーションで日本や秋田農業の持続的な発展を目指しています。

フィールド農学

農業機械学 矢治 幸夫 客員教授

TKGNSS自動操舵田植機は、ハンドル操作不要、代かき水の排水不要で、OPの疲労軽減と環境に優しい田植が可能です。

環境保全栽培学 保田 謙太郎 准教授

稲作は中国大陸から伝播しましたが、日本の水田雑草はどのように誕生したのか?その由来を調べています。

家畜飼養管理学 渡邊 潤 准教授

日本の畜産は輸入飼料に依存しております。そこで飼料自給率100%を目標とした土地利用型畜産経営モデルの創出を目指しています。

生産システム学 西村 洋 教授

ロボット技術やICT技術を活用し、だれでも、どこからでも農業を行うことができるシステムを目指しています。

小果樹園芸学 今西 弘幸 准教授

ラズベリーの収穫期を調整するための栽培や二ホンナシの組織培養変異を利用した育種の研究を行っています。

WEB



大学院

システム科学技術研究科

Graduate School of Systems Science and Technology

●博士前期課程(2年)

機械知能システム学専攻
電子情報システム学専攻
建築環境システム学専攻
経営システム工学専攻
共同ライフサイクル
デザイン工学専攻

●博士後期課程(3年)

総合システム科学専攻

大学院

FEATURES

科学技術がますます発展・深化する中、より高度な専門知識と技術を有した人材が求められています。特に、工学・理学・農学系の大学院進学率は年々増加しており、社会での活躍の幅を広げるためには、大学院で、最先端の専門知識と技術を修得することが必須となっています。本学大学院には、充実した教育・研究環境とサポート体制が整っています。

大学院

生物資源科学研究所

Graduate School of Bioresource Sciences

●博士前期課程(2年)

生物資源科学専攻

●博士後期課程(3年)

生物資源科学専攻

WEB



地域の研究機関や企業との連携のもと、 秀でた創造力・総合力を有するエンジニアを育成する。

システム思考を身につけ、創造力と総合力に秀でた次世代を担う高度エンジニアの育成を目標に掲げ、充実した研究設備を整えるとともに、国内外の学会などでの発表も積極的に支援します。また開かれた大学として地域の研究機関・企業などと連携を密にしていることも特色で、本荘由利産学振興財団による学生の研究活動や海外への派遣支援も行います。

特徴1

国内大学で最高レベルの実験設備・機器が完備

超精密成形研削研磨装置、電波無響室、建築構造実験室、高精度安定同位体比質分析計など各分野における最高水準の設備・機材を揃えており、最先端の研究ができる環境になっています。

特徴2

一流企業に高度専門技術を有する エンジニアとして就職できる

大学院を卒業したOB・OGは、大手企業や先端技術を持つ地域の企業で、製品開発設計や建築設計、経営企画など企業をリードする仕事に携わっています。

特徴3

国際会議に参加できる機会が多い

国際会議・シンポジウムへの参加、国際共同研究の成果発表などに参加している大学院生が多くいます。本荘由利産学振興財団等から渡航費用などの援助を受けることができます。



スーパー連携大学院 プログラム

所属している大学にしながら他大学の魅力ある科目を受講できる教育プログラムです。“こうなりたい”と望む人物像に向けたカリキュラムを選択でき、研究活動や将来の就職にも役立てることが出来ます。普段聞くことのできない企業トップの話や特定専門分野の技術者の話を聴講できます。学位研究の産学共同の研究活動を通じ企業人とのコミュニケーションができ、自分の適性を見ながら進路を決めることができます。

国内外の学会参加を奨励

学会参加を全面サポート

本学大学院は、国内外の学会で研究成果を発表することを奨励しています。専門分野の最先端に触れ、また人との交流を通じて、研究テーマへの関心が深まり視野も広がります。国際学会における渡航費・交通費・参加登録費・宿泊費は大学で全面的に支援します。

社会人に配慮した多様かつ柔軟な教育プログラム

短期履修制度

博士後期課程において、既に一定の研究実績や能力を有する社会人を対象に、入学前の審査で優れた業績を有すると認められた場合に、標準修業年限よりも短期の履修を認め、学位取得ができる制度です。

長期履修制度

社会人など個人の事情に応じて、修業年限を超えて計画的に学位取得ができる制度です。授業料については、履修期間に応じて分割納付となります。

人間と生物の共存をはかる 知恵と技術を有する専門家・研究者を育成する。

食料・エネルギー・環境問題の解決の鍵は「再生可能な生物資源と人類の共存関係の樹立」にあります。その原理を解明し、ふさわしい技術を確立することが私たちの使命です。本研究科では、今までの農業システムを再吟味し、新しい生物機能の発見と応用を通じて、これらの課題に取り組む専門的技術者を育成します。

秋田にある立地をフルに活かして、生物資源における問題発生現場から、解決策を研究する研究室、そして、その結果を再度現場にフィードバックする「現場と研究室の直結」による研究教育を行います。

特徴1

国内大学で最高レベルの実験設備・機器が完備

フィールドに密着した教育と研究が一体的に行われ、学会などを通じて成果を広く発信することを支援しています。

特徴2

自然の恵みを活かした豊富な研究対象

白山山地、仙北平野の農耕地、雄物川、男鹿半島、八郎湖など多様な自然環境を誇り、研究対象の豊富さは他に類を見ません。

特徴3

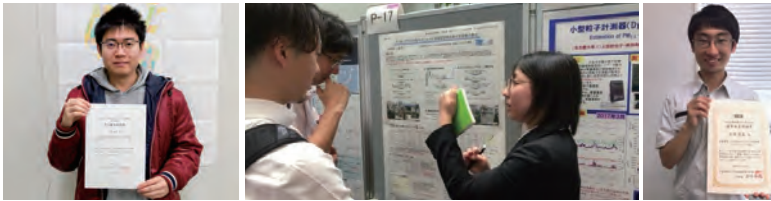
全国トップレベルの高度な研究基盤の完備

大学では唯一ともいわれるバイオテクノロジーセンターやフィールド教育研究センターなど高度な研究基盤が整備されており、効率よく研究を進めることができます。



学会における受賞実績例

- 日本建築学会大会(中国) 学術講演会都市計画部門 / 若手優秀発表賞
- TOHOKU + N YOUTH DESIGN 2018「建築の成り立ち」 / 優秀賞
- エコデザイン・プロダクト&サービス2018シンポジウム / ベストポスター賞
- 日本燃焼学会「美しい炎」写真展 / 優秀作品賞
- 第59回大気環境学会年会 / ポスター賞
- 第317回SICE東北支部研究集会 / 東北支部優秀発表奨励賞
- ASIA PACIFIC AUTOMOTIVE ENGINEERING CONFERENCE
自動車技術会 / 大学院研究奨励賞
- 日本音響学会秋季研究発表会 / 学生優秀発表賞
- 第21回JIA東北建築学生賞公開審査会 / 奨励賞
- 計測自動制御学会東北支部第306回研究集会 / 優秀発表奨励賞



大学院生をサポートする様々な経済支援制度

大学院優秀学生奨学金

本学学部生が大学院前期課程に進学する際、学部3年終了時までの成績が、所属学科で上位10%以内の場合は年間授業料相当額の全額、10%を超え25%以内の場合は年間授業料相当額の半額を2年間、奨学金として支給します。なお、大学院入試(推薦特別選抜)に合格する必要があります。

特待生制度

▶ 入学生特待生

大学院入試または在学中の成績などにより優秀者を認定し、年間授業料相当額またはその半額を給付します。

▶ 在學生特待生

大学院在学中の成績により優秀者を認定し、年間授業料相当額またはその半額を給付します。

授業料減免制度

経済的理由などにより授業料の納付が著しく困難と認められた場合、授業料の減免制度が利用できる場合があります。学生からの申請により、各期(前期・後期)ごとに審査し、全額・3/4・半額・1/4の額を減免します。

授業料分割徴収 授業料徴収猶予

授業料の減免制度と同様、経済的理由などにより授業料を納付期限までに納付することが困難な場合は授業料の分割納付や徴収を猶予する制度があります。

学会における受賞実績例

- 日本調理科学会平成30年度大会 / 若手研究者発表奨励賞
- 日本食品科学工学会平成30年度東北支部大会 / 若手奨励賞
- 日本応用糖質科学会平成30年度大会 / ポスター賞
- 日本地衣学会第17回大会 / 学生発表賞
- 日本土壌肥料学会東北支部大会 / 優秀ポスター賞
- 第52回日本水環境学会年会 / 年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)
- 森林・林業技術交流発表会 / 優秀賞(森林保全部門)
- 日本水処理生物学会第54回大会 / ベストプレゼンテーション賞
- 日本木材加工技術協会第35回年次大会 / 優秀ポスター賞
- 第67回東北畜産学会青森大会総会 / 東北畜産学会賞
- 日本きのこ学会第21回大会 / 学生優秀発表賞
- 日本水環境学会 / 年会優秀発表賞
- 日本森林学会 / 学生ポスター賞



博士
前期課程

STUDENT VOICE

人工知能で試験問題を解くプログラムを開発

学部時代に「人工知能」の研究していましたが、研究そのものが楽しかったということも、もっと深く人工知能について学び、知識を修得したかったので、大学院に進学しました。

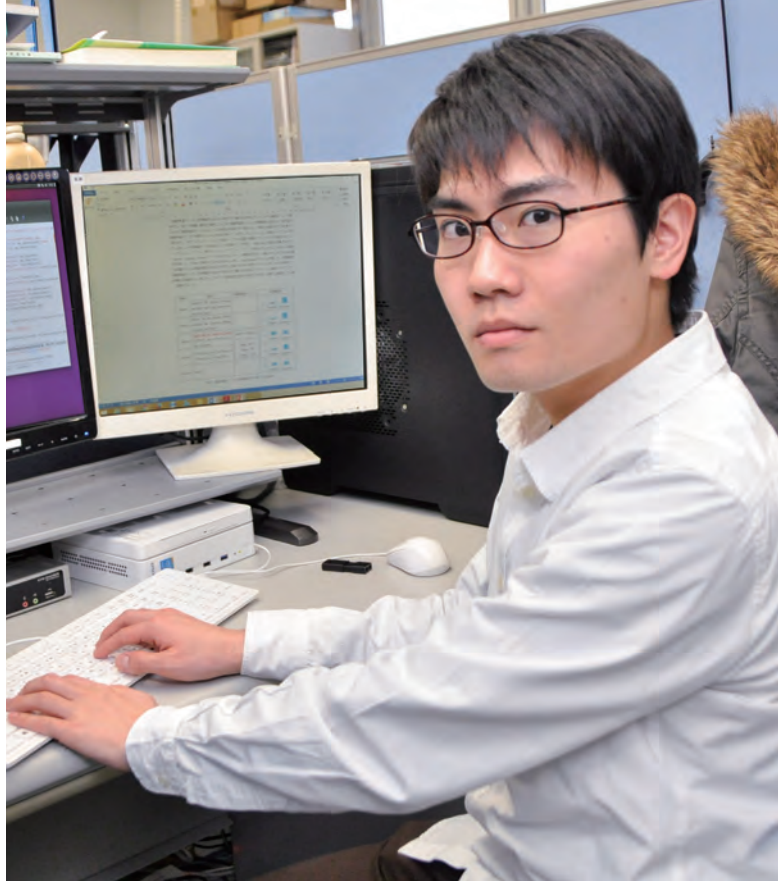
大学院では、「ロボットは東大に入れるか」プロジェクトに参加し、人工知能を使って英語のセンター試験問題を解くプログラムの開発を行い専門的な知識を修得しました。本学の大学院は、最先端の研究設備と、また広い研究室にパソコン・プリンター、研究機材など研究の必需品が整っているなど、ハード面が充実しているのが魅力です。また、国内外の学会発表を推奨しており、プレゼンテーションのスキルや伝える力など、将来の仕事で役立つスキルをしっかりと身につけることができました。

将来は、大学院で身につけた人工知能に関する知識をベースに、自分が主導し、製造の効率化や自動化のプロジェクトを進めたいと思います。

内定先 株式会社ツムラ

高瀬 惇 さん TAKASE Jun

大学院・電子情報システム学専攻 情報システムグループ
岩手県/盛岡市立高校出身



大学院生をサポートする様々な教育制度

10周年記念奨学金

秋田県内出身の学生で、学業を継続することが経済的に困難と認められ、かつ、一定の成績基準を満たす学生に対し、一人当たり20万円を給付します。(学部・大学院を通じ1回のみ)

日本学生支援機構 奨学金返還免除制度

第一種奨学金の貸与を受けた大学院生が、在学中に特に優れた業績を挙げた者として認定された場合、所属課程で貸与を受けた第一種奨学金の全額又は半額の返還が免除される制度です。

ティーチング アシスタント(TA)

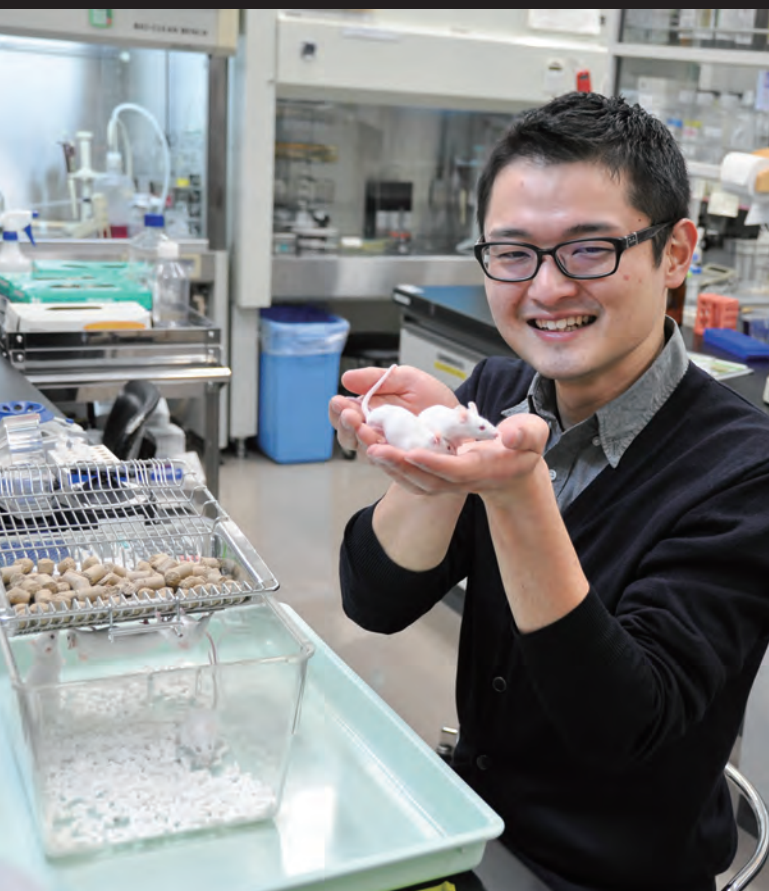
大学院生が、学部生の実験・実習の教育補助を行うのに対し手当を支給する制度です。将来の研究者などになるためのトレーニングの場であり、経済的支援にもなっています。

リサーチ アシスタント(RA)

大学院生が、教員の研究補助を行うのに対し給料を支給する制度です。研究者としての素養を身につける場であり、経済的支援にもなっています。

学生自主研究 学生支援スタッフ

学部1・2年生が行う「学生自主研究」の実験や様々なサポートを行うのに対し手当を支給する制度です。



博士
前期課程

STUDENT VOICE

iPS細胞に初期化するメカニズムを解明

iPS細胞は、体細胞に山中4因子(4種類の遺伝子)を遺伝子導入することにより樹立することができます。しかし、ウシを含めた多くの動物種におけるiPS細胞は未だに樹立されていません。そこで、私はマウスの体細胞を用いて「iPS細胞に初期化するメカニズムを解明する」ことを目指し研究に取り組みました。

本学大学院は、理想の研究環境が整っています。最先端の分析機器が完備されており、しかも他大学と比べても比較的自由に機器を使用できます。また、教員と学生との距離も近く手厚い指導を受けることができるなど、思う存分研究に没頭できる環境が何より魅力です。進学の際、優秀学生奨学金を受給し経済的にサポートいただいたことで研究に集中することができました。

私自身、先天的に甲状腺が欠損した状態で産まれてきた経験(現在は完治)から、大学院でiPS細胞と内分泌を学びました。将来は、安全で高品質なジェネリック医薬品を提供し、同じ症状で悩んでいる患者さまに少しでも貢献したいと思います。

内定先 日本ジェネリック株式会社

佐藤 卓 さん SATOH Suguru

大学院・生物資源科学専攻 分子細胞機能グループ
奈良県/平城高校出身

教養教育

総合科学教育研究センター

グローバルで、広角的な基礎学力を身に付ける

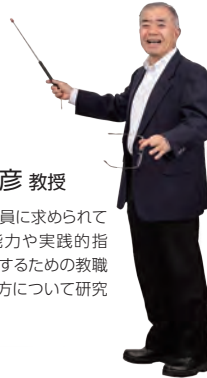
基礎力を養う人文・社会、心身の健康に関する科目、英語・英会話、情報科学科目など幅広い分野の科目を編成しています。さらに、学部教員と協力して数学教育を行うほか、教員免許状取得を希望する学生のために教職課程や放送大学の授業も利用しながら、グローバルな視点の育成、人や社会生活についての複眼的・広角的な思考の養成を図ります。



文学・文化学
高橋 秀晴 教授
明治以降の日本の文学を対象に、作品の生成過程や出版人・編集者の果たした役割について考察しています。



心理学
渡部 諭 教授
高齢者先進県秋田で、アプリによる振り込め詐欺防止の研究を行っています。



教職課程
白山 雅彦 教授
高等学校教員に求められている資質能力や実践的指導力を育成するための教職課程の在り方について研究しています。



教職課程
伊藤 大輔 准教授
学校での様々な教育活動が、生徒さんの皆さんにとってより魅力的なものとなるよう研究を行っています。



社会学
小松田 儀貞 准教授
「社会」は人間の頭の中にある。「知識」はその人そのもの。直接見えない社会と知識を可視化する研究を行っています。



体育学
内山 応信 准教授
地域住民の健康寿命延伸のために、高齢者の転倒と認知症の予防法確立を目指します。



数学
宮本 雲平 准教授
アインシュタインが定式化した一般相対性理論を用いて、ブラックホールの理論的研究をしています。



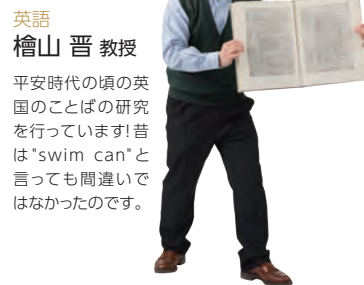
キャリア教育学
渡部 昌平 准教授
自分の興味や関心を把握し、社会にどう関わっていくかを考える「キャリアカウンセリング」が専門です。



哲学
鈴木 祐丞 助教
19世紀デンマークの思想家キェルケゴールの生と思想を手がかりに、人間の生き方について考えています。



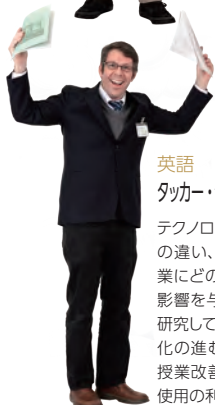
英語
高橋 守 教授
英語ライティングの技法、英文多読の指導方法、コンピュータによる学習管理システムなどを研究しています。



英語
檜山 晋 教授
平安時代の頃の英国のことばの研究を行っています!昔は「swim can」と言っても間違いはなかったのです。



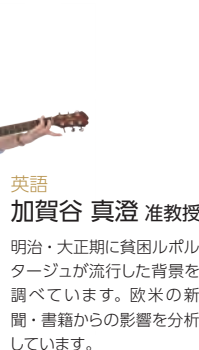
英語
岡崎 弘信 教授
誰にでも思い出の映画はあるはず。そんな映画とITを組み合わせる英語を「練習」する方法を研究しています。



英語
タッカー・ジェイソン・エドワード 助教
テクノロジー使用の交差、文化間の違い、そしてそれが英語の授業にどのような良い影響・悪い影響を与えているのかについて研究しています。よりグローバル化の進む世界のために、英語の授業改善に向けたテクノロジー使用の利点を見つけ出します。



英語
パロヴズ・クリスチャン 准教授
従来の教師、教科書中心の学習方法から脱し、実用的なアクティビティを通して、学生自身が授業を展開する方法について研究しています。



英語
加賀谷 真澄 准教授
明治・大正期に貧困ルポルタージュが流行した背景を調べています。欧米の新聞・書籍からの影響を分析しています。



英語
江口 真規 助教
日本文学の中で羊がどのように描かれているのかを、英米文学の作品と比較しながら研究しています。

附置研究所

木材高度加工研究所

木材資源の理想的な循環系の確立で、人類の未来に貢献

国内の大学機関に属する研究機関として、「木材」を冠する唯一の研究所。木質資源の理想的な循環系の確立を目指して、木材の基礎物性・加工・利用に関する研究と技術開発を行うとともに、高い技術力を備えた人材を育成するため、大学院教育にも取り組んでいます。

WEB



木材化学
山内 繁 教授

スズ間伐材を原料に、有害物質を選択的に吸着する機能性磁石木炭の開発に取り組んでいます。



森林資源学
高田 克彦 教授

森林資源の健全な育成とその効率的な利活用の提案を通じて地球環境保全に貢献する!



木材化学
澁谷 栄 准教授

植物の色に関係するポリフェノールや植物の香り成分の研究を行っています。

木材化学
工藤 佳世 助教

私たちが木材として使っている樹木の幹が太る(=肥大成長する)メカニズムを明らかにする。



木材・木質材料学
中村 昇 教授

地域活性に向けた林産物の多目的流通や利用システムの開発などを目指しています。



木材化学加工
栗本 康司 教授

間伐材や木質廃材を有効に利用するため、木材成分の改質や熱分解の研究を行っています。



木質材料学
山内 秀文 教授

樹木が作る「丸太」をどう切り刻み、それをどう貼り合わせて新しい機能性材料を創るかを日々研究しています。



木材工学
岡崎 泰男 准教授

安心安全な木造建築を作るために、色々な木材の強度や振動・音響性能などの物理特性を調べ明らかにする研究を行っています。



木材乾燥
川井 安生 准教授

鉛筆から木造建築物まで木材利用のため、木材を効率的に乾かす研究をしています。



木材加工学
足立 幸司 准教授

伝統工芸を未来に繋ぐため、時代に求められ、時代を新たに創り出すモノとワザを研究しています。



ウッド・エンジニアリング
林 知行 教授

大型の木質面材である直交集成板を用いて安価な橋を架けています。



木質工法
渡辺 千明 准教授

モノや人、地域の知恵を発掘し、地域資源を活用したまちづくりを目指します!

INTERNATIONAL EXCH

国際交流／世界へ飛び立つ学生を全力サポート

海外留学プログラム

学生は世界中の人々と出会い海外で学ぶことで大きく成長します。本学では学生の多様なニーズに応えるため、様々な海外留学プログラムを実施しています。過去3年間に実施したプログラムの留学先はご覧のとおりです。



INDIA

ビヤニ大学短期留学プログラム

ビヤニ大学では、講義や文化交流のほか、研究交流として、現地の学生に部品設計を教えたり、共同で「ロボットの模擬システム」を構築したりしました。現地の学生は皆、国内の様々な問題へ対応しなければならないという意識が高いことがとても印象的でした。本学教員の講義にも積極的で、意見や質問が飛び交い、社会情勢に関わっていく姿勢や明確な目標を持って貪欲に勉学に取り組む姿は見習うべきものだと感じました。

今回の留学では、英語だけでなくヒンディー語での会話も積極的に試みました。しっかり意味が通じ、好印象を持ってもらえた時はとても嬉しかったです。刺激的で素敵な時間を過ごし、帰る頃には多くの友達ができ、友人たちとの別れは名残惜しいほどでした。今後も、インドの学生たちのハングリー精神にならって貪欲に勉学に励み、この経験を将来に活かしていきたいと思います。



小林 洸瑠 さん KOBAYASHI Takeru
電子情報システム学科 3年
秋田県／大館国際情報学院高校 出身

ANGE

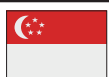
■ 国際学術交流協定校

大学間協定

国・地域名	大学名
韓国	順天大学校
タイ	カセサート大学
台湾	国立宜蘭大学
中国	上海理工大学
中国	清華大学深セン大学院
中国	西南交通大学
中国	蘭州大学

部局間協定

部局名	国・地域名	大学・学部等名
システム科学技術学部	インド	ビヤニ大学
生物資源科学部	カナダ	ゲルフ大学生物科学部
木材高度加工研究所	韓国	ソウル大学農学生命科学大学
	ハンガリー	西ハンガリー大学木材科学部



SINGAPORE

EF短期研修プログラム

シンガポールでは、ホームステイをしながら、EFシンガポールで英語を2週間学びました。授業では英語で積極的に発言するよう促され、プレゼンや南洋理工大学の学生との交流の機会が、英語を使って話すという経験をしました。この研修は私にとって海外へ目を向けるきっかけとなりました。初めてのことで不安もありましたが、多国籍の人との触れ合いからたくさんの刺激を受け、異文化の面白さ、英語力の大切さ、そして日本の良さを実感することができました。

私は将来、地元秋田をPRする仕事に就きたいです。留学後は国内だけではなく、海外向けにPRする方法を思案するようになりました。留学中は、地元を紹介する機会もありましたが、英語力不足により上手く伝えられませんでした。将来は、英語力をもっと身につけ、秋田の良さをどんどんPRしていきたいと思っています。



鷺尾 環さん WASHIO Tamaki
生物環境科学科 2年
秋田県/能代高校 出身

CAMPUS CALENDAR 2019

年間スケジュール



4月

- ・春季休業日
- ・学習状況調査 (新入生)
- ・入学式
- ・新入生オリエンテーション
- ・定期健康診断
- ・前期授業期間 (4月上旬～7月下旬)
- ・新入生歓迎会

5月

- ・鳥海高原菜の花まつり (システム科学技術学部1年生授業)

6月

- ・秋田県立大学開学20周年 (6月7日)
- ・開学記念講演会 (大村智北里大学特別栄誉教授:2017年ノーベル生理学・医学賞受賞)
- ・特待生認定式
- ・フィールド開放デー

7月

- ・オープンキャンパス (7月14日、15日)
- ・前期試験期間 (7月下旬～8月上旬)
- ・収穫祭 (生物資源科学部)
- ・秋田県立大学PR特命アンバサダー任命式 (夏季休業中、母校訪問)

8月

- ・夏季休業日 (8月上旬～9月下旬) ※この期間に集中講義を実施
- ・秋田竿燈まつり (8月3日～6日)
- ・海外留学プログラム本格スタート
- ・夏休み科学教室「創造学習」

9月

夏休みは海外留学へ
秋田県立大学では長期休暇を利用した国際交流プログラムを実施しています。詳しくは→P72





10月

11月

12月

1月

2月

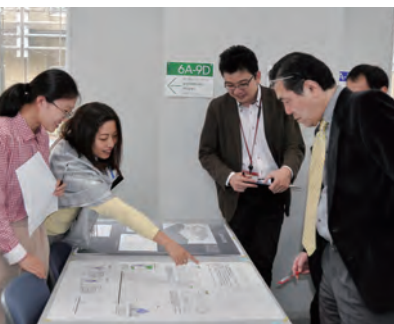
3月

- ・後期授業期間
(10月上旬～2月上旬)
- ・大学祭
「松風祭」(秋田キャンパス) 10月5・6日
「潮風祭」(本荘キャンパス) 10月12・13日
・大学祭に合わせて
保護者等懇談会を開催
- ・全国高校生建築提案コンテスト
(10月1日～31日受付)

- ・クリスマスパーティー(学生会主催)
- ・冬季休業日
(12月下旬～1月上旬)
※この期間に
集中講義を実施

- ・後期授業期間
(1月上旬～2月上旬)
- ・ミニミニ科学教室
- ・ホップステップ
キャンパス
- ・後期試験期間
(2月上旬)
- ・卒業論文発表会

- ・企業面談会
- ・卒業式・修了式



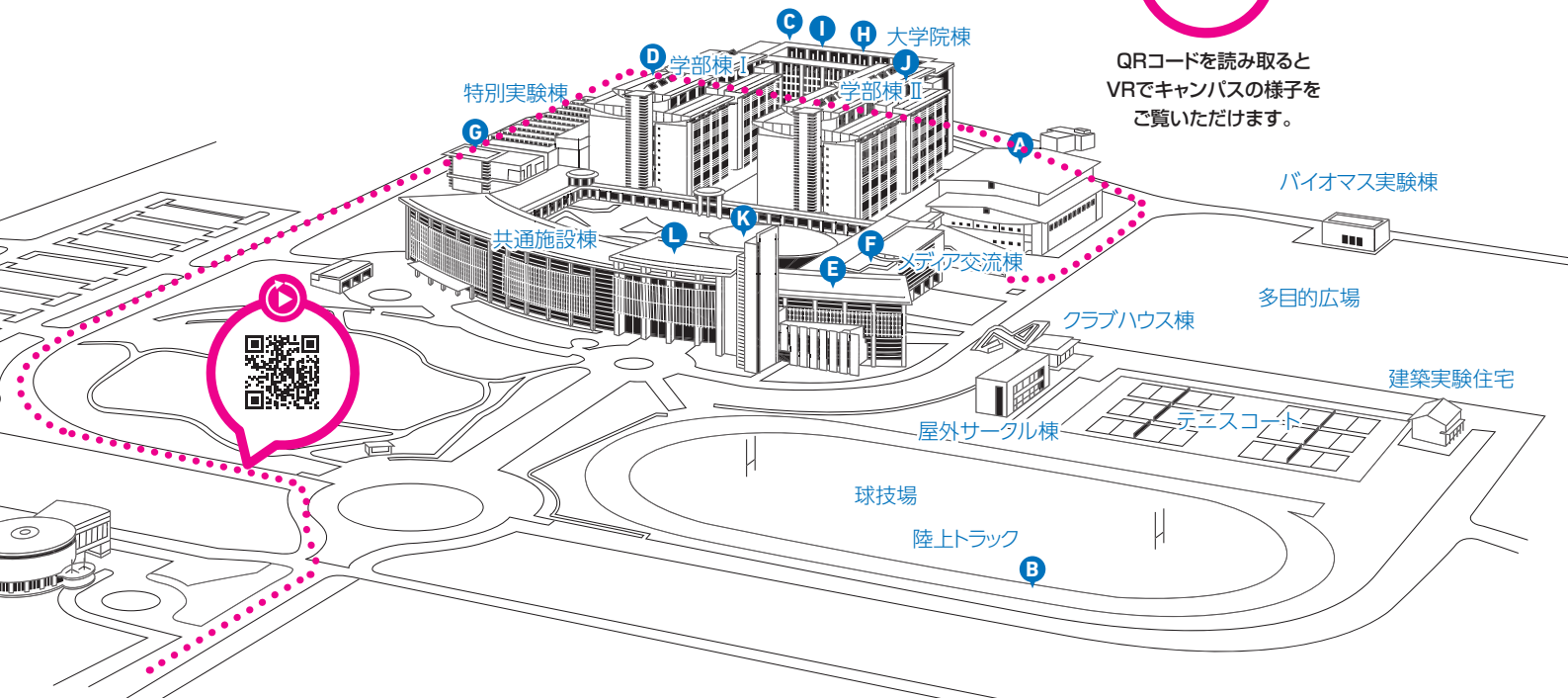
HONJO CAMPUS

本荘キャンパス／システム科学技術学部

システム科学技術学部にふさわしい、
機能的でスタイリッシュな空間。



QRコードを読み取ると
VRでキャンパスの様子を
ご覧いただけます。



A 体育館



B 400mトラック陸上競技場



C 大学院棟



本荘キャンパスの空撮映像がご覧いただけます。



D 学部棟Iエントランス



E AVホール



F ラーニング・commons



G 創造工房棟



H 電波無響室



I 多目的音響実験室



J CADコンピュータ実習室



K カフェテリア



L 図書・情報センター



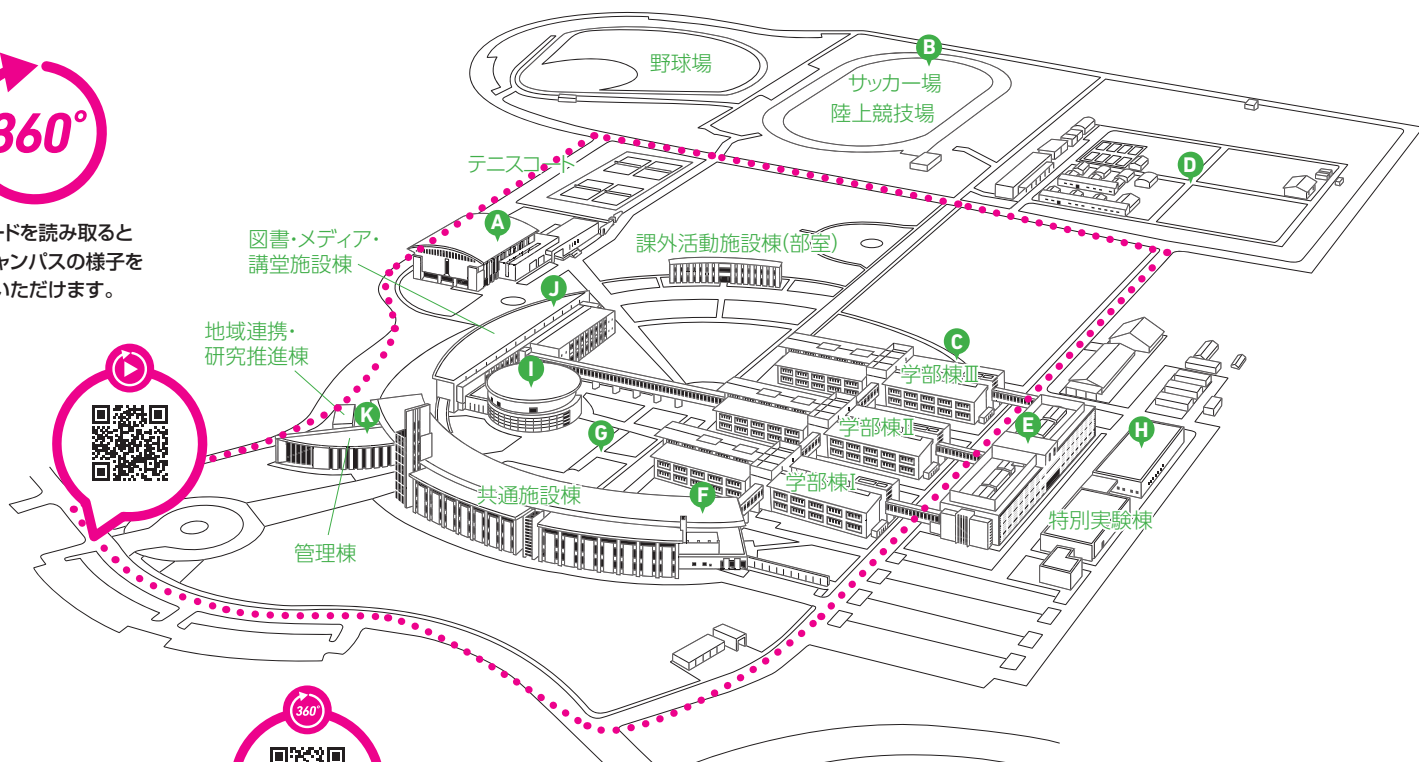
AKITA CAMPUS

秋田キャンパス／生物資源科学部

生物資源科学部の研究拠点にふさわしい、豊かな緑に囲まれたフィールド。



QRコードを読み取ると
VRでキャンパスの様子を
ご覧いただけます。



A 体育館



A トレーニングルーム



B 400mトラック陸上競技場



秋田キャンパスの
空撮映像がご覧
いただけます。



③ 学部棟



④ 実験圃場



⑤ 大学院棟



⑥ カフェテリア



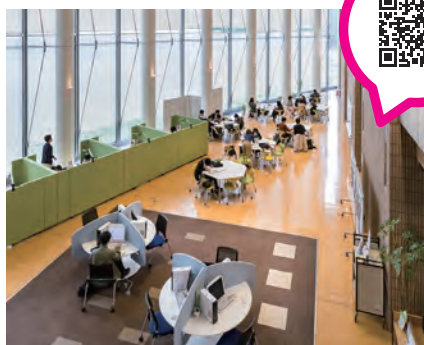
⑦ 光の広場



⑧ バイオテクノロジーセンター



⑨ 講堂



⑩ 図書・情報センター(ラーニング・commons)



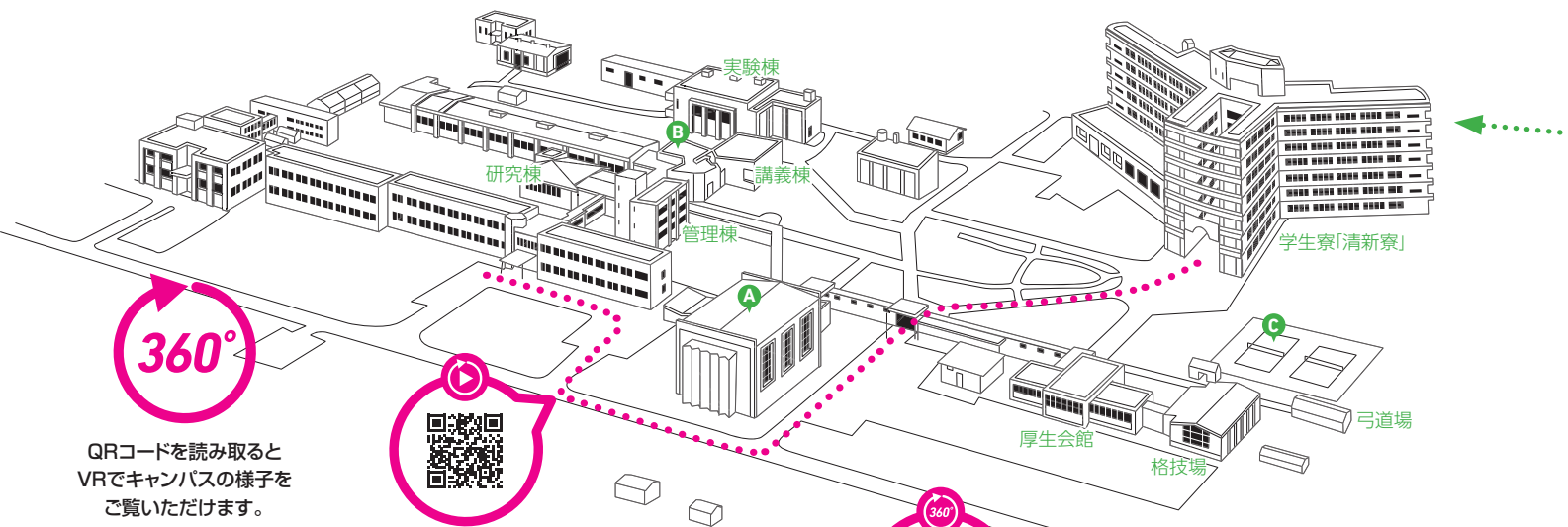
⑪ キャリア情報センター



OGATA CAMPUS

大潟キャンパス／生物資源科学部

アグリビジネスを学ぶにふさわしい、
広大な実験圃場と自然豊かなフィールド。



QRコードを読み取ると
VRでキャンパスの様子を
ご覧いただけます。



A 体育館



B 図書・情報センター



C テニスコート



フィールド教育研究センター(園芸温室)



フィールド教育研究センター(牛舎)



フィールド教育研究センター(大区画農場)



大潟キャンパスの空撮映像がご覧いただけます。



秋田・大潟キャンパス向け

清新寮 完全個室の学生寮 DORMITORY

大潟キャンパスの広大な敷地内にある学生寮「清新寮」は、7階建ての建物に男子(2～4階、120室)、女子(5～7階、120室)別に居住階が分かれた全館個室で食事付きとなっており、充実した学生生活を送ることができます。

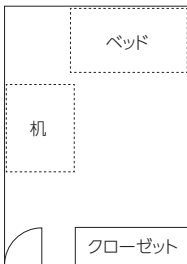
■ 寮費(令和元年度)
月額 46,000円

※寮費には、食費、光熱水費、共益費が含まれます。



■ 居室(各部屋の設備)

- ベッド台
- 机・イス
- クローゼット(引出付き)
- カーテン
- テレビアンテナ端子
- インターネット利用可



※サンネットの専用回線、NTTのフレッツ光が利用できますが、個別契約となります。
※電気製品など、原則持ち込み自由。
※冷房設備はありません。
※異性の居住階へは立ち入り禁止となっています。



■ 食事(食堂)

平日/朝・夕2食
土日祝日/朝・昼・夕3食

※栄養バランスなどに配慮したメニューとなっています。
※食物アレルギーに対応したメニューも提供可能です。

■ 入寮

各入試区分により入寮募集期間、募集人数が異なります。ご自宅より本学までの片道距離が60km以上、もしくは片道の通学時間が1時間30分以上の方を対象とし、募集人数内で受付をいたします。(募集枠を超えたものに関しては、原則抽選。)アグリビジネス学科は3年生から大潟キャンパスでの授業が主となるため、3年進級時に通学距離・時間に関係なく優先的に入寮できます。

■ 交通

- ◎ 学生寮と秋田キャンパスを繋ぐシャトルバスを、授業に合わせ平日無料で運行しています。(講義期間1日7往復、長期休暇期間2往復程度、平日のみ)
- ◎ 学生寮のある大潟村は、公共交通機関は村が運行している1日4往復程度のマイタウンバス以外ありません。
- ◎ 講義期間中は、週に1回シャトルバスを買い物地経由で運行します。



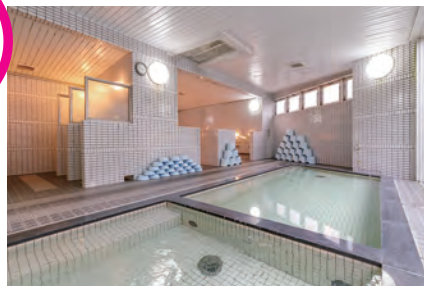
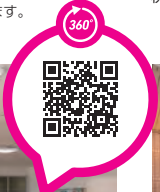
秋田キャンパスまで約40分



居室



食堂



大浴場

CAMPUS LIFE

秋田県立大学生の1日／本荘キャンパス

一人暮らし
アパート

PROFILE

渡邊 颯人 さん
WATANABE Hayato
システム科学技術学部
電子情報システム学科／3年
天体観測サークル所属
山形県／寒河江高校出身

一週間の時間割

	月	火	水	木	金
①		電磁気学I	システム科学 演習 B	電子回路学I	体育実技II
②		英会話		英会話	
③					工業数学
④			離散数学		プログラミング 基礎
⑤	機械知能 システム学 概論		電気・電子 材料		

※時間割は2年次前期のものになります。

MY DAY

9:00 ▶ 起床

10:30 ▶ 講義

設計者を目指しているため、それにつながる講義や、他にも面白いような講義をとっています。空き時間はラーニングcommonsや図書室で勉強をしています。

17:30 ▶ 自由時間

本荘は夕日がとても綺麗なので、晴れた日は写真を撮影しに海に行きます。



19:00 ▶ 夕食

夕飯は自炊しています。肉じゃがは簡単にいっぱい作れるのでオススメです。

21:00 ▶ 入浴

21:30 ▶ 自由時間

勉強、レポート、写真編集、晴れた日は夜に星空の撮影もしたりと、日によって色々です。



2:00 ▶ 就寝

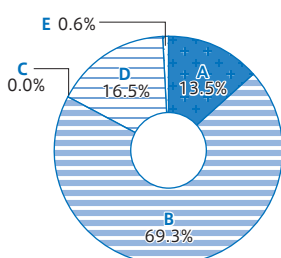
元々私には、東北を出たくないという思いがありました。そこで、東北圏内に絞って大学を調べていたときに出会ったのが秋田県立大学。なんとここでは、研究室に配属される前、つまり、1、2年生の段階で、自らテーマを決めて研究をすることが出来るのです。こういうことが出来るのは、数ある大学の中でも有数ではないでしょうか! そのほかにも高い就職率・進学率と整った学習環境、豊富なサークル・同好会数などの数々の魅力に惹かれました。

Q & A

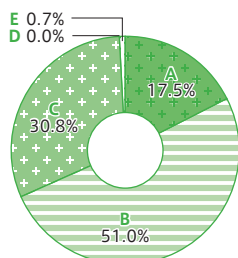
Q1 現在の住まいはどのタイプですか?

- A 自宅
B 賃貸アパート・マンション
C 寮(生物のみ) D 下宿等
E その他

秋田県立大学の学生の皆さんがアンケートに答えてくれました。先輩の学生生活がどんなものか、ちょっとのぞいてみましょう!



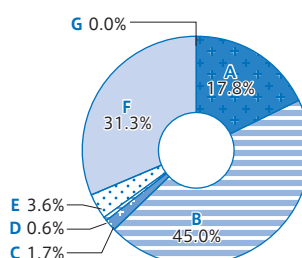
システム科学技術学部



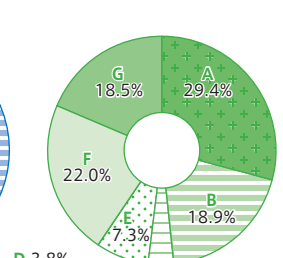
生物資源科学部

Q2 通学手段は何ですか?

- A 徒歩 B 自転車 C バイク
D バス E 電車 F 自家用車
G 大学スクールバス(寮生向け)



システム科学技術学部



生物資源科学部

CAMPUS LIFE

秋田県立大学生の1日／秋田キャンパス

一人暮らし
寮生活

一週間の時間割

	月	火	水	木	金
①		実用英語B	日本国憲法	酵素化学	
②	微生物学II		生物有機化学	食品科学概論	
③		応用生物科学実験I	応用生物科学実験I	応用生物統計解析学	
④					生物化学II
⑤					

※時間割は2年次後期のものになります。

PROFILE

池田 菜奈子 さん
IKEDA Nanako
生物資源科学部
応用生物科学科／3年
松風祭実行委員会所属
新潟県／長岡大手高校出身

MY DAY

8:00▶起床

1限がない日は学校に行く前にアルバイトをしています。早起きすると、1日を気持ちよく過ごせます。

10:30▶大学で授業

12:00▶昼食

仲のいい友人と学食で昼食を食べます。

13:00▶実験

研究室配属に向けて専門実験が始まります。実験には上手くないことも含めて座学とは違う楽しさがあります。



17:00▶サークル活動

大学祭実行委員会に所属しています。大学祭前は特に大変ですが、その分仲間と協力して大学祭が成功した時の喜びはひとしおです。

20:00▶寮で夕食

寮のごはんはバランスもよく美味しいのでいつも楽しみです。



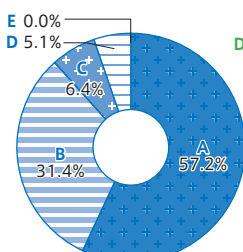
21:00▶入浴・課題等

23:00▶就寝

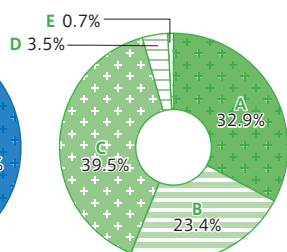
高校生のときから生物の勉強が好きで、食品や微生物について学びたいと思っていました。そんな時に高校三年生の時の担任の先生から秋田県立大学を勧めていただきました。秋田県立大学の少人数制で、丁寧な教育を受けられること、自然がいっぱいのキャンパスで学べるところに魅力を感じました。実際に入学してみると温かい教職員の方々や友達のおかげで充実した学校生活を送っています。

Q3 通学に要する時間は片道どのくらい？

- A 15分未満
- B 15～30分未満
- C 30～1時間未満
- D 1時間～2時間未満
- E 2時間以上



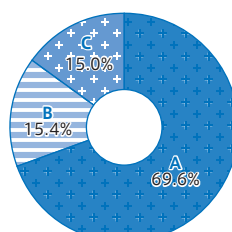
システム科学技術学部



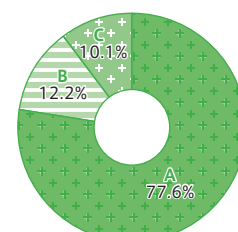
生物資源科学部

Q4 クラブ・サークルに加入していますか？

- A 加入している
- B 以前していた
- C 加入していない



システム科学技術学部



生物資源科学部



CLUB ACTIVITIES

サークル活動／本荘キャンパス

3つのキャンパス合わせて、90団体を超えるサークルがあり、各種大会や大学祭において日頃の活動の成果を披露しています。



ツリーハウス同好会

「木を活かす学生活動大賞」を受賞



学生自治会



ジャズバンドサークル



男子バスケットボール



弓道部



DANCE STYLE



放送サークル



木匠塾



ものづくりサークル S.E.I.I.M.

「ワールドグリーンチャレンジオープンクラス」優勝
「電気自動車エコラン競技大会 in SUGO」優勝

HONJO CAMPUS

学生自治会／潮風祭実行委員会 **【体育系(23団体)】** ハンドボール部／バレーボール部／剣道部／男子バスケットボール部／DANCE STYLE／バドミントン部／卓球部／弓道部／ソフトテニス部／軟式野球部／準硬式野球部／硬式テニス部／陸上競技部／サッカー部／自動車部／カヌー部／サッカーやるべ〜／水泳部／サイクリング部／バスケ同好会／バレーボール同好会／Strike Back (スケボー)／ダーツ・ビリヤードサークル **【文化系(24団体)】** 漫画・アニメ研究部／天体観測サークル／放送サークル／ジャズバンドサークル／音楽部／軽音部／木匠塾／S.E.I.I.M.／麻雀部／アカペラサークルPoV／Game Creative Works／卓上ゲーム部／秋田学生まちづくり団体／国際交流サークル／文芸同好会／アート・デザインサークル／ACM／ツリーハウス同好会／地域おこしProject／将棋同好会／模型同好会／写真同好会／Digital Media Works／もじ同好会

サークル活動 / 秋田&大潟キャンパス



国体を目指す、
アーチェリー部も
あるよ!



赤十字奉仕団



竿燈会



茶道部



女子バレーボール



SAT

フィールド教育センターのさっとこ村で
野菜などを栽培しています



アンサンブルサークル



パチカン(八郎湖環境を考える会)



演劇サークル(劇団半円ぶたい)



陸上サークル

秋田リレーマラソン
優勝



松風祭実行委員会



エコの輪サポーターズサークル

「スポGOMI in 大仙」
入賞



炭焼きサークル

AKITA & OGATA CAMPUS

学生会 / 松風祭実行委員会 **【体育系(18団体)】** 硬式野球部 / サッカー・フットサル部 / アウトドアサークル / 男子バレーボール / 弓道部 砂弓会 / ソフトテニスサークル / 少林寺拳法 / バスケサークル / バドミントンサークル / 剣道サークル / 卓球部 / 女子バレーボール / 軟式野球部 / アクションサークル / 陸上サークル / 球技サークル / スノーボード部 / アーチェリー部 **【文化系(29団体)】** アンサンブルサークル / 茶道部 / アコースティックギター / たこぼん / 芸術部 / 演劇サークル 劇団半円ぶたい / 秋田県立大学 竿燈会 / 赤十字奉仕団 / 畑っこ秋田キャンパス / 文芸・イラストサークル / 和楽器サークル / 料理同好会 / デジタル・エンターテインメントサークル / TRPGサークル〜テーブル・ワールド〜 / SAT / チームInsects / パチカン(八郎湖環境を考える会) / 炭やきサークル / 星空会 / アカペラ / サバイバルゲーム部 / ハンドメイド部 / エコの環サポーターズサークル / 書道部 / 写真部 / つむぎサークル / カラオケサークル

BACKUP SYSTEM

充実のサポート制度

学生の「学びたい」意欲に答えるため、大学独自の奨学金制度や授業料減免制度、さらには成績が優秀な学生を奨励する「特待生制度」など、様々なサポート制度を整えています。また、学生が主体的に取り組む交流活動などに対し、運営・財政の両面からサポートし、学生自身の主体的な学びを促進する制度もあります。

■ 秋田県立大学特待生制度

優秀な学業成績等により他の学生の模範となる者を講え、学生の学習意欲の喚起を図ることで、本学の理念である「21世紀を担う次代の人材育成」の達成に資することを目的としています。

学部

1) 入学生特待生(秋田県内高等学校出身者のみ)

大学入試センター試験で本学が指定する科目を受験し、一定の基準を満たした場合、年間授業料相当額(535,800円)を4年間、奨学金として給付します。(ただし、学業成績の結果により翌年度の奨学金が停止される場合があります。)

2) 在学生特待生

在学中の成績により優秀者を認定し、年間授業料相当額の半額を奨学金として給付します。

大学院

1) 入学生特待生

大学院入試または在学中の成績により優秀者を認定し、年間授業料相当額またはその半額を奨学金として給付します。

2) 在学生特待生

大学院在学中の成績により優秀者を認定し、年間授業料相当額またはその半額を奨学金として給付します。



生物資源科学部・研究科



システム科学技術学部・研究科

■ 授業料

区分	学生(県内者)	学生(県外者)
入 学 料	282,000円	423,000円
授 業 料	年額 535,800円	
後 援 会 費*	50,000円 学生教育研究災害傷害保険並びに学研災付帯賠償責任保険料を含む	

*加入については任意となっております。後援会に加入すると様々なサポートが受けられます。(P89)

■ 授業料減免制度

経済的理由などにより授業料の納付が著しく困難と認められた場合、授業料の減免制度が利用できる場合があります。学生からの申請により、各期(前期・後期)ごとに審査し、全額・3/4・半額・1/4の額を減免します。

■ 授業料の分割徴収／授業料徴収猶予

授業料の減免制度と同様、経済的理由などにより授業料を納付期限までに納付することが困難な場合は授業料の分割納付や徴収を猶予する制度があります。

■ 秋田県立大学10周年記念奨学金

秋田県内出身の学生で、学業を継続することが経済的に困難と認められ、一定の成績基準を満たす学生に対し、一人当たり20万円を給付します。(学部・大学院を通じて一回のみ)

■ 日本学生支援機構奨学金など

日本学生支援機構奨学金や地方公共団体や民間団体等の奨学金も取扱っており、随時、学内掲示などによりお知らせします。

■ 秋田県立大学大学院優秀学生奨学金

大学院博士前期課程に入学する秋田県立大学学部生を対象とした奨学金です。

〈受給条件〉

次の全てを満たすこと。

- ① 学部3年終了時におけるそれまでの成績が、所属学科の上位25%以内
- ② 大学院入学試験(推薦特別選抜)に合格

奨学金の額及び支給期間

成績基準に応じて、次のとおり在学する2年間支給します。

- 上位10%以内であった者は年間授業料相当額の全額
- 上位10%を超え25%以内であった者は年間授業料相当額の半額

■ 学生の様々な活動をサポート

地域との交流活動、自然体験活動、各種ボランティア活動など、学生の創造性・社会性・コミュニケーション力を育む様々な活動に対し、運営面・財政面で大学がサポートします。



アキコネ

秋田の「食」「文化」「伝統」など、秋田の魅力を発信し地域活性化に繋げることを目的としてイベントを開催しました。県内の大学生によるステージパフォーマンス、企業による活動紹介などで交流を楽しみました。



飛島ジオパークツアー

飛島固有の植物やウミネコの生息地を間近で観察し、名産品も味わいました。



鳥海山登山

2018年8月7日、鳥海山登山を行いました。当日は天候に恵まれ、山岳ガイドの案内で、全員無事山頂まで登ることができました。鳥海山の雄大な自然に触れ、充実した登山となりました。



ミニミニ科学教室

学生が講師となって、子供たちにろうそく作りをはじめとした科学教室を実施し、科学のおもしろさを伝えました。

BACKUP SYSTEM

充実のサポート制度

秋田県立大学は、充実したキャンパスライフを送ることができる環境づくりに力を入れています。全ての学生が、この大学に入学して本当に良かった、と思えるように、教職員一同、全力でサポートします。

■ 健康サポート

授業中・課外活動中など学内で気分が悪くなったりケガをしたときには、各キャンパスの保健室で応急措置を行い、必要に応じて医療機関の紹介も行います。また、日常の健康相談に応じるほか、健康アップのため、身長体重計・体組成計・自動血圧計を設置し、学生の健康維持管理をサポートしています。毎年4月には、全学生を対象に定期健康診断を実施しています。

■ 保護者向け懇談会

学生生活を一層有意義なものとしてもらうため、毎年10月に開催される大学祭に合わせ、保護者向け懇談会を開催しています。大学の近況報告のほか、学生の学修状況や進路等について学科教員等との個別面談を行っています。大学の教育環境を肌で知っていただく機会になっています。

■ 学生相談

学生相談室では、臨床心理士の資格を持つ専任のカウンセラー、また各学部学科の学生委員(教員)が勉強、進路、対人関係の悩みなど大学生活における様々な相談に応じます。もちろん、安心して相談できるよう、相談内容は秘密厳守としています。なお、保護者からの相談も受け付けています。



■ 教育支援システム (manaba course)

本学ではPCやスマートフォンなど、インターネット環境があればいつでもどこでもアクセス可能なクラウド型の教育支援システムを導入しています。講義資料の掲載、小テスト、課題提出とそのフィードバックなど、授業での利用に加え、キャリア・学生支援等、大学からの様々な情報の発信に活用しています。manaba course の中で行われた学修は、成果物として蓄積し、学修・キャリアポートフォリオとして自身の振り返りや自己分析に利用できます。



■ セミナーハウス

秋田キャンパスから約60分、本荘キャンパスから約80分。協和スキー場の目の前にあるセミナーハウスです。研究所のゼミ、各種研修、サークル合宿など、様々な用途に応じて無料(食事代は除く)で利用できる多目的施設です。



■ 秋田県立大学後援会

保護者の方より

学生一人ひとりの個性を認め、
伸ばしてくれる大学です。

学生は誰もが原石です。秋田県立大学には自分の良さを自ら発見するための学びや、きっかけになる出会いがたくさん用意されています。教職員の皆さんはいつも学生に寄り添い、丁寧に声をかけ励ましてくれます。私たち後援会は、教職員の想いを間近に感じ、一緒に協力して学生を応援しております。希望ある学生の未来のために誠心誠意、応援していきたいと思えます。



後援会会長 工藤 弘之 さん

後援会の主な支援事業

学生教育研究災害傷害保険／学研災付帯賠償責任保険

大学では、通学中、授業中、サークル活動中等の事故や教育実習、インターンシップ等の学外活動で、他人にケガをさせたり、財物を損壊したことに對する学生保険への加入を推奨しております。後援会費には当該保険料が含まれており、入会と同時に保障が開始されるよう、保険加入の代行手続・料金納付を後援会が行います。



就職活動サポート

●就職対策講座受験料助成

キャリア情報センターで実施する就職対策講座(R-CAP・SPI能力模擬テスト・履歴書添削講座等)の受験料を一部助成します。

●企業説明会への貸切バスを助成

秋田市内で開催する企業説明会の会場までの貸切バス代金を助成します。

●インターンシップ交通費等助成

インターンシップ参加に要した交通費・宿泊費を一部助成します。

●セカンドキャンパス運営経費助成

首都圏で就職活動を行う学生を応援するため、東京都新宿区にあるセカンドキャンパスの利用料を助成します。



クラブ・サークルサポート

学生団体の活動費や大会参加経費を助成しているほか、大学祭の開催経費を助成します。



資格取得サポート

●資格取得助成

様々な資格取得に挑戦する学生を応援するため、資格取得試験に合格した場合の受験料や講習会参加料、テキスト代等を助成します。(助成回数に制限なし)

入試情報

DATA & INFORMATION

秋田県立大学は、将来に夢を持ち、意欲的に学生生活に取り組むことのできる学生を見出すため、様々な入試制度を実施しています。オープンキャンパスなどで本学の雰囲気をつかみ、志望学部・学科への理解を深めたうえで、本学の教育の中で、あなたの夢を実現してください。私たちは、あなたの夢や目標が実現できるように全力でバックアップします。

入試区分	① AO入試	② 推薦入学A・B	③ 推薦入学C	④ 特別推薦入学I	⑤ 特別推薦入学II	⑥ 一般入試(前期)	⑦ 一般入試(後期)
対象学部 対象学科	●システム科学技術学部 機械工学科	●システム科学技術学部 ●生物資源科学部	●システム科学技術学部 ●生物資源科学部 ※アグリビジネス学科を除く	●システム科学技術学部 ●建築環境システム学科 ●経営システム工学科	●システム科学技術学部 ●知能メカトロニクス学科 ●情報工学科	●システム科学技術学部 ●生物資源科学部	●システム科学技術学部 ●生物資源科学部
8月	出願期間 8月 5日(月)～9日(金) 第一次合格発表 8月29日(木)						
9月	試験日 9月 6日(金) 合格発表 9月18日(木)						
11月		出願期間 11月 1日(金)～8日(金) 試験日 11月16日(木) 合格発表 11月23日(木)					
12月				出願期間 12月16日(月)～20日(金)	出願期間 12月16日(月)～20日(金)		
1月			出願期間 1月 6日(月)～10日(金)	試験日 1月31日(金)		出願期間 1月27日(月)～2月5日(木)	
2月			試験日 2月 1日(木) 合格発表 2月12日(木)	合格発表 2月12日(木)	合格発表 2月12日(木)	試験日 2月25日(火)	
3月						合格発表 3月6日(金)	試験日 3月12日(木) 合格発表 3月21日(木)

上記は令和2年度の入試情報です。翌年度以降の入試情報は「秋田県立大学入試情報」でご確認ください。



■ 入試のポイント

① AO入試

- 全国の高校生等が対象です。(新卒者のほか既卒者も対象とします。)
- 一次選考は、「論文や作品」等で評価します。
- 二次選考は、「面接・プレゼン」等で評価します。

② 推薦入学A・B

- 秋田県内高校の新卒者を対象とします。
- 高校から推薦された方を対象とします。
- アグリビジネス学科(推薦入学A)のみ、秋田県外高校の新卒者も出願可能です。
- 推薦入学Aは、主に専門高校、推薦入学Bは、主に普通高校を対象とします。
- 原則、評定平均4.3以上(アグリビジネス学科は4.0以上)で、高校から推薦された方を対象とします。
- 「面接(口頭試問含む)」と「小論文」等で評価します。

③ 推薦入学C

- 秋田県内高校の新卒者を対象とします。
- 高校から推薦された方を対象とします。
- 「センター試験」と「面接」等で評価します。

④ 特別推薦入学I

- 全国の高校生等が対象です。(新卒者のほか既卒者も対象とします。)
- 高校から推薦された方を対象とします。
- 「センター試験」と「面接」等で評価します。

⑤ 特別推薦入学II

- 全国の高校生等が対象です。(新卒者のほか既卒者も対象とします。)
- 高校から推薦された方を対象とします。
- 「センター試験(数学と物理のみ)」と「志望理由書」等で評価します。

⑥ 一般入試(前期)

- 全国の高校生等が対象です。(新卒者のほか既卒者も対象とします。)
- 「センター試験」と「個別学力検査」等で評価します。
- 仙台市・東京都・名古屋市の県外試験場でも受験可能です。

⑦ 一般入試(後期)

- 全国の高校生等が対象です。(新卒者のほか既卒者も対象とします。)
- 「センター試験」と「小論文」等で評価します。
- 仙台市・東京都・名古屋市の県外試験場でも受験可能です。

■ 資料請求



WEBサイトから
手軽に願書請求
できます。



※アドミッションポリシーや詳細な入試情報については、入学者選抜要項を参照ください。

合格者出身高校一覽 平成27年度入試～平成31年度入試

※高等学校等コードの順に並べています。

北海道

札幌北陵
札幌手稲
千歳
札幌藻岩
札幌清田
函館中部
旭川西
旭川北
北見北斗
室蘭栄
苫小牧東
静内
帯広柏葉
帯広三条
釧路湖陵
釧路江南
北広島
札幌東陵
札幌厚別
旭川凌雲
札幌稲雲
函館
北海道科学大学
札幌第一
旭川龍谷

青森県

青森
青森東
青森南
弘前
弘前中央
弘前南
八戸
八戸東
八戸北
八戸西
木造
五所川原
黒石
三本木
三沢
田名部
三本木農業
名久井農業
弘前実業
東興義塾
弘前学院聖愛
八戸聖ウルスラ学院
八戸工業大学第二

岩手県

盛岡第一
盛岡第三
盛岡第四
盛岡北
盛岡農業
花巻北
花巻南
花巻農業
黒沢尻北
水沢
一関第一
一関第二
千蔵
高田
大船渡
遠野
宮古
久慈
大野
軽米
福岡
盛岡市立
不来方
金石
盛岡中央
一関学院

宮城県

仙台第一
仙台第三
仙台向山
古川
佐沼

白石
石巻
気仙沼
泉
多賀城
宮城第一
仙台二華
仙台三桜
石巻好文館
古川黎明
仙台南
仙台
仙台西
泉館山
仙台東
宮城野
仙台育英学園
東北学院
東北学院榴ヶ岡
尚絅学院
聖和学園
聖ウルスラ学院英智
古川学園

秋田県

秋田
秋田北
秋田南
秋田工業
金足農業
花輪
十和田
大館鳳鳴
大館工業
能代
能代工業
五城目
本荘
由利
由利工業
西目
矢島
大曲
大曲工業
大曲農業
六郷
角館
横手
横手城南
増田
雄物川
湯沢
仁賀保
秋田中央
秋田商業
雄勝
秋田西
男鹿工業
新屋
大館
平成
御所野学院
横手清陵学院
大館国際情報学院
秋田北鷹
湯沢翔北
能代松陽
大館桂桜
明桜
聖霊女子短期大学付属
秋田和洋女子

山形県

山形東
山形南
山形西
山形北
山形中央
寒河江
楯岡
東桜学園
新庄北
米沢興譲館
米沢東
長井
鶴岡南
酒田東
酒田西

日本大学山形
東海大学山形
米沢中央

福島県

福島(県立)
橘
福島西
安達
安積
安積黎明
郡山東
須賀川桐陽
白河
白河旭
会津
葵
会津学風
磐城
磐城桜が丘
相馬
原町
郡山
福島東
いわき光洋
福島成蹊
桜の聖母学院
尚志
日本大学東北
会津若松バリオ学園
いわき秀英

茨城県

日立第一
太田第一
小瀬
水戸第二
水戸第三
緑岡
鉦田第一
土浦第一
土浦第二
土浦第三
甲府第一
竜ヶ崎第一
藤代
下館第一
下館第二
下妻第一
下妻第二
水海道第一
古河第三
竹園
牛久
日立北
水戸桜ノ牧
牛久栄進
伊奈
明秀学園日立
茨城キリスト教学園
茨城
水城
土浦日本大学
茗溪学園
常総学院
水戸葵陵
つくば秀英

栃木県

宇都宮東
宇都宮南
宇都宮女子
宇都宮中央女子
宇都宮白楊
鹿沼
石橋
小山
栃木
佐野
足利
足利女子
真岡
真岡女子
茂木
烏山
大田原
大田原女子

那須拓陽
黒磯
矢板東
宇都宮北
鹿沼東
宇都宮清陵
小山西
さくら清修
栃木翔南
作新学院
文星芸術大学附属
宇都宮文星女子
宇都宮短期大学附属
國學院大学栃木
佐野日本大学
白鶴大学足利
佐野日本大学中等

群馬県

前橋(県立)
前橋女子
勢多農林
高崎
高崎女子
桐生
桐生南
太田
太田(県立)
太田女子
沼田
館林
渋川
渋川女子
富岡
高崎北
前橋東
太田東
高崎経済大学附属
伊勢崎
高崎商科大学附属
東京農業大学第二
樹徳
前橋育英

埼玉県

熊谷女子
浦和西
不動岡
秩父
坂戸
越谷南
川口北
新沼北
羽生第一
春日部東
大宮北
浦和南
和光国際
聖望学園
淑徳と野
山川学園
大宮開成
狭山ヶ丘
武南
妻野
大妻嵐山
城西大学付属川越
埼玉栄
栄東
春日部共栄
城北埼玉
開智
栄北

千葉県

千葉南
船橋東
佐原
佐原白楊
銚子(県立)
匝瑳
長生
木更津
銚子(市立)
稲毛
成田
麗澤

千葉商科大学付属
中央学院
昭和学院秀英

東京都

北園
小山台
戸山
八王子東
日比谷
富士
保谷
成瀬
大島海洋国際
多摩科学技術
駒込
東京電機大学
桜丘
東京成徳大学
江戸川女子
東京農業大学第一
実践学園
佼成学園
國學院大学久我山
淑徳
白梅学園
日本放送協会学園

神奈川県

金井
多摩
鎌倉
七里ガ浜
小田原
西湘
金沢
横浜国際
横浜修悠館
横浜サイエンスフロンティア
横浜創英
横浜
洗足学園
藤嶺学園藤沢
桐光学園
公文国際学園高等部
桐蔭学園
自修館

新潟県

新潟中央
新潟南
新潟江南
新潟西
巻
新発田
新発田農業
村上
新津
長岡
長岡大手
長岡農業
三条
三条東
加茂農林
六日町
十日町
柏崎
高田
高田北城
糸魚川
佐渡
万代
新発田南
長岡向陵
国際情報
村上中等
柏崎翔洋
燕
燕中等
津南
直江津中等
佐渡中等
高志
新潟明訓
北越
新潟第一
東京学館新潟

富山県

桜井
魚津
富山東
富山南
八尾
高岡西
氷見
高岡南
砺波
石動
呉羽
福岡
大門
南砺福野
南砺福光
高岡向陵

石川県

寺井
金沢桜丘
金沢西
羽咋
七尾
輪島
飯田
野々市明倫
星稜

福井県

高志
武生
若狭
武生東
北陸

山梨県

韮崎
甲府第一
甲府南
日川
甲府西
甲府東
富士河口湖
甲陵
甲府昭和

長野県

須坂
長野吉田
長野東
篠ノ井
岩村田
野沢北
諏訪清陵
諏訪二葉
岡谷東
伊那弥生ヶ丘
飯田
下伊那農業
松本県ヶ丘
松本美須ヶ丘
松本鎌ヶ崎
大町岳陽
松商学園
長野日本大学

岐阜県

長良
岐山
加納
大垣南
大垣東
多治見
斐太
飛騨高山
羽島北
大垣西
鶯谷
高山西

静岡県

伊東
韮山
三島北
御殿場南
沼津東
沼津西
沼津工業
吉原
富士
清水南
静岡城北
静岡東
焼津中央
藤枝東
藤枝西
島田
榛原
掛川西
浜松南
浜名
静岡市立
浜松市立
富士東
伊豆中央
富士宮西
浜松湖南
下田
科学技術
加藤学園暁秀
加藤学園
静岡サレジオ
東海大学付風静岡翔洋
静岡北
静岡学園
磐田東
浜松学芸
浜松日体
聖隷クリストファー
藤枝明誠

三重県

桑名
津東
松阪
川越
暁
鈴鹿
高田
三重
学法津田学園

愛知県

愛知教育大学附属
千種
名古屋西
熱田
中村
鳴海
旭野
長久手
豊明
岩倉総合
丹羽
一宮西
一宮北
木曾川
津島
津島北
五条
横須賀
碧南
刈谷北
知立
安城
安城東
西尾
西尾東
吉良
岡崎
岡崎東
幸田
豊田西
国府
豊橋東
豊橋南
蒲郡東
成章
小坂井
天白
尾西
東海南
北
瀬戸西
春日井東
津島東
西春

京都府

洛北
嵯峨野
北嵯峨
福知山
紫野
洛西
城南菱刈
京都橋
京都産業大学附属
京都成章

大阪府

池田
今宮
住吉
泉北
堺東
南
大阪学芸
履正社
桃山学院
箕面自由学園
近畿大学附属
清教学園
初芝富田林

兵庫県

芦屋(県立)
川西緑台
柏原
明石
西脇
兵庫県立農業
龍野
赤穂

一宮南
阿久比
豊田北
高蔵寺
江南
小牧南
豊田南
半田東
日進西
一宮興道
美和
豊田
名古屋南
岡崎西
豊野
知立東
新川
否和
常滑
愛知
名古屋経済大学高蔵
東海
名古屋女子大学
愛知工業大学名電
名城大学附属
愛知啓成
春日丘
中部大学春日丘
清林館
栄徳
大成

奈良県

奈良育英
奈良大学附属

和歌山県

耐久
日辺
新宮
和歌山信愛
近畿大学附属新宮

鳥取県

鳥取東

島根県

益田

岡山県

倉敷天城
高梁
瀬戸
岡山城東

広島県

安古市
三原
広島なぎさ

山口県

高森
防府
豊浦

香川県

高松東
高松
高松第一

愛媛県

松山北
伊予

福岡県

小郡
筑紫学園

佐賀県

神埼

長崎県

西陵

宮崎県

宮崎北
延岡星雲

鹿児島県

鶴丸
鹿屋

全国各地から秋田県立大学へ

在籍者情報

学部名	男子	女子	合計
システム科学技術学部	857	140	997
生物資源科学部	353	299	652
合計(学部)	1210	439	1649

中国地方 8名

- 鳥取県 1
- 島根県 2
- 岡山県 2
- 広島県 1
- 山口県 2

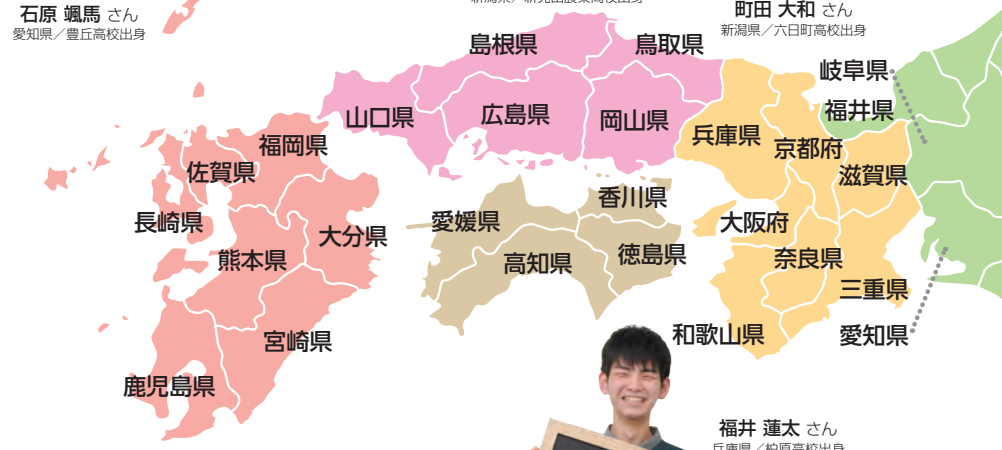


中部地方 394名

- 新潟県 126
- 富山県 19
- 石川県 9
- 福井県 7
- 山梨県 8
- 長野県 25
- 岐阜県 19
- 静岡県 82
- 愛知県 99

九州地方 8名

- 福岡県 1
- 長崎県 2
- 宮崎県 1
- 鹿児島県 4



四国地方 4名

- 香川県 3
- 愛媛県 1



近畿地方 40名

- 三重県 7
- 滋賀県 2
- 京都府 3
- 大阪府 9
- 兵庫県 13
- 奈良県 3
- 和歌山県 3



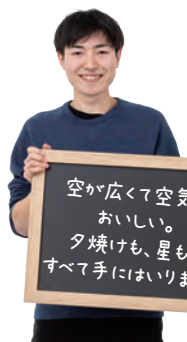
日本全国から同じ志を持った仲間たちが集まります！
卒業後も多方面で活躍する仲間たちと
つながりができます！

東北地方 911名

青森県	83
岩手県	105
宮城県	63
秋田県	526
山形県	57
福島県	77



井上天仁さん
山形県/山形南高校出身



阿部晴紀さん
山形県/鶴岡南高校出身



梅津光さん
山形県/東桜学園高校出身



小田嶋彩矢さん
宮城県/古川高校出身



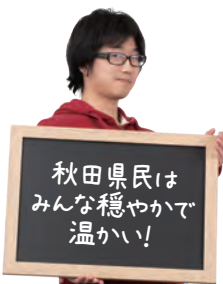
大山さくらさん
福島県/橘高校出身



佐久間桃子さん
茨城県/日立北高校出身

関東地方 255名

茨城県	72
栃木県	94
群馬県	36
埼玉県	15
千葉県	11
東京都	12
神奈川県	15



奥野駿矢さん
北海道/札幌稲雲高校出身



藤原涼介さん
北海道/函館高校出身



遠藤圭紀さん
北海道/北広島高校出身

秋田県の良いところなどを紹介!



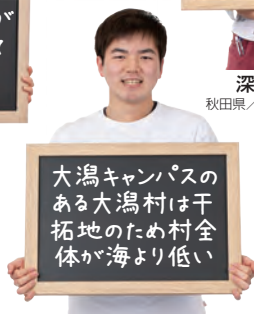
小林温希さん
秋田県/秋田工業高校出身



渡部祐里さん
秋田県/大館国際情報学院高校出身



深澤諒さん
秋田県/秋田中央高校出身



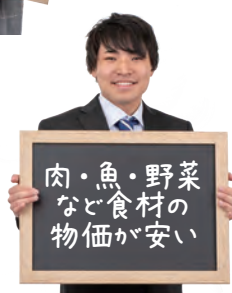
小松寛知さん
秋田県/秋田北高校出身



菊田和奏さん
秋田県/湯沢高校出身



鈴木翔さん
秋田県/新屋高校出身



中嶋涼太さん
秋田県/大館鳳鳴高校出身

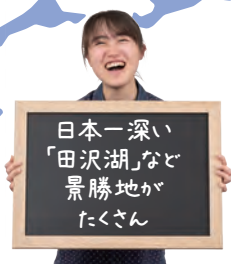


橋本晃一さん
秋田県/秋田中央高校出身

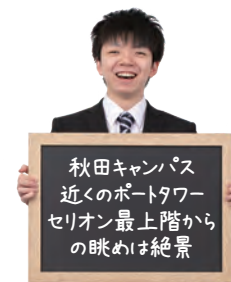


高津優里香さん
秋田県/秋田北高校出身

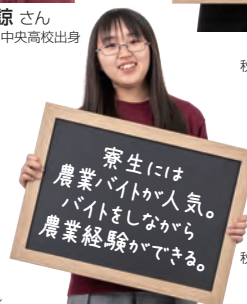
北海道 29名



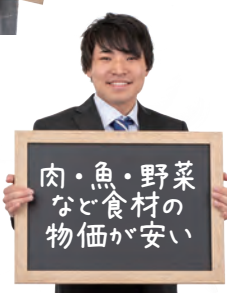
能代志歩さん
秋田県/秋田北高校出身



高橋洸希さん
秋田県/由利工業高校出身



井上明香里さん
秋田県/湯沢翔北高校出身



中嶋涼太さん
秋田県/大館鳳鳴高校出身

秋田ってこんなところ

秋田見聞録

県大生の約7割は県外出身者。秋田県立大学を知ってもらおうと同時に秋田県のことも知ってもらいたい!どんな環境で学び生活するのか、少しですがご紹介します。

さい
(あ、しまった)

失敗した時にあげる感嘆詞。「さいさい」と重ねて使うこともある。

わかる?
わからない?
秋田の方言!

先輩が秋田に来てびっくりした、または面白かった方言を紹介します。

ごしゃぐ
(怒る、しかる)

ローカルヒーロー「超神ネイガー」の変身時のかけ声「豪石(ごうしゃく)!!」秋田弁の「ごしゃぐ」を元に神の力を借りるという「剛借」、また自身の強さを測るという「強尺」の意味もあってされている。

け
(来い、かゆい、食べなさい)

「食べる」「来る」だと「く」だったが、命令形になると「け」に変化。そこに「かゆい」の「け」もプラスされた。

えふりこぎ
(見栄っ張り)

秋田県の県民性を表す言葉として有名。江戸時代から豊かな地であった秋田ならではの言葉。

秋田弁

おが
(あまり、あまりにも)

(例)
・おがいらねあ→あまり要らない
・そいだばおがだべ→それはあんまりだろう

めんけ
(かわいい)

「めごえ」「めんこえ」「めんこい」ともいう。



秋田の方言の特徴

- 濁点が多い
→「か行」と「た行」には非常に高い可能性で濁点がつく
- 母音に変化している
→標準語の「い」と「え」、「し」と「す」、「ち」と「つ」、「ず」と「づ」の発音が非常に似ていて、区別が非常にあいまい
- イントネーションが独特
→3文字の単語を発音する時に、2文字目の音を高くすることが非常に多い

こうえ
(疲れた、だるい)

怖いという意味ではない。

しよし
(恥ずかしい)

すまないという意味もある。「おしよし」ともいう。使用するとかわいい方言の上位にも入る。

じえんこ
(お金)

「銭(ぜ)にっこ」から。ちなみに「じえんご」は田舎。



※雪国で寒いので、口をあまり開かず、短いフレーズで略される方言が多い
※濁点を多用し、早口で流れるようにしゃべる人が多いことから、フランス語に似ていると言われることも!

秋田県
ここが
No.1

重要無形民俗文化財の件数 No.1!

→秋田の竿燈、男鹿のナマハゲ、花輪ばやし、西馬音内の盆踊などたくさん祭りの祭りや伝統芸能や年中行事があります!
是非、足を運んでみよう!

美容所の数 No.1!

●美容所数(人口10万人当たり) 541.9か所(28年度)
→きれい好きな県民性。“秋田美人”とも関係が...

食料自給率 No.1!

(カロリーベースで192%)
→豊かな水田資源、豊富な農産物と良質な水を誇る秋田県。食糧問題は、本学にとっても重要テーマの一つ。

年間日照時間が短い

→色白で美肌を保ちやすい環境と良質な睡眠が“秋田美人”を育てます!

アクセスマップ

ACCESS MAP

交通アクセス

航空機利用の場合

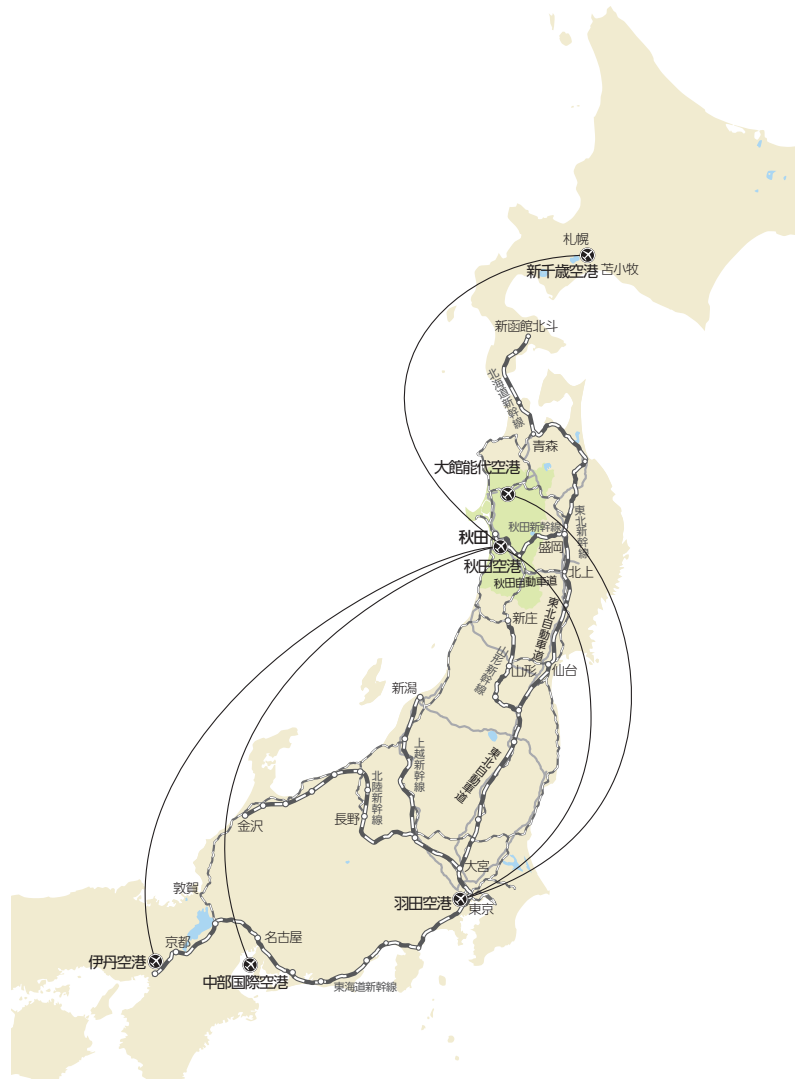
新千歳空港	約55分	秋田空港
羽田空港	約1時間10分	
中部国際空港	約1時間20分	
伊丹空港	約1時間30分	

秋田新幹線「こまち」利用の場合

盛岡駅	約1時間30分	秋田駅
仙台駅	約2時間30分	
東京駅	約4時間00分	

高速道路利用の場合

秋田キャンパス	盛岡I.C	約2時間10分	秋田北I.C
	仙台宮城I.C	約3時間10分	秋田北I.C
本荘キャンパス	盛岡I.C	約2時間10分	大内J.C.T
	仙台宮城I.C	約3時間10分	大内J.C.T
大瀧キャンパス	盛岡I.C	約2時間20分	五城目八郎瀧I.C
	仙台宮城I.C	約3時間20分	五城目八郎瀧I.C
木材高度加工研究所	盛岡I.C	約2時間40分	能代南I.C
	仙台宮城I.C	約3時間40分	能代南I.C



木材高度加工研究所

〒016-0876 秋田県能代市海詠坂11-1
TEL.0185-52-6900 FAX.0185-52-6924
アクセス

- 秋田空港→車(約1時間30分) 木材高度加工研究所
- 大館能代空港→車(約1時間) 木材高度加工研究所
- JR秋田駅→奥羽本線(約1時間) JR東能代駅→車(約20分) 木材高度加工研究所

大瀧キャンパス [生物資源科学部] (アグリビジネス学科3・4年次)

〒010-0444 秋田県南秋田郡大瀧村字南2-2
TEL.0185-45-2026 FAX.0185-45-2377
アクセス

- 秋田空港→車(約1時間30分) 大瀧キャンパス
- JR秋田駅→奥羽本線(約30分) JR八郎瀧駅→バス(大瀧村行き)(約20分) →カントリー公社事務所前下車→徒歩(約5分) 大瀧キャンパス

秋田キャンパス [生物資源科学部]

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438
TEL.018-872-1500 FAX.018-872-1670
アクセス

- 秋田空港→車(約1時間) 秋田キャンパス
- JR秋田駅→車(約30分) 秋田キャンパス
- JR秋田駅→奥羽本線(約15分) JR追分駅→徒歩(約20分) 秋田キャンパス

本荘キャンパス [システム科学技術学部]

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
TEL.0184-27-2000 FAX.0184-27-2180
アクセス

- 秋田空港→車(約50分) 本荘キャンパス
- JR秋田駅→車(約1時間) 本荘キャンパス
- JR秋田駅→羽越本線(約45分) JR羽後本荘駅→バス(約5分) 本荘キャンパス



follow me

AKITA PREFECTURAL UNIVERSITY

様々な情報を発信しています

AkitaPrefecturalUniv

秋田県立大学プロモーション動画など
YouTubeで公開中!



秋田県立大学チャンネル



@Akita_P_U

秋田県立大学の日常やイベント情報などリアルタイムでつぶやいています。



秋田県立大学
公式Webサイト

<https://www.akita-pu.ac.jp>

※タブレット、スマートフォンからもアクセスできます。



本荘キャンパス
(システム科学技術学部)

7/15
MON
9:30→15:30

進学相談 / 模擬講義 / 個別見学ツアー
研究室大公開(研究発表展示)など

秋田県立大学のリアルを体感!

OPEN CAMPUS 2019



無料送迎バス(運行予定)

秋田・大湯キャンパス
(生物資源科学部)

7/14
SUN
9:00→15:30

進学相談 / 模擬講義 / 個別見学ツアー
研究室大公開(研究発表展示)など

バーチャルオープンキャンパスも常時開催中!



「秋田県立大学まで足を運ぶことが難しい」という方のために、インターネットからも体験できるバーチャルオープンキャンパスを開催中!是非、アクセスしてみてください。



夏のオープンキャンパスの他にも、10月大学祭と同時開催の『ミニオープンキャンパス』、『進学相談会』、個別相談可能な『毎週土曜日は秋田県立大学の日』などの進学イベントを実施しております。

